

津市

令和 3 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 市町別総合評価シート

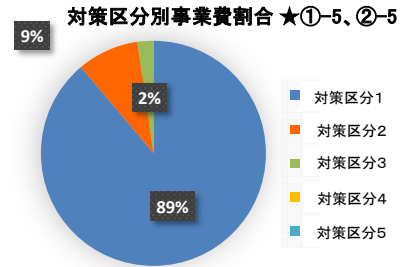
1. 基礎情報 (令和 3 年度版三重県市町要覧及び令和 2 年度版森林・林業統計書による)

市町名	市町名	三重県
人口 (人)	273,638	1,782,190
年少人口割合 (%) * 1	12.3%	12.4%
森林面積 (ha)	41,532.42	372,352.55
民有林面積 (ha) * 2	40,791.91	348,833.49
森林率 (%)	58.0%	64.0%
都市公園面積 (㎡/人口) * 3	7.7	10.1

* 1 : 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2 : 国有林以外の森林 (個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。)

* 3 : 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園



2. 令和 3 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠・加算枠) 事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額 (円) (当年度交付金額 + 基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	1	津市林地残材搬出促進事業	28,614,600	28,594,536	28,594,536					
2	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	11,379,051	2,844,764		2,844,764				
3	3	津市森林環境教育事業	480,700	480,700			480,700			
4	3	美里水源の森「林業体験」事業	255,900	250,000			250,000			
計			40,730,251	32,170,000	28,594,536	2,844,764	730,700	0	0	0

3. 令和 3 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (連携枠) (防災枠) 事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充当額 (円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	79.67ha	41,014,600	41,000,000	特定水源地域の森林の調整伐
森林再生力強化対策事業	5,527m	4,551,000	4,551,000	獣害防護柵設置
災害からライフラインを守る事前伐採事業	伐採535本 植栽550本	11,379,051	2,844,762	ライフラインを寸断する恐れのある立木の伐採

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

<p>事業方針</p> <ul style="list-style-type: none"> 本市の森林面積は、総面積711km²の58.4%にあたる415km²を占めており、人工林率は82%と古くからスギ、ヒノキの造林が盛んに行われている森林が多い。一方で、高速道路や鉄道、海上アクセスなど交通インフラ、大学や短期大学など高等教育機関、大学病院等の医療機関など県都として都市機能が集積されていることから、流域の上流のみならず、下流の市民の方々も森林の恩恵を受けている。 上流から下流の市民の生命と財産を守るため、森林に対して直接県民税を投じて災害に強い森林づくりを図るとともに、下流域の市民の方々にターゲットとした森林環境教育事業を併せて進めていく。
<p>事業実施により期待される効果</p> <ul style="list-style-type: none"> 林地残材の減少により河川への流出危険性が減少し、減災効果が得られた。また、バイオマス発電燃料として未利用材の有効活用が進んだ。 直接木に触れることや、森林のはたらきについて学ぶことで、循環可能な資源である木材を利用する意義を知るとともに、森林の持つ公益的機能の理解を深めることができ、森を育む人としてのきっかけづくりの場を提供することができた。
<p>情報発信への取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業実施箇所については、税ののぼり旗により啓発を行った。 県民税の活用についてホームページや広報誌等に掲載した。 森林環境教育の参加者の募集方法として、「夏休み森と緑の親子塾」「まるごと林業体験」は広報津を活用し、広く募集に関する周知を図った。 アンケートを行い、次回以降の取組へ反映する。 市町交付金事業のパネルを市役所庁舎及び県津庁舎に掲示し、PRを行った。

第 11 号様式 (その 1) (参考資料)

令和 3 年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税 (千円)
1	② 意向調査	30,645	30,645
2	② 意向調査	5,698	5,698
3	② 意向調査	13,640	13,640
4	④ 公有林整備 (財産区有林含む)	21,450	21,450
5	③ 私有林整備	13,472	13,472
6	⑦ その他 (森林整備)	5,852	5,852
7	⑰ 基金積立 (森林整備等)	13,928	13,928
8			
9			
10			
	合計	104,685	104,685

【記載要領】

ア. 事業カテゴリーの欄は下記の項目から該当するものを選択し記載するものとする。

事業カテゴリーの項目
① 意向調査の準備作業
② 意向調査
③ 私有林整備
④ 公有林整備(財産区有林含む)
⑤ 森林保護対策
⑥ 林道・林専道の整備等
⑦ その他(森林整備)
⑧ 担い手確保
⑨ 林業就業者の育成
⑩ 専門員の雇用
⑪ 新たな組織の設立
⑫ その他(人材育成等)
⑬ 木造公共建築物の整備等
⑭ 木質バイオマス利用推進
⑮ 森林・林業・木材普及活動等
⑯ その他(木材・普及啓発関係)
⑰ 基金積立(森林整備等)
⑱ 基金積立(人材育成等)
⑲ 基金積立(木材利用等)
⑳ 基金積立(執行残額等)

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
1	津市林地残材搬出促進事業				
事業費	28,614,600 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			28,594,536	0	20,064

1. 事業の目的					
<p>間伐等で発生する林地残材等が豪雨時に河川を閉塞させる流木の発生原因となることを防ぐため、採算の合いくい林地からの搬出・運搬に関し、間伐施業地から山土場、山土場からチップ工場への搬出経費を支援することにより林地残材の減少を図り、河川等へ流出を防ぐことで流木を出さない災害に強い森林づくりを進める。</p> <p>また、搬出された林地残材については、津市バイオマス産業都市構想に位置付けられている木質バイオマス事業へ有効活用し、再生可能エネルギーの推進を図る。</p>					
2. 事業実績概要					
【事業内容】					
間伐施業地から山土場まで、及び、山土場からチップ工場までの搬出経費の一部を支援する。					
【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】					
津市内の木質バイオマス発電証明ガイドライン認定事業者15者					
【実施箇所及び箇所数】					
中勢森林組合 津市美杉町下多気地内ほか					
木原造林株式会社美杉事務所 津市美杉町下之川地内					
NPO法人もりずむ 津市白山町南家城地内					
大河内林産 津市美杉町奥津地内					
青木製材所 津市美杉町八知地内					
【事業量】					
林地残材搬出材積	4,995 ^{m³}	中勢森林組合	3,502 ^{m³}		
	(1t=0.8 ^{m³})	木原造林(株)美杉事務所	1,360 ^{m³}		
		NPO法人もりずむ	21 ^{m³}		
		大河内林産	96 ^{m³}		
		青木製材所	16 ^{m³}		
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】					
【事業実施により期待される効果】					
林地残材の減少を図ることにより、河川等に林地残材が流出する危険性が減少し、また、認定事業者や森林所有者の山をきれいにしようとする意識の向上が期待できる。併せて、放置された間伐材等の林地残材の有効利用が図られるとともに、再生可能エネルギーの利用が促進される。					
【効果を発揮させるための工夫・取組】					
流木を出さない災害に強い森林づくりが目的であるため、事業者には可能な限り、河川や沢に近い箇所を重点的に搬出するよう、口頭にてお願いしている。					
【新たな対策・視点及び改善点】					
より一層多くの業者が本事業に取り組むよう、ホームページやチラシを作成し、事業の周知に努める。					

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
1	津市林地残材搬出促進事業				
事業費	28,614,600 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			28,594,536	0	20,064
4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】					
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】					
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考	
補助事業	その他	定額補助	間伐施業地→山土場上限6,400円/m ³ 山土場→チップ工場上限1,200円/m ³	津市内の木質バイオマス発電証明ガイドライン認定事業者15者	
【委託先及び補助対象者等の選定理由】					
間伐材を適正に仕分け及び証明等を行うことができる、木質バイオマス発電証明ガイドライン認定事業者を補助対象者としている。					
【主な経費内訳】					
(別紙のとおり)					
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】					
【受益者及び、期待する波及効果】					
受益者	森林所有者及び下流域の住民				
期待する波及効果	林地残材を搬出して整理することにより巡視等が行いやすくなり、森林管理の意欲向上に繋がることを期待できる。このことにより、将来的に森林の有する多面的機能の発揮を促すことができる。				
【公的関与の必要性】					
林内に残される林地残材を放置することにより想定される林野災害を防止するためには、事業負担の軽減を図る必要があり、地域住民の不安解消という観点においても非常に重要な取り組みである。					
また、津市バイオマス都市構想におけるバイオマスエネルギー原料として有効活用している。					
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】					
規制は設けていないが、森林所有者が引き続き適切な管理を行う。					
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】					
【情報発信の内容】					
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）			
HP掲載	実施前・中・後	県民税の活用及び事業内容について掲載			
のぼり設置	実施中	林地残材を搬出している現場に設置した。			
パネル展示	実施前・中・後	市庁舎や県庁舎で県民税による取組に関するパネルを設置した。			
7. 写真及びその他資料					
別紙のとおり					
8. その他特記事項（受益者の反応等）					
津市バイオマス産業都市構想に合致する取り組みである。					

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり	市町名	津市
事業名	津市林地残材搬出促進事業		

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
林地残材搬出	間伐施業地→チップ工場	m³	2,062.40	7,600	15,674,200	中勢森林組合
	山土場→チップ工場	m³	1,440.00	1,200	1,728,000	中勢森林組合
	間伐施業地→チップ工場	m³	1,360.00	7,600	10,336,000	木原造林(株)美杉事業所
	山土場→チップ工場	m³	21.04	1,200	25,200	NPO法人もりずむ
	間伐施業地→チップ工場	m³	96.00	7,600	729,600	大河内林産
	間伐施業地→チップ工場	m³	16.00	7,600	121,600	青木製材所
			合計		28,614,600	

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
------	-------------------------	-----	----	---------	----

事業名	津市林地残材搬出促進事業
-----	--------------

7の(1). 写真



写真1

林地残材除去後の森林



写真2

林地残材集積状況



写真3

林地残材の積込状況（山土場）



写真4

林地残材の積込状況（山土場）

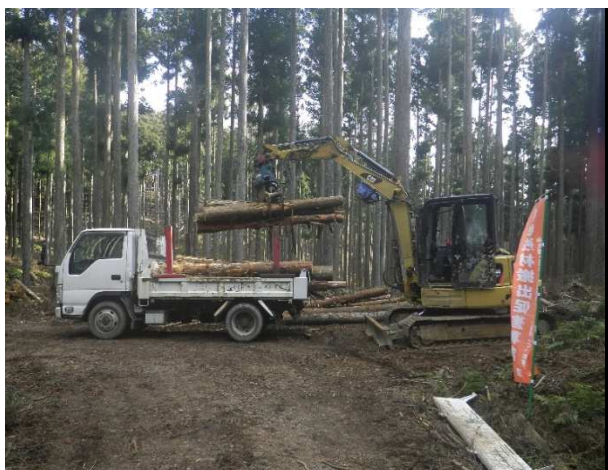


写真5

林地残材の積込状況（山土場）



写真6

林地残材の搬入状況（チップ工場）

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	津市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
2	災害からライフラインを守る事前伐採事業					
事業費	11,379,051 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			2,844,764	0	8,534,287	

1. 事業の目的
<p>台風等で発生した倒木による配電線の断線等による停電は、市民生活や行政の防災機能に大きな支障を及ぼし、災害後の処理作業には多大な労力とコスト、危険が伴うことから、ライフラインを寸断する恐れのある危険木の事前伐採を行うことで、未然に災害防止策を講じることを目的としている。</p>
2. 事業実績概要
<p>【事業内容】 津市美杉町八知地内における電線路を寸断の恐れがある立木の伐倒整理</p> <p>【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】 津市</p> <p>【実施個所及び箇所数】 1 箇所 (美杉町八知地内) 約0.55ha</p> <p>【事業量】 伐採 5 3 5 本 植栽 5 5 0 本</p>
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】
<p>【事業実施により期待される効果】 台風などの倒木被害によりライフラインを寸断する恐れのある危険木の事前伐採を行うことで、ライフラインを守り、安全・安心の暮らしを確保する。</p> <p>【効果を発揮させるための工夫・取組】 県道の通行止めを行わなければならなかったため、事前に地元自治会の連合会議に出席し事業説明をし、また、自治会ごとに通行止めに関する文書を発送して、地元の方々の御理解、御協力を求めた。</p> <p>【新たな対策・視点及び改善点】 伐採の対象となる森林の所有者の特定、境界の明確化及び承諾交渉等について直営で行うには人員不足が生じ、着工が遅れ、余裕を持って事業を遂行できなかつたため、委託業務で行うことを検討する。</p>

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	津市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
2	災害からライフラインを守る事前伐採事業					
事業費	11,379,051 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			2,844,764	0	8,534,287	

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	林業事業体	補助事業ではない		ライフライン事業者1/2、みえ森と緑の県民税市町交付金（防災枠）1/4、みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）1/4

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

指名競争入札による選定（伐採等の事業を安全かつ確実に完遂できる、林業の専門的な知識と高い技術が求められることから、津市競争入札参加資格者名簿に登録されている業者の内、認定林業事業体の4者を指名。）

【主な経費内訳】

（別紙のとおり）

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	事業実施箇所の周辺住民
期待する波及効果	台風時における倒木を起因とする停電の未然防止

【公的関与の必要性】

当該事業は住民の生活に密着したライフラインを保全する地域密着型の事業であることから、津市が事業主体となり、県、市、ライフライン事業者の三者で協議して、事前伐採に取り組む。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

規制は設けていないが、森林所有者が引き続き適切な管理を行う。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施前・中・後	本事業が県民税を活用して実施していることを周知した。
のぼり設置	実施中	事業実施箇所において、税ののぼり旗により啓発を行った。
パネル展示	実施前・中・後	市庁舎や県庁舎で県民税による取組に関するパネルを設置した。
アンケート実施	実施中	当該事業に係る文書を美杉地域の自治会に送付

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	津市
事業名	災害からライフラインを守る事前伐採事業		

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕様	単位	数量	単価	金額	備考
伐採調査	消耗品等購入	式	1.00	18,777	18,777	樹木用ナンバーテープ等
伐採施工	伐採535本	本	535	19,346	10,349,900	植栽本数550本
立木補償	スギ197本、ヒノキ338本	本	535	1,889	1,010,374	森林所有者5名 (共有林含む)
合計					11,379,051	

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	----	---------	----

事業名	災害からライフラインを守る事前伐採事業
-----	---------------------

7の(1). 写真



写真1

災害からライフラインを守る事前伐採事業
（美杉町八知地内 実施前）



写真2

災害からライフラインを守る事前伐採事業
（美杉町八知地内 実施中）



写真3

災害からライフラインを守る事前伐採事業
（美杉町八知地内 実施中）



写真4

災害からライフラインを守る事前伐採事業
（美杉町八知地内 実施中）

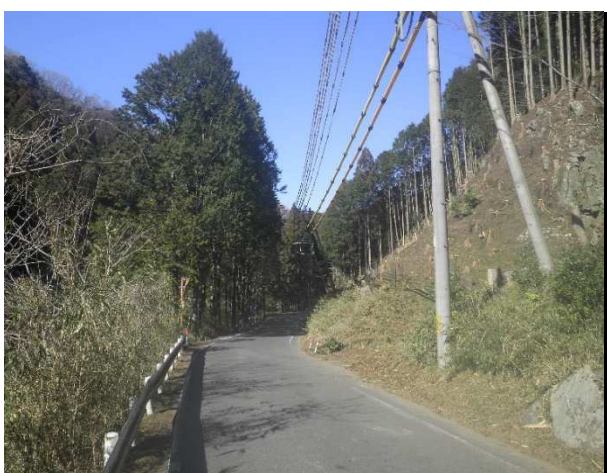


写真5

災害からライフラインを守る事前伐採事業
（美杉町八知地内 実施後）



写真6

災害からライフラインを守る事前伐採事業
（美杉町八知地内 実施後）

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
------	----------------	-----	----	---------	----

事業名	災害からライフラインを守る事前伐採事業
-----	---------------------

7の(1).写真



写真1



写真2



写真3

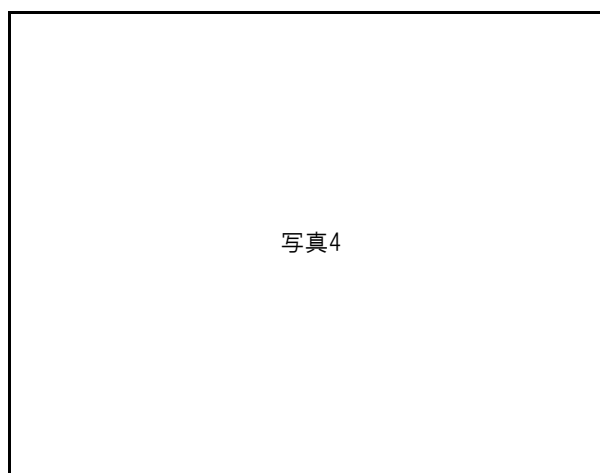


写真4



写真5



写真6

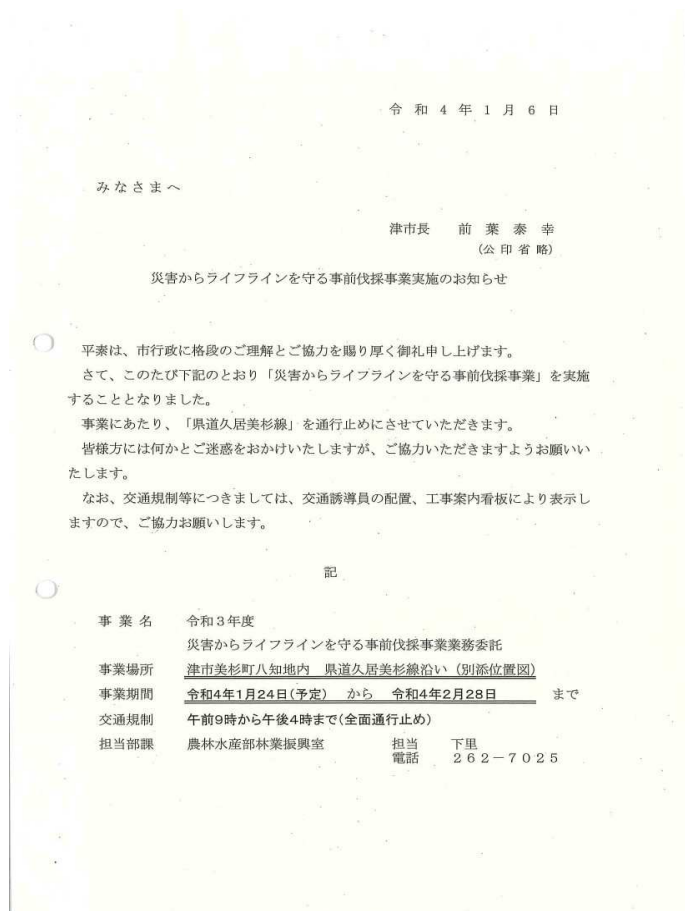
第11号様式(その2) (評価委員会資料)

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
------	----------------	-----	----	---------	----

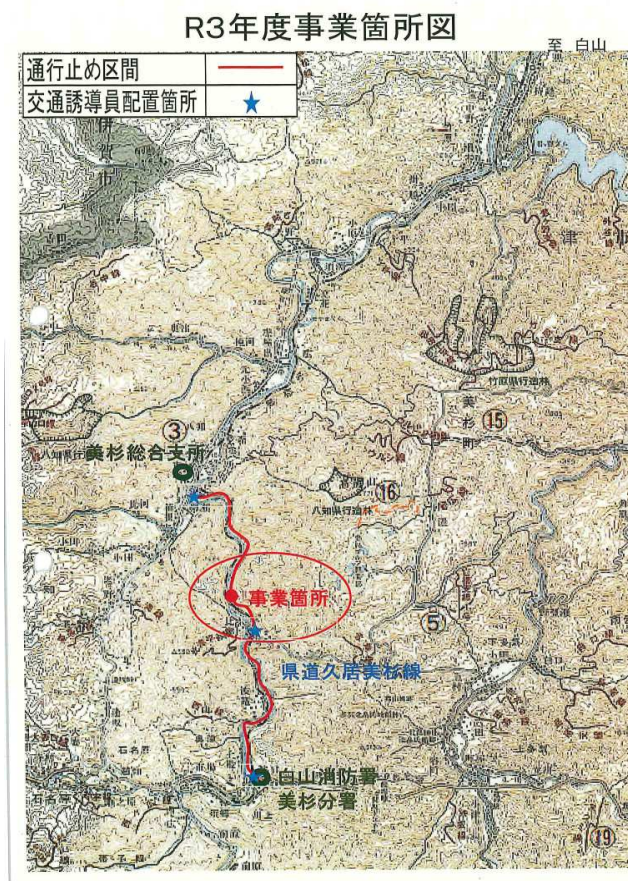
事業名	災害からライフラインを守る事前伐採事業
-----	---------------------

7の(2).その他資料

○自治会通知文書



○通知文書添付図面



第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	津市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
3	津市森林環境教育					
事業費	480,700 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			480,700	0	0	

1. 事業の目的						
<p>【森と緑の親子塾】市内在住・在学の小学生と保護者を対象に、森林や木材について学び、ふれあう場を提供して、木のぬくもりや良さを知ってもらう。</p> <p>【まるごと林業体験】一般の方を対象に森林や林業について現場での体験を通して正しく理解してもらい、森林に携わる人材を育てていく。</p>						
2. 事業実績概要						
<p>【事業内容】</p> <p>【森と緑の親子塾】木工体験 (プランター・本立て等)、林業体験 (丸太の鋸切・丸太皮むき)</p> <p>【まるごと林業体験】間伐体験・ポータブルウインチを使用した集材体験・間伐材を利用した木工体験</p> <p>【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】</p> <p>津市</p> <p>【実施個所及び箇所数】</p> <p>森と緑の親子塾：1 回</p> <p>まるごと林業体験：1 回</p> <p>【事業量】</p> <p>森と緑の親子塾：1 回、14 名</p> <p>まるごと林業体験：1 回、9 名</p>						
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】						
<p>【事業実施により期待される効果】</p> <p>参加者が森林環境教育を通じて、森林・林業に興味を持ち理解を深めることで、将来的に森林を支える一員として寄与することが期待される。</p> <p>【効果を発揮させるための工夫・取組】</p> <p>広報誌を活用して、イベント開催の周知を図った。また、イベント時には、みえ森づくりサポートセンターより「森のはたらき」パネルを借用し、森林への理解を深めることを図った。</p> <p>【新たな対策・視点及び改善点】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止を考慮し、夏休み森と緑の親子塾は62名の応募があったが、抽選により少人数に絞って開催した。今後も当分の間、感染症対策を最大限に考慮した上で開催していく。</p>						

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	津市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
3	津市森林環境教育					
事業費	480,700 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			480,700	0	0	

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	林業事業体	補助事業ではない		親子塾：美杉木材協同組合 まるとと：中勢森林組合

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

夏休み森と緑の親子塾：地域の实情に精通しており、森林・林業に関する経験や知識が豊富で、木材加工にも技術的な指導などにも優れている会員が多く所属する団体を選定。

まるとと林業体験：津市競争入札参加資格者名簿において森林に関する希望を出している者のうち、認定林業事業体である 2 者から選定。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	参加者（23名）
期待する波及効果	森林・林業に対する理解を深める効果（参加者家族への波及効果が期待される。）

【公的関与の必要性】

森林の公益的価値や機能を学ぶ森林環境教育は、人材育成だけでなく、国土の2/3を占める森林が身近で大切な資産であり、守り育てることの大切さを理解してもらう上で、非常に重要である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

体験学習の開催であり、該当しない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
のぼり設置	実施中	実施箇所に設置。
広報誌掲載	実施前	「広報つ」に県民税の活用及び募集案内を掲載。
HP掲載	実施前・後	県民税の活用事業、募集案内、実施報告を掲載。
アンケート実施	実施後	参加者アンケートを実施。
パネル展示	実施前・中	サポートセンターからパネルを借り、会場に展示。
啓発物品配布	実施中	クリアファイル、リーフレット、副読本を配布。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	津市
事業名	津市森林環境教育事業		

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
夏休み森と緑の親子塾	人件費	人	5.00	20,574	102,872	
	木工キット	セット	12.00	1,050	12,596	
	間接費	式	1.00	68,232	68,232	保険料等
まるごと林業体験	人件費	人	5.00	38,695	193,475	
	木工キット	セット	20.00	3,283	65,659	
	間接費	式	1.00	37,866	37,866	保険料等
			合計		480,700	

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	----	---------	----

事業名	津市森林環境教育事業
-----	------------

7の(1). 写真



写真1

親子塾：パネル展示状況



写真2

親子塾：木工体験



写真3

親子塾：丸太切り体験



写真4

まるごと：間伐体験



写真5

まるごと：集材体験



写真6

まるごと：木工体験

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	----	---------	----

事業名	津市森林環境教育事業
-----	------------

7の(2). その他資料

○広報誌によるイベント開催周知(森と緑の親子塾)

市政へのご意見・ご要望は…地域連絡課 〒514-8611(住所不要)
☎229-3105 ☎229-3366 ✉info@city.tsu.lg.jp

津市役所 検索

久居誕生350年事業

津・まちかど博物館展
～テーマ・再発見～

久居総合支所地域振興課
☎255-8803 ☎255-0960

市内のまちかど博物館の所蔵品などを一堂に集め、展示します。

とき 8月4日(水)～8日(日・祝)9時～17時 ※8日は15時まで

ところ 久居アルスプラザギャラリー・エントランスロビー

内容 まちかど博物館所蔵品の展示、プラレール実演、こけ玉・工作などの体験コーナー



津市ホームページ

募集

三重短期大学
オープンキャンパス

三重短期大学事務局
☎232-2341 ☎232-9647

キャンパスツアー、個別相談会などを実施し、魅力を紹介します。

とき いずれも13時～16時

- 8月18日(水) 食物栄養学科
- 8月19日(木) 生活科学科
- 8月20日(金) 法経科第1部・第2部

ところ 同短期大学41番教室

申し込み 同短期大学ホームページにある専用申し込みフォーム

から
申込期間 7月
1日(木)～8月
10日(火)

津市出合い応援事業
親向け結婚支援セミナー

子育て推進課
☎229-3390 ☎229-3451

とき 8月7日(土)10時～11時30分

ところ 津センターパレス2階中央公民館ホール

内容 現在の婚活事情や親にできる子どもの結婚支援について
対象 市内に在住・在勤の未婚の子どもを持つ親や家族

定員 先着50人

申し込み 電話またはEメールで子育て推進課(☎229-3167@city.tsu.lg.jp)へ

申込期間 7月6日(火)～8月6日(金)

美杉・安濃総合支所
木造住宅の耐震相談会

建築指導課
☎229-3187 ☎229-3336

木造住宅の耐震診断・耐震補強工事における補助制度・補強方法・費用などについて、建築士と市職員が相談に応じます。ブロック塀などの防災対策や撤去改修補助制度についてもご相談ください。

とき ①7月14日(水)10時～13

時 ②7月28日(水)10時～13時
ところ ①市美杉庁舎1階ロビー
②市安濃庁舎1階ホール
申し込み 電話で建築指導課へ

夏休み森と緑の親子塾

林業振興室
☎262-7025 ☎264-1000

とき 8月8日
(日・祝)10時～15時

ところ 津市木材処理加工施設内(美杉町上多気、道の駅美杉西側)

内容 林業体験、木工教室など
対象 市内に在住・在学の小学生と保護者

定員 抽選6組(1組3人まで)
持ち物 昼食、飲み物、タオル、帽子、レジャーシート、健康保険証

申し込み はがき、またはファクス、Eメールで住所、電話番号、参加者全員の氏名・学校名・学年・希望木工品(プランター、マガジンラック、木製掛時計、本立て、ランプシェードのいずれか)を林業振興室(〒515-2603 白山町川口892、☎262-7025@city.tsu.lg.jp)へ

締め切り 7月9日(金)必着
※この事業は「みえ森と緑の県民税市町交付事業」を活用しています。



夏の流星群を見よう!

8/6 金 ①14:00～15:00 ②18:00～19:00
岡三デジタルドームシアター「神楽洞夢」(中央)

8月13日に極大を迎えるペルセウス座流星群についてご紹介。プラネタリウム番組「ノーマン・ザ・スノーマン～流れ星のふる夜に～」も上映します。

対象 市内に在住・在勤・在学の4歳以上

※小学3年生以下は保護者と参加

がきで「夏の流星群を見よう!」と明記し、希望時間、参加者2人の住所・氏名・年齢、電話番号を中央公民館(〒514-0027 大門7-15 津センターパレス2階)へ ※1通につき1組有効(1人での申し込み不可)

締め切り 7月16日(金)必着



対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	----	---------	----

事業名	津市森林環境教育事業
-----	------------

7の(2). その他資料

○広報誌によるイベント開催周知(まるごと林業体験)

市政へのご意見・ご要望は…地域連携課 〒514-8611(住所不要)
☎229-3105 ☎229-3366 ✉info@city.tsu.lg.jp

津市役所 検索

初心者向け野鳥観察会

環境保全課

☎229-3140 ☎229-3354

自然公園内を散策して多種多様な野鳥を観察します。双眼鏡の使い方など、観察の初歩から学びます。



と き 11月27日(土)10時~12時

と ころ 津市リサイクルセンター内自然公園 ※雨天時は室内

対 象 市内に在住の小学生以上
※小学生は保護者同伴

定 員 抽選10人程度

申し込み 電話またはファクスで環境保全課へ

締め切り 10月26日(火)

市民税課**会計年度任用職員(短期)**

市民税課

☎229-3130 ☎229-3331

任用期間 来年1月11日(火)~3月31日(木)のうち2カ月程度

勤務時間 8時30分~17時15分

※土・日曜日、祝・休日を除く

業務内容 書類整理、申告相談の補助など

賃 金 月額6,852円(通勤手当・地域手当は別途支給、駐車場なし)

定 員 8人程度 ※面談の上、決定

申し込み 直接窓口または電話で市民税課へ

申込期間 10月18日(月)~29日(金)

※任用期間、執務場所など詳しくは面談時に説明

資産税課**会計年度任用職員(短期)**

資産税課

☎229-3132 ☎229-3331

任用期間 来年1月4日(火)~2月28日(月)

勤務時間 8時30分~17時15分

※土・日曜日、祝・休日を除く

執務場所 市本庁舎

業務内容 償却資産申告書の受け付け、データ入力など ※詳しくは面接時に説明

賃 金 月額6,852円(通勤手当・地域手当は別途支給、駐車場なし)

試験内容 パソコンでのデータ入力試験、面接

対 象 パソコンを使った事務の経験があり、実務的な入力・計算・表作成などができる人

定 員 2人

申し込み 直接窓口または電話で

資産税課へ

申込期間 10月18日(月)~11月12日(金)

まるごと林業体験

林業振興室

☎262-7025 ☎264-1000

と き 11月20日(土)10時~15時

と ころ 美里水源の森



内 容 間伐体験、ポータブルウィンチを使った集材体験、木工体験

対 象 市内に在住・在勤・在学の中学生以上 ※中高生は保護者同伴

定 員 抽選20人程度

持ち物 昼食、飲み物、軍手、レジャーシート、健康保険証
※動きやすい服装

申し込み はがき、またはファクス、Eメールで、住所、参加者全員の氏名・年齢、電話番号を林業振興室(〒515-2603 白山町川口892、☎262-7025@city.tsu.lg.jp)へ

締め切り 10月27日(水)必着

※この事業は「みえ森と緑の県民税市町交付金事業」を活用しています。

「明合地区社会福祉協議会」の紹介

地域とつながる

推進事業については、当地区ならではの活



第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	----	---------	----

事業名	津市森林環境教育事業
-----	------------

7の(2). その他資料

○森と緑の親子塾アンケート結果

令和3年度 夏休み森と緑の親子塾アンケート回答集約
回収 13名/14名

Q1「木工細工」はどうでしたか？

よかった	13人
ふつう	0人
よくなかった	0人

Q2(木工細工)何がよかった(よくなかった)ですか？

別紙のとおり

Q3「林業体験」はどうでしたか？

よかった	13人
ふつう	0人
よくなかった	0人

Q4(林業体験)何がよかった(よくなかった)ですか？

別紙のとおり

Q5「森林の役割や林業」について、理解できましたか？

わかった	12人
なんとなく	1人
わからなかった	0人

Q6「木づかい」について、これからも木を使いたいと思いますか？

おもう	13人
なんとなく	0人
おもわない	0人

Q7. 「森林や林業」をテーマとして、どんな体験や学習をしたいですか？

別紙のとおり

Q8. その他にご意見がありましたらお願いします。

別紙のとおり

2. 何がよかった(よくなかった)ですか？(木工細工)

番号	理由
1	親が少し手伝えば完成できること
2	木を彫刻刀で木を削ることができ良かった。
3	子どもと楽しく遊べた。
4	本棚を作れたこと
5	子どもと楽しく遊べた。
6	時計を作れたりふだんできないことをできて楽しかった
7	大工の気分になれました
8	子供たちが初めての体験ができた
9	マガジンラックが作れてよかった
10	彫刻刀を初めて使って時計をつくれたこと
11	いろいろな木工細工が作れて良かった
12	マガジンラックが作れたところが良かった
13	子供にも作りやすく

4. 何がよかった(よくなかった)ですか？(林業体験)

番号	意見
1	皮むき なかなか体験できない。
2	木を切ったり、木の皮をむけて良かった
3	皮むき
4	皮むき
5	のこぎり
6	木を切れて、できないことをできたので楽しかった
7	皮をむけたのが良かった
8	普段できない体験ができた
9	木の皮むきが良かった。皮のむき方を初めて知れて良かった
10	楽しかった
11	木の皮のむき方を初めて知り、とても勉強になった
12	木を切るのが良かった。
13	日ごろ、目を向けられない部分を知る事が出来た

7. 「森林や林業」をテーマとして、どんな体験や学習をしたいですか？

番号	意見
2	もっと太い木を切りたい
3	まきわり
4	まきわり体験
5	虫取り体験
6	木を使って普段できないことをしてみたい
7	木工細工をしたい
9	木工細工を作りたい(皿とかが作りたい)
11	今回のような木工細工、木を板などに加工しているところも見たい
12	木工細工作り、木が板になる所も見たい
13	実作業の見学

8. その他に意見

番号	意見
7	楽しかったです
8	植林や伐採の見学
9	また来年も来たいです。
11	今回初めて参加しました。子供たちもとても喜んで参加できて良かったです。ありがとうございました。
12	他の季節にも開催して欲しい。

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	----	---------	----

事業名	津市森林環境教育事業
-----	------------

7の(2). その他資料

○まると林業体験アンケート結果

令和3年度 まると林業体験アンケート回答集約	
回収 9名/9名	
Q1「間伐体験」はどうでしたか？	
よかった	6人
ふつう	3人
よくなかった	0人
Q2(間伐体験)何がよかった(よくなかった)ですか？	
別紙のとおり	
Q3「ポータブルウインチを活用した集材体験」はどうでしたか？	
よかった	6人
ふつう	3人
よくなかった	0人
Q4(ポータブルウインチを活用した集材体験)何がよかった(よくなかった)ですか？	
別紙のとおり	
Q5「木工体験」はどうでしたか？	
よかった	8人
ふつう	0人
よくなかった	0人
Q6(木工体験)何がよかった(よくなかった)ですか？	
Q7.「木づかい」について、これからも木を使いたいと思いますか？	
おもう	7人
なんとなく	1人
おもわない	0人
Q8.「森林や林業」をテーマとして、どんな体験や学習をしたいですか？	
別紙のとおり	
Q9. その他にご意見がありましたらお願いします。	
別紙のとおり	

2. 何がよかった(よくなかった)ですか？(間伐体験)

番号	理由
3	チェーンソーを使えると思っていた。残念
4	生きた木を切った経験が無く、初めて経験だったから。
5	間伐はチェーンソーでやりたかった
6	実際に木材を切るのは初体験で良かったです。
8	間伐体験
9	丁寧に指導いただきとても分かりやすかったです。実際、交代で木も切れました。もやい結びしたロープを木の上の方へあげるのはいすごいと思った。

4. 何がよかった(よくなかった)ですか？(集材体験)

番号	意見
2	普段見られないものを見ることができた
3	細かい説明は一般人には必要無いと思う
4	初めてポータブルウインチを見たから。
8	体験できたこと
9	初めて見ました

6. 何がよかった(よくなかった)ですか？(木工体験)

番号	意見
2	久しぶりに木でもものをつくる体験ができて良かったです。
4	久しく物を作ることがなかったののでいい経験になりました。
5	工作が良かった。工作は机上では力かからないので床の方が良いかも
6	スギ材を使った素晴らしい箱を作ることができて良かったです。
9	端材で自分が何か作れるのかと思っていましたが、材料が用意してあり、指導いただき、とても良い手作りの入れ物ができました。

8. 「森林や林業」をテーマとして、どんな体験や学習をしたいですか？

番号	意見
3	きのこの菌打ち
4	次回は「植林」を試みたいです。
5	チェーンソーの安全な使い方(中級)、チェーンソー制作体験
6	林業について少しながらも知り、体験できました。ありがとうございます。
9	森林の水(森→河川→海)の流れや、森林が自然災害防止になっていること。

9. その他

番号	意見
5	個人林業、個人山林地主向け研修。山の境界など。山林を守っている人の体験談、山林で収入を得る方法、補助金活用の説明。山小屋の作り方。チェーンソーのメンテナンス方法。DIY教室。机やイスの製作体験。伊勢観光コースに木工体験を組み込めば人気出そう。
9	放置山林が多くなっているのが心配です。

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	津市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
3	美里水源の森「林業体験」事業					
事業費	255,900 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			250,000	0	5,900	

1. 事業の目的
美里水源の森の水源涵養林等を活かしながら、自然や環境保全を学べる場として市内の小学生を対象に、野外体験や林業体験を通して自然や森林・林業の魅力を感じてもらい、森林に対する理解を深める。
2. 事業実績概要
<p>【事業内容】</p> <p>平成26年度から平成30年度にかけて市町交付金を活用して整備した美里水源の森をフィールドとして自然に親しむ市民の憩いの場、青少年の自然・環境体験学習の場として、市内在学の小学生を対象に、林業体験（シイタケ菌打ち、薪割り体験）を実施。</p> <p>【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】</p> <p>長野川流域環境保全協議会</p> <p>【実施個所及び箇所数】</p> <p>美里水源の森「林業体験」：1回 「シイタケ菌打ちと薪割り体験」3月5日開催</p> <p>【事業量】</p> <p>美里水源の森「林業体験」：1回 市内在学の小学生と保護者11組26名</p>
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】
<p>【事業実施により期待される効果】</p> <p>シイタケ菌打ち：菌打ち体験を通じて、森のはたらきや、森と人との関わり、林業や産業への理解を深めることができた。薪割りの体験を通じて、木に触れるとともに、木と人との関わりについて考えることができた。</p> <p>【効果を発揮させるための工夫・取組】</p> <p>市内の小中学校すべてに案内を行い、幅広く参加者を募集している。</p> <p>【新たな対策・視点及び改善点】</p> <p>美里水源の森の自然環境に触れることができるような森林環境教育を今後も実施する。</p>

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	津市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
3	美里水源の森「林業体験」事業					
事業費	255,900 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			250,000	0	5,900	
4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】						
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】						
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考		
負担金	その他	定額補助	250,000	長野川流域環境保全協議会		
【委託先及び補助対象者等の選定理由】						
協議会が主体となって行う森林環境教育事業の費用を市が一部負担して、協議会が実施することで、水源の森の活用を進めてきており、令和3年度においても、同様に実施した。						
【主な経費内訳】						
(別紙のとおり)						
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】						
【受益者及び、期待する波及効果】						
受益者	参加者（26人）					
期待する波及効果	森林・林業に対する理解を深める効果（参加者の家族への波及効果が期待できる。）					
【公的関与の必要性】						
森林の公益的価値や機能を学ぶ森林環境教育は、人材育成だけでなく、国土の2/3を占める森林を身近で大切な資産であり、守り育てることの大切さを理解していただく上で、非常に重要である。						
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】						
体験学習の開催であり、該当しない。						
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】						
【情報発信の内容】						
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）				
チラシ等配布	実施前	市内の小学4、5年生の児童の保護者へチラシを配布し、イベント開催の周知を図る。				
のぼり設置	実施中	のぼりを設置し、県民税事業を啓発する。				
HP掲載	実施後	美里水源の森専用のHPを作成し、事業のPRを行う。				
広報誌掲載	実施後	地域広報誌でイベントの内容について掲載した。				
パネル展示	実施後	市町交付金事業のパネルを庁舎（白山）に掲示し、PRを行っている。				
7. 写真及びその他資料						
別紙のとおり						
8. その他特記事項（受益者の反応等）						

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	津市
事業名	美里水源の森「林業体験」事業		

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
美里水源の森「林業体験」 シイタケ菌打ち体験 と薪割り体験	講師謝金	式	1.00	60,000	60,000	林業体験指導（6人）
	資材費	式	1.00	136,152	136,152	原木、駒菌等
	消耗品費	式	1.00	53,790	53,790	かなづち等
	諸経費	式	1.00	5,958	5,958	切手代、保険代
			合計		255,900	

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	----	---------	----

事業名	美里水源の森「林業体験」事業
-----	----------------

7の(1). 写真



写真1

シイタケ菌打ち体験



写真2

シイタケ菌打ち体験



写真3

シイタケ菌打ち体験



写真4

薪割り体験



写真5

薪割り体験



写真6

薪割り体験

松阪市

令和 3 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報 (平成30年度版三重県市町要覧による)

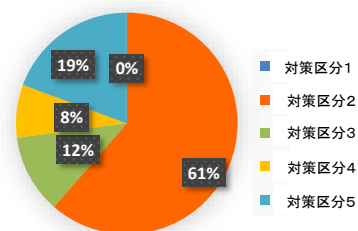
市町名	松阪市	三重県
人口 (人)	159,145	1,782,190
年少人口割合 (%) * 1	12.7%	12.4%
森林面積 (ha)	42,802.00	372,352.55
民有林面積 (ha) * 2	41,341.00	348,833.49
森林率 (%)	69.0%	64.0%
都市公園面積 (㎡/人口) * 3	7.23	10.1

* 1 : 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2 : 国有林以外の森林 (個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。)

* 3 : 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠・加算枠) 事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額 (円) (当年度交付金額 + 基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	里山の森林安全安心対策事業	12,923,900	12,873,600		12,873,600				
2	3	森林環境学習事業	2,875,400	2,875,400			2,875,400			
3	4	保育園木育推進事業	3,138,000	2,000,000				2,000,000		
4	3	松阪の木魅力発信活動事業	322,625	100,000			100,000			
5	5	都市公園整備事業	2,567,400	2,000,000					2,000,000	
6	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	12,198,977	3,000,000		3,000,000				
7	5	松浦武四郎記念館木育推進事業	3,579,400	3,000,000					3,000,000	
				0						
計			37,605,702	25,849,000	0	15,873,600	2,975,400	2,000,000	5,000,000	0

3. 令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (連携枠) (防災枠) 事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	12.77ha	5,286,600	5,286,600	間伐12.77ha、現地調査6箇所
森林再生力強化対策事業	8,373m	3,634,950	3,634,950	防護柵補助8,373m
災害からライフラインを守る事前伐採事業	1.7ha	12,198,977	3,000,000	危険木伐採1,007本

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	<p>松阪市は海から山まで、市街地から過疎地まで、一つの自治体の中で風土、地域性が多岐に亘っており、当該交付金の活用については「普く、上流域から下流域まで、如何に有効活用するか」「市民に当事者意識と主体性を如何に促すか」といった両側面において、多様な地域性に応じた事業展開のデザインと創意工夫が求められるところである。加えて、近年の異常気象に起因する自然災害に対応すべく、肅々と森林整備を行うことと同時に、森と緑を育む人づくりを図るため、市民に森林や林業についての学びとふれあいの機会を提供する事も極めて重要であると考えられる。</p> <p>令和3年度は合計7事業について、当該交付金のPRに努めつつ、海から山まで、普く持続可能な施策を展開し、森と緑と市民の関係を一層深められるよう注力した。</p>
事業実施により期待される効果	<p>里山の森林安全安心対策事業及び災害からライフラインを守る事前伐採事業については、自助努力により対応できない箇所について、配電事業者や地域と連携しながら実施することにより、物理的な安全安心の確保に加え森林所有者による事業実施後の管理意識の向上に繋がる。森林環境学習については、小学校の従来のカリキュラムである清掃工場における環境学習に加え当該事業を実施することにより、飛躍的な森林の公益的機能の理解、定着が期待される。</p>
情報発信への取組	<p>森林整備・都市公園整備遂行にあたり、地域住民への回覧等による情報伝達時に併せて県民税のPRチラシ配布し積極的な啓発を行っている。森林環境学習については、報道機関へ情報提供を行い、新聞紙上やテレビ放映において、情報を発信した。</p>

第 11 号様式 (その 1) (参考資料)

年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税 (千円)
1	② 意向調査	6,303	6,303
2	① 意向調査の準備作業	4,963	4,963
3	⑦ その他 (森林整備)	46,894	46,894
4	⑮ 森林・林業・木材普及活動等	23,961	1,214
5	⑮ 森林・林業・木材普及活動等	6,764	6,664
6	⑰ 基金積立 (森林整備等)		39,874
7			
8			
9			
10			
	合計	88,885	105,912

【記載要領】

ア. 事業カテゴリーの欄は下記の項目から該当するものを選択し記載するものとする。

事業カテゴリーの項目
① 意向調査の準備作業
② 意向調査
③ 私有林整備
④ 公有林整備 (財産区有林含む)
⑤ 森林保護対策
⑥ 林道・林専道の整備等
⑦ その他 (森林整備)
⑧ 担い手確保
⑨ 林業就業者の育成
⑩ 専門員の雇用
⑪ 新たな組織の設立
⑫ その他 (人材育成等)
⑬ 木造公共建築物の整備等
⑭ 木質バイオマス利用推進
⑮ 森林・林業・木材普及活動等
⑯ その他 (木材・普及啓発関係)
⑰ 基金積立 (森林整備等)
⑱ 基金積立 (人材育成等)
⑲ 基金積立 (木材利用等)
⑳ 基金積立 (執行残額等)

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
1	里山の森林安全安心対策事業					
事業費	12,923,900 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			12,873,600		50,300	

1. 事業の目的	
<p>集落や公共施設周辺の森林で、森林の持つ公益的機能が発揮されない状態にある森林を対象に、森林所有者や地域の自治会等と連携し、集落の安全と安心を確保することを目的に森林整備を行う。</p>	
2. 事業実績概要	
<p>【事業内容】</p> <p>該当地域において、関係者と連携して現地調査を行い、森林の境界確認・測量及び間伐等の森林整備を行う。</p> <p>【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】</p> <p>松阪市</p> <p>【実施個所及び箇所数】</p> <p>森林整備箇所14箇所</p> <p>【事業量】</p> <p>間伐 3.33ha、支障木伐採 438本</p>	
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】	
<p>【事業実施により期待される効果】</p> <p>集落周辺の森林が整備されたことにより、地域住民の生活環境の向上や道路の安全性が確保される。又、地域の自主防災組織や自治会長と連携することにより、地域の里山の在り方を見直す良いきっかけとなり、継続的な取組が可能となる。</p> <p>【効果を発揮させるための工夫・取組】</p> <p>森林所有者の自助努力の底上げを促すべく、アンケート調査等を行うなどPDCAサイクルの構築に繋げている。</p> <p>【新たな対策・視点及び改善点】</p> <p>事業実施前、実施時にチラシを配布、ポスター掲示により、みえ森と緑の県民税市町交付金事業のPRと森林、林業の啓発を行う。事業実施後は関係者へのアンケート調査を実施し、事業のフィードバックを行う。またHP等を活用し幅広く情報発信を行う。</p>	

年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
1	里山の森林安全安心対策事業				
事業費	12,923,900 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			12,873,600		50,300

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】					
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】					
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考	
委託事業	森林組合	補助事業ではない			
【委託先及び補助対象者等の選定理由】					
森林所有者、認定林業事業者及び市の3者において、長期にわたる森林の機能向上を図るべく「災害に強い森林づくり協定」を締結しているため。					
【主な経費内訳】 (別紙のとおり)					
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】					
【受益者及び、期待する波及効果】					
受益者	受益戸数112戸、市道・国県道・公共施設等の受益約20件				
期待する波及効果	地域の里山の在り方を見直すきっかけとなる				
【公的関与の必要性】					
地域の懸案箇所整備が中心であり、官民協働の横断的な調整が必要であることから公的関与が不可欠である。					
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】					
森林所有者との協定により、適切な維持管理と転用等制限を担保している。					
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】					
【情報発信の内容】					
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）			
標識・標柱等設	実施後	みえ森と緑の県民税市町交付金活用のPR			
ポスター掲示	実施前・中・後	森林のはたらきや当該交付金の主旨説明とPR			
チラシ等配布	実施前	森林のはたらきや当該交付金の主旨説明とPR			
施工看板に掲示	実施前・中	みえ森と緑の県民税市町交付金活用のPR			
のぼり設置	実施中	みえ森と緑の県民税市町交付金活用のPR			
アンケート実施	実施後				
7. 写真及びその他資料					
別紙のとおり					
8. その他特記事項（受益者の反応等）					
平成26年度から継続実施。平成26年度～令和3年度の実績90箇所					

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり	市町名	松阪市
------	----------------	-----	-----

事業名	里山の森林安全安心対策事業
-----	---------------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
測量調査		式	1.00	136,000	136,000	
間伐		式	1.00	2,303,000	2,303,000	3.33ha
支障木伐採		式	1.00	5,535,000	5,535,000	438本
諸経費		式	1.00	3,775,000	3,775,000	
小計					11,749,000	
消費税及び地方税相当額					1,174,900	
				合計	12,923,900	

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	里山の森林安全安心対策事業
-----	---------------

7 の (1) . 写真



写真1

支障木伐採(着手前)松阪市飯南町粥見地内
地域の幹線道路路際に倒木の恐れがあり、危険であった



写真2

支障木伐採(完成)松阪市飯南町粥見地内
事業実施により危険が解消された



写真3

支障木伐採(作業状況)松阪市飯高町宮本地内
ラフタークレーン、高所作業車使用



写真4

支障木伐採(作業状況)松阪市久保町
交通整理員配置状況



写真5

支障木伐採(作業状況)松阪市阪内町地内
ツリークライミング工法実施状況



写真6

森林整備(作業状況)松阪市阪内町地内
ツリークライミング工法実施状況

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	里山の森林安全安心対策事業
-----	---------------

7 の (2) . その他資料

・ アンケート (自治会、山林所有者対象)

🌲 アンケートご協力のお願い 🌲

「みえ森と緑の県民税」は、「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるために、平成26年4月から三重県が導入した税金です。

松阪市では、この税を活用して、里山の森林安全安心対策事業を実施しました。

今後の事業実施の参考にするため、この事業の感想と、森林に対する想いを聞かせてください。

里山の森林安全安心対策事業の感想を聞かせてください。

- ① この事業を実施していることを知っていた
 ・知っていた 事業実施時に知った ・知らなかった
- ② この事業にこの税を使っていることを知っていた
 ・知っていた 事業実施時に知った ・知らなかった
- ③ 台風等の自然災害での被害の心配が軽減された
 そう思う ⇔ そう思わない
 4 3 2 1

森林に対する想いを聞かせてください。

- ① 安全、快適に暮らすためには、森林の手入れが大切だと思う
 そう思う ⇔ そう思わない
 4 3 2 1
- ② 木を使うことは、森林の手入れにつながると思う
 そう思う ⇔ そう思わない
 4 3 2 1
- ③ これからは身近な森林 (里山) や竹林の手入れをしようと思う (手入れに参加しようと思う)
 そう思う ⇔ そう思わない
 4 3 2 1
- ④ 災害に強い森林づくりのために、これからは幅広い用途で木材利用をしようと思う。
 そう思う ⇔ そう思わない
 4 3 2 1
- ⑤ みえ森と緑の県民税について、ご意見があればご記入ください



自然災害で、被害が軽減されたので
 事業を継続してほしい。

ご協力ありがとうございました。

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
2	森林環境学習事業					
事業費	2,875,400 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			2,875,400		0	

1. 事業の目的						
<p>森林環境保全や木材利用促進により、地域の環境保全等につながることを体験型の学習を通して、市内小学校の児童を対象に実施する。また、松阪地域の木材を使用して小学校の内装の一部を木質化し、その空間を体感してもらうことにより、森林管理や林業の「担い手」を育成する機会とすること。</p>						
2. 事業実績概要						
<p>【事業内容】 管内小学生を対象に森林環境保全や森林整備についての森林環境教育を実施する。また、その小学校で松阪地域産の木材を使用し、教室等の木質化を行う。</p> <p>【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】 松阪市</p> <p>【実施個所及び箇所数】 市内小学校2校 (松阪市立豊田小学校、松阪市立山室山小学校)</p> <p>【事業量】 森林環境学習及び、小学校の玄関、廊下等の木質化：2校</p>						
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】						
<p>【事業実施により期待される効果】 森林環境学習を実施することにより、木材の活用や森林づくりへの理解が深まる。また、理解や興味を持ったところで、木質化された教室等で学ぶことにより、さらに木材とのふれあいも進むなどの相乗効果が期待できる。</p> <p>【効果を発揮させるための工夫・取組】 森林環境学習、製材工場・バイオマス工場等見学、木工教室等複合的なアプローチで事業を実施することにより、効率的な木育に繋がる。</p> <p>【新たな対策・視点及び改善点】 環境学習実施後のアンケートでは「森林の勉強ができてよかった」「丸太切りが楽しかった」など、高評価を得ているが、事業開始から8年が経過するも、市内の約半数の学校で事業実施に至っておらず、次世代の担い手育成に繋がる学習ができていない学校がある現状にある。今後も次世代の担い手育成のため、当県民税のPRを行いたい。</p>						

年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
2	森林環境学習事業					
事業費	2,875,400 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			2,875,400		0	

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】				
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】				
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	活動団体	補助事業ではない		
【委託先及び補助対象者等の選定理由】				
森林・林業に携わる関係者による組織であり、森林・林業に精通し、又、恒常的に小学生を対象とした森林に纏わる学習イベントを開催するなど、適切な教育を実施することができるため。				
【主な経費内訳】				
(別紙のとおり)				
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】				
【受益者及び、期待する波及効果】				
受益者	豊田小学校5年生(児童27名)、山室山小学校4年生(児童数95名)			
期待する波及効果	学習終了後も校舎を木質化することにより学校全体への波及効果が見込める			
【公的関与の必要性】				
市内小学校と協働し、当市における環境側面のカリキュラムとの相乗効果をはかりながら、森林環境を推進していく事を鑑みると公的関与の必要性大である。				
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】				
木質化を行った構造物については、実施した施設にて適正な管理を行うこととしている。				
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】				
【情報発信の内容】				
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）		
TV（行政チャンネル等）	実施後	報道機関への情報提供を行い、みえ森と緑の県民税を活用した取り組みであることを周知		
のぼり設置	実施中	学習実施時にのぼりを設置し、当該交付金活用事業であることをPR		
啓発物品配布	実施後	森林のはたらきをテーマとした絵本を作製し、市内小学校・保育園・幼稚園に配布		
アンケート実施	実施後			
ロゴマーク掲示（シル・プレート）	実施後	校舎の木質化を行った後にプレートを設置し、当該事業活用の取組であることを周知		
7. 写真及びその他資料				
別紙のとおり				
8. その他特記事項（受益者の反応等）				
平成26年度から継続実施。平成26年度～令和3年度の実績15校				

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	松阪市
------	-------------	-----	-----

事業名	森林環境学習事業
-----	----------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
環境学習人件費	講師等	人・日	12.00	15,000	180,000	2校実施分
環境学習直接経費	木工工作 (材料費)、丸太切り (原木)	式	1.00	500,000	500,000	
環境学習直接経費	移動用大型バス	台	2.00	125,000	250,000	2校実施分
環境学習直接経費	木工工作指導員謝礼	人	10.00	10,000	100,000	指導員5人 (2校実施分)
環境学習直接経費	環境学習絵本作成	式	1.00	300,000	300,000	
環境学習直接経費	活動報告書	部	10.00	1,000	10,000	
木質化施工費	木質化施工費	式	1.00	600,000	600,000	廊下腰壁、図書館の 木質化45㎡程度 (2校実施分)
木質化施工費	杉坂、下地材、金物等	式	1.00	600,000	600,000	
木質化施工費	塗装	式	1.00	200,000	200,000	
木質化施工費	清掃等	式	1.00	160,000	160,000	
合計					2,900,000	(税込)

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境学習事業
-----	----------

7の(1). 写真



写真1

森林環境学習(製材工場見学)



写真2

森林環境学習(木工教室状況)



写真3

森林環境学習(森林環境教育状況)



写真4

みえ森と緑の県民税のぼり設置によるPR状況



写真5

小学校廊下木質化(完成)



写真6

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境学習事業
-----	----------

7 の (2) . その他資料

・新聞掲載状況



・木育用絵本作製 (下絵)



・木製プレート (木質化した校舎に設置)



第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
3	保育園木育推進事業				
事業費	3,138,300 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			2,000,000		1,138,300

1. 事業の目的

市内の公立保育園の備品を木質化し、木材と市民の関係を深める。

2. 事業実績概要

【事業内容】

市内の公立保育園の備品を市産材で木質化する。また、森林環境学習の一環として、みえ森と緑の県民税市町交付金事業にて作製した、児童及び園児向けの森林環境学習用絵本の読み聴かせ等を行う。

【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】

松阪市

【実施個所及び箇所数】

保育園15園

【事業量】

保育園15園への木育推進のための木製備品導入一式

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

園児たちが市産材で木質化された備品に触れることで、木材とのふれあいが進む。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

木製備品を導入するだけでなく、空間整備と併せて森林環境学習用絵本の読み聞かせを行うことで、幼少期からの木育を推進する。

【新たな対策・視点及び改善点】

森林環境学習用絵本の読み聞かせによる木育推進のほか、保育園だよりなど等に森のはたらきや交付金事業活用について記載する。

年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
3	保育園木育推進事業				
事業費	3,138,300 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			2,000,000		1,138,300

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
物品購入	その他	補助事業ではない		②一般競争入札により決定 ③物品購入

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

一般競争入札を実施する事により公平性の担保と経費削減に繋がることから

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	保育園21園（園児数約1,700名）
期待する波及効果	保護者への波及効果も期待できる

【公的関与の必要性】

市の管理施設であるため、公的関与は必要である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

維持管理は市が主体的に実施する。転用、目的外

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
回覧板・掲示板	実施前・後	保育園関係者や保護者に対して、保育園だより掲載により、当該交付金事業の活用をPR
ロゴマーク掲示 (シール・プレート等)	実施後	木製備品にシールを貼り付け、当該事業活用の取組であることを周知

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	松阪市
------	-------------------	-----	-----

事業名	保育園木育推進事業
-----	-----------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
	木製スタッキングチェア0～3歳児用	脚	86.00	11,800	1,014,800	
	木製スタッキングチェア4～5歳児用	脚	62.00	13,700	849,400	
	木製スタッキングテーブル	台	16.00	61,800	988,800	
					2,853,000	
				消費税(10%)	285,300	
				合計	3,138,300	

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	保育園木育推進事業
-----	-----------

7 の (1) . 写真



写真1
木製机、椅子設置状況



写真2
木製机、椅子設置状況



写真3
県民税を活用し、松阪市にて作製した木育用絵本の読み聴かせ状況



写真4
掲示板で「みえ森と緑の県民税」の周知と森林の大切さや必要性を説明



写真5



写真6

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
4	松阪の木魅力発信活動事業					
事業費	322,625 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			100,000		222,625	

1. 事業の目的

松阪地域の林業・木材産業に携わる若手後継者で構成する団体「松阪地区青和会」主催により、「松阪の木」啓発イベントを実施することで、木の魅力を体感してもらう。

2. 事業実績概要

【事業内容】

地元材需要拡大に向け、小学校児童やその保護者に木の魅力を伝えるべく、ウィズコロナ期を踏まえ、WEB方式 (YouTube配信) により木工教室を実施。

【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】

松阪地区青和会

【実施個所及び箇所数】

【事業量】

WEB方式で動画配信、木工キット製作材料費一式、PR用チラシ作成

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

親子対象のイベントであることから、各家庭において森林や林業・木材産業への関心を促進させることに繋がる

【効果を発揮させるための工夫・取組】

集客イベントの開催が困難な中であって、社会情勢にマッチした参加しやすい環境を構築し、森林・林業啓発に繋げることができた

【新たな対策・視点及び改善点】

今後もウィズコロナを見据えた事業内容に刷新していく

年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
4	松阪の木魅力発信活動事業				
事業費	322,625 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			100,000		222,625

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】					
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】					
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考	
補助事業	活動団体	その他		③1/3以内	
【委託先及び補助対象者等の選定理由】					
当該地域の林業・木材産業に携わる若手後継者で構成する団体であり、森林・林業に関する専門的な知識や技術を有しているため					
【主な経費内訳】					
(別紙のとおり)					
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】					
【受益者及び、期待する波及効果】					
受益者	対象者約255名				
期待する波及効果	参加者の家族や友人への波及効果が期待できる				
【公的関与の必要性】					
林業・木材産業団体、市内学校等と協働、推進していく事を鑑みると公的関与の必要性大である。					
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】					
施設整備等ではなく、転用や目的外使用は想定されない。					
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】					
【情報発信の内容】					
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）			
TV（行政チャンネル等）	実施後	報道機関への情報提供を行い、みえ森と緑の県民税を活用した取り組みであることを周知			
パネル展示	実施前	市役所ロビーにてパネル展示を行い、事業のPRを実施した。			
アンケート実施	実施後				
7. 写真及びその他資料					
別紙のとおり					
8. その他特記事項（受益者の反応等）					

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	松阪市
------	-------------	-----	-----

事業名	松阪の木魅力発信事業
-----	------------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
木材キット製作材料費		セット	90.00	2,290	206,100	
木材加工費		セット	90.00	222	19,980	
研修費		人	2.00	10,000	20,000	
消耗品費		式	1.00	41,470	41,545	
広報費		式	1.00	35,000	35,000	
				事業費	322,625	(1/3以内)
				補助額	100,000	

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	松阪の木魅力発信事業
-----	------------

7 の (1) . 写真



写真1
WEB方式による木工教室状況



写真2
WEB方式による木工教室状況



写真3
WEB方式による木工教室状況

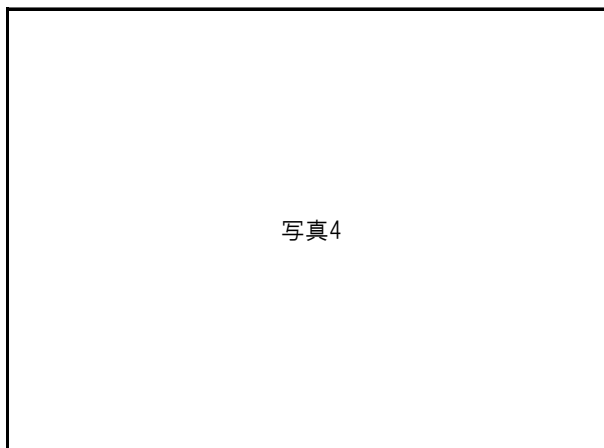


写真4



写真5



写真6

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	松阪の木魅力発信事業
-----	------------

7の(2). その他資料

・新聞掲載記事



・イベントPR展示状況(市役所ロビー)



・イベントフライヤー

松阪フェスタ木バル2021
MATSUSAKA FESTIVAL 2021
CHARM OF THE WOOD FOR YOU

オンライン親子木工教室
飯南高校×松阪地区青和会コラボ企画

木に触れてもらいたい!
木の魅力を知ってほしい!
をテーマに4月から飯南高校の授業の「いいなんゼミ」で5名の生徒と松阪地区青和会が一緒になって木工工作キットを考え、作りました。
ローテーブル・椅子・時計の3種類

作り方

- ◆Youtube『青和会チャンネル』の作り方動画を見て、作ってください。
- ◆完成したら、アンケート用紙を書いて、出来上がった木工作品の写真を撮ってください。写真は、印刷しアンケート用紙に張り付ける、もしくは〇〇〇〇gmail.comに送付してください
- ◆アンケート用紙に回答、写真を送付でメモ帳をプレゼントします。提出期限：12/13(月)までに小学校へ提出

※アンケート等の個人情報第三者には提供いたしません。

主催 松阪地区青和会 後援 松阪市教育委員会・夕刊三重新報社



第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
5	都市公園整備事業				
事業費	2,567,400 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			2,000,000		567,400

1. 事業の目的

公共空間である公園において、市産材の木材利用を促進するとともに、木の魅力を体感してもらう機会を創出することで、木材と市民の関係を深める。

2. 事業実績概要

【事業内容】

都市公園内に市産材の木製ベンチを設置。

【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】

松阪市

【実施個所及び箇所数】

2箇所 (広陽公園、広陽2号公園)

【事業量】

ベンチ14基

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

多くの市民が利用される公園において、市産材でベンチを建築することにより、市民が木材とふれあう機会が増え、木材の活用や森林づくりへの理解が深まる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

スポーツ、遠足の目的地、周辺の工業団地従業員の憩いの場など、多用途で利用されている施設であり、建築に併せてパネル展示等により、森林・林業について幅広く啓発が可能。

【新たな対策・視点及び改善点】

多くの県民、市民が利用する公園に木製ベンチを設置することで、木材に接する機会を増加・強化できる。

年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
5	都市公園整備事業				
事業費	2,567,400 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			2,000,000		567,400

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】				
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】				
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
工事請負	建設業者	補助事業ではない		
【委託先及び補助対象者等の選定理由】				
競争入札により、専門的な技術を有する事業者を選定。これにより、公平性の担保と経費の削減にも繋がる。				
【主な経費内訳】 (別紙のとおり)				
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】				
【受益者及び、期待する波及効果】				
受益者	施設利用者約3,000名			
期待する波及効果	利用者の家族や友人への波及効果も期待できる。			
【公的関与の必要性】				
市が管理者である公園の整備であり、公的関与は必要である。				
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】				
維持管理は市が主体的に実施する。転用、目的外使用については、公共施設であるため想定されない。				
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】				
【情報発信の内容】				
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）		
ロゴマーク掲示 (シール・プレート)	実施後	ベンチ設置後に、ロゴマークのシールとプレートの設置を行い、当該交付金活用事業であることをPR		
施工看板に掲示	実施中	みえ森と緑の県民税市町交付金活用のPR		
のぼり設置	実施中	みえ森と緑の県民税市町交付金活用のPR		
7. 写真及びその他資料				
別紙のとおり				
8. その他特記事項（受益者の反応等）				
平成26年度からの継続事業。平成26年度～令和3年度の実績26箇所。				

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	松阪市
------	--------------------	-----	-----

事業名	都市公園整備事業
-----	----------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
木製ベンチ設置		基	14.00	154,143	2,158,000	
PR標柱設置		基	1.00	40,000	40,000	
作業土工		式	1.00	86,000	86,000	
		補助対象事業費			2,284,000	
その他(コンクリート工)		式	1.00	283,400	283,400	
		全体事業費			2,567,400	

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
------	--------------------	-----	-----	---------	----

事業名	都市公園整備事業
-----	----------

7の(1). 写真



写真1
都市公園整備 木製ベンチ
広陽公園



写真2
都市公園整備 木製ベンチ
広陽2号公園



写真3
PR用標柱設置状況



写真4
施工中 啓発用のぼり設置状況



写真5
回覧及び配布した啓発用チラシ



写真6
回覧及び配布した啓発用チラシ

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
6	災害からライフラインを守る事前伐採事業					
事業費	12,198,977 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			3,000,000		9,198,977	

1. 事業の目的

松阪市管内において、平成30年に発生した台風21号及び24号時の倒木被害を起因とする、送配電線の断線が多発し、大規模な停電被害をもたらした。また、災害時のライフラインの寸断は、行政の防災機能停滞等、多大な影響を及ぼすことから、被害想定箇所の事前伐採を実施することにより、災害時の防災・減災対策を図り、加えて市民生活の安全安心に繋げる。

2. 事業実績概要

【事業内容】

送配電事業者が作成した被害想定箇所一覧をベースに、関係者連携のもと現地調査を行い、事業計画を立案し、段階的に事前伐採を実施する。

【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】

松阪市

【実施箇所及び箇所数】

事前伐採箇所：4 箇所

【事業量】

事前伐採：1,007本

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

事業実施により、ライフラインの寸断防止、停電の抑制が図られることから、市民生活の安全安心に繋がる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

優先度の高い箇所から計画的に実施している。

【新たな対策・視点及び改善点】

事前伐採により、停電のリスクが抑制されるとともに、地域と協働で事業を進めることにより、防災意識の向上が図られる。

年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
6	災害からライフラインを守る事前伐採事業					
事業費	12,198,977 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			3,000,000		9,198,977	
4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】						
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】						
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考		
委託事業	林業事業者	補助事業ではない				
【委託先及び補助対象者等の選定理由】						
専門的な技術を必要とするため。						
【主な経費内訳】						
(別紙のとおり)						
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】						
【受益者及び、期待する波及効果】						
受益者	受益戸数1,534戸、市道、国道					
期待する波及効果	地域と連携して事業を実施することにより、森林整備が推進されることに加え、防災意識の底上げにも繋がる。					
【公的関与の必要性】						
地域の懸案箇所整備が中心であり、官民協働の横断的な調整が必要であることから公的関与が不可欠である。						
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】						
実施後は森林所有者が適正な維持管理を担っているが、地元自治会等協力のもと、再度荒廃することの無いよう働きかける必要がある。						
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】						
【情報発信の内容】						
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）				
施工看板に掲示	実施前・中	みえ森と緑の県民税市町交付金活用のPR				
のぼり設置	実施中	みえ森と緑の県民税市町交付金活用のPR				
回覧板・掲示板	実施前	みえ森と緑の県民税市町交付金活用のPR				
7. 写真及びその他資料						
別紙のとおり						
8. その他特記事項（受益者の反応等）						

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	松阪市
------	-----------------	-----	-----

事業名	災害からライフラインを守る事前伐採事業
-----	---------------------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
予備調査		式	1.00	268,462	268,462	
事前伐採	1,3ha、1,007本	式	1.00	11,119,838	11,119,838	4箇所
立木補償	453本	式	1.00	810,677	810,677	
		事業費			12,198,977	

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	災害からライフラインを守る事前伐採事業
-----	---------------------

7の(1). 写真



写真1
事前伐採(着手前)松阪市飯高町乙栗子地内



写真2
事前伐採(完成)松阪市飯高町乙栗子地内



写真3
事前伐採(着手前)松阪市飯高町宮本地内



写真4
事前伐採(完成)松阪市飯高町宮本地内

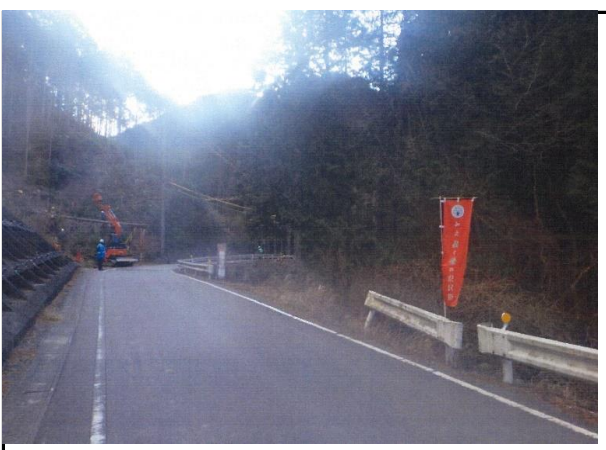


写真5
みえ森と緑の県民税のぼり設置によるPR状況



写真6
回覧した事業啓発用チラシ

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	新規
番号	事業名				
7	松浦武四郎記念館木育推進事業				
事業費	3,579,400 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			3,000,000		579,400

1. 事業の目的

松浦武四郎記念館の駐車場に木製の東屋を整備し、木を愛して全国から木材を集め、書斎を建てた武四郎の心に学ぶとともに木材と市民の関係を深める。

2. 事業実績概要

【事業内容】

松浦武四郎記念館の駐車場にある駐輪設備を撤去し、来館者が休憩できる東屋を建てる。
来館者には木を愛し、全国から木を集めた武四郎の心を伝えることに努める。

【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】

松阪市

【実施個所及び箇所数】

東屋 1 棟

【事業量】

東屋 1 棟

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

多くの市民が利用される当該施設において、市産材利用の東屋を建築することにより、市民が木材とふれあう機会が増え、木材の活用や森林づくりへの理解が深まる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

松浦武四郎管内においても、県民税事業PRチラシの配布、パネル展示により森林づくり、林業の啓発を行った。

【新たな対策・視点及び改善点】

松浦武四郎が木を愛して全国から木材を集めたエピソードに併せて、森林・林業のPRについても、幅広く来館者へ啓発を行う。

年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	新規
番号	事業名				
7	松浦武四郎記念館木育推進事業				
事業費	3,579,400 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			3,000,000		579,400
4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】					
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】					
	①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
	工事請負	建設業者	補助事業ではない		
【委託先及び補助対象者等の選定理由】					
競争入札により、専門的な技術を有する事業者を選定。これにより、公平性の担保と経費の削減にも繋がる。					
【主な経費内訳】					
(別紙のとおり)					
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】					
【受益者及び、期待する波及効果】					
	受益者	来館者数14,000人/年			
	期待する波及効果	来館者の家族や友人への波及効果も期待できる。			
【公的関与の必要性】					
市が管理者である施設であり、公的関与は必要である。					
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】					
維持管理は市が主体的に実施する。転用、目的外使用については、公共施設であるため想定されない。					
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】					
【情報発信の内容】					
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）			
ロゴマーク掲示 (シル・プレート)	実施後	東屋建築後に、プレートの設置を行い、当該交付金活用事業であることをPR			
施工看板に掲示	実施中	みえ森と緑の県民税市町交付金活用のPR			
のぼり設置	実施中	みえ森と緑の県民税市町交付金活用のPR			
7. 写真及びその他資料					
別紙のとおり					
8. その他特記事項（受益者の反応等）					

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	松阪市
------	--------------------	-----	-----

事業名	松浦武四郎記念館木育推進事業
-----	----------------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
木製東屋設置		棟	1.00	3,539,400	3,539,400	
PR標柱設置		式	1.00	40,000	40,000	
		事業費			3,579,400	

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	新規
------	--------------------	-----	-----	---------	----

事業名	松浦武四郎記念館木育推進事業
-----	----------------

7 の (1) . 写真



写真1
東屋整備 着手前
のぼりによる啓発状況



写真2
東屋整備 完成
のぼり、及び木製プレート設置によるPR状況



写真3

写真3

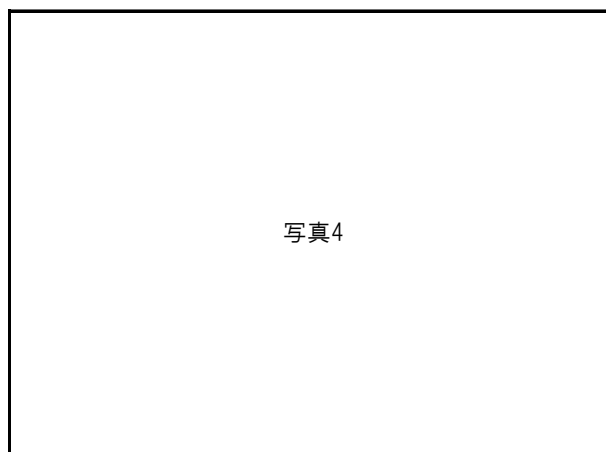


写真4

写真4



写真5

写真5



写真6

写真6

多気町

令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報 (平成30年度版三重県市町要覧による)

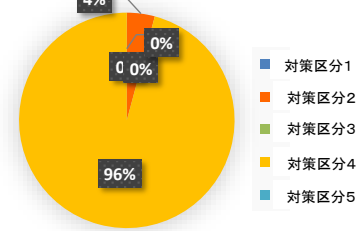
市町名	多気町	三重県
人口 (人)	14,345	1,782,190
年少人口割合 (%) * 1	12.8%	12.4%
森林面積 (ha)	5,915.33	372,352.55
民有林面積 (ha) * 2	5,915.33	348,833.49
森林率 (%)	57.0%	64.0%
都市公園面積 (㎡/人口) * 3	23.2	10.1

* 1 : 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2 : 国有林以外の森林 (個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。)

* 3 : 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠・加算枠) 事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額 (円) (当年度交付金額 + 基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	4	木とふれあう環境づくり事業	6,281,000	6,281,000				6,281,000		
2	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	1,188,000	275,000		275,000				
		基金積立	954,000	954,000						954,000
		計	8,423,000	7,510,000	0	275,000	0	6,281,000	0	954,000

3. 令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (連携枠) (防災枠) 事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充当額 (円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	10.94	3,110,800	3,110,800	
森林再生力強化対策事業	924	446,859	446,859	

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針
多気町は、三重県のほぼ中央部に位置し、森林面積は約57%を占めている。地域住民の生活に密着した里山から、林業生産活動が実施さるべき人工林等多様な森林構成になっている。しかしながら、森林所有者の高齢化にともない森林の維持管理が難しい状況であり、森林の荒廃が進行している。そのため県民税を利用し、地域住民に木に触れる機会を提供し、森林の役割について理解を促す必要がある。また、地域住民が安心・安全に生活が送れるようライフラインを守る事前伐採事業を実施していく。
事業実施により期待される効果
県産木材を利用した木製備品を小学校、保育園に導入・配置したことにより、木に対する関心がたかまるとともに、多くの地域住民が集まる公共野外施設 (勢山荘) に木製遊具を配置したことにより、多くの方に木の素晴らしさを実感してもらうことができる。危険木を実践に伐採することにより、より安全・安心した住民生活を送ることができる。
情報発信への取組
多くの地域住民の方に、木製備品の素晴らしさを理解してもらい、また危険木の伐採により安全・安心した生活が送れることができるということを広報誌等でアピールしていきたい。

第 1 1 号様式 (その 1) (参考資料)

令和3年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税 (千円)
1	① 意向調査の準備作業	726,000	726,000
2	③ 私有林整備	6,350,300	6,350,300
3	⑰ 基金積立 (森林整備等)	363,700	363,700
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
	合計	7,440,000	7,440,000

【記載要領】

ア. 事業カテゴリーの欄は下記の項目から該当するものを選択し記載するものとする。

事業カテゴリーの項目
① 意向調査の準備作業
② 意向調査
③ 私有林整備
④ 公有林整備(財産区有林含む)
⑤ 森林保護対策
⑥ 林道・林専道の整備等
⑦ その他(森林整備)
⑧ 担い手確保
⑨ 林業就業者の育成
⑩ 専門員の雇用
⑪ 新たな組織の設立
⑫ その他(人材育成等)
⑬ 木造公共建築物の整備等
⑭ 木質バイオマス利用推進
⑮ 森林・林業・木材普及活動等
⑯ その他(木材・普及啓発関係)
⑰ 基金積立(森林整備等)
⑱ 基金積立(人材育成等)
⑲ 基金積立(木材利用等)
⑳ 基金積立(執行残額等)

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

令和3年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり		市町名	多気町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
1	木とふれあう環境づくり事業					
事業費	6,281,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			6,281,000	0	0	

1. 事業の目的

木材は柔らかく温かみのある感触を有する。次世代を担う地域住民が日常的に利用する場所で、県産材について学びふれあう機会を提供する。

2. 事業実績概要

【事業内容】

次世代を担う地域住民に、野外公共施設 (勢山荘) に木製遊具、各小学校、各保育園に木製備品を設置する。

【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】

多気町

【実施個所及び箇所数】

野外公共施設 (勢山荘)、津田小学校、外城田小学校、勢和小学校、相可保育園、佐奈保育園

【事業量】

野外公共施設 (勢山荘) 木製遊具 1 台、津田小学校: 薬品戸棚 1 台、教材備用品棚 3 台 外城田小学校: 図書室用机 3 台、図書室用椅子 15 台 勢和小学校: 保健室書庫 1 台、保健室収納庫 2 台 相可保育園: 絵本棚 2 台 佐奈保育園: 絵本スタンド 1 台 園庭用ハウス 1 台

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

三重県産材の木材を利用することにより木材のもつ温かみ、素晴らしい特質を感じてもらうことで、木に関心を持ち、森林の役割が理解できる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

木製備品を納品する際、木製備品が完成する過程を説明し森林に関心を持ってもらう。また、木製遊具を設置する際に森林の役割を明記した看板を設置する。

【新たな対策・視点及び改善点】

導入した施設の利用者からは、木の特性をいかした木製製品に対する評判はよい。このことから、自然豊かな野外公共施設を利用することで、森林により関心を持ってもらうことができた。

令和3年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	多気町	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
1	木とふれあう環境づくり事業				
事業費	6,281,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			6,281,000	0	0
4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】					
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】					
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考	
物品購入	森林組合	補助事業ではない			
【委託先及び補助対象者等の選定理由】					
県産材木材の取引があり、各施設の要望に応じることができる加工製品化を行っている松阪飯南森林組合に委託した。					
【主な経費内訳】					
(別紙のとおり)					
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】					
【受益者及び、期待する波及効果】					
受益者	小学生（705人）保育園児（213人）及び教員、保育士等				
期待する波及効果	保護者にも同様に森林に対する理解が広がる				
【公的関与の必要性】					
導入した木製備品を森林教育活動が継続的に行われるように、小学校、保育園においては森林の役割学ぶ場を設ける。木製遊具については、保護者等に森林の役割を伝えることができる環境を整備する。					
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】					
木製遊具の管理：定期的に勢山荘が管理 各小学校木製備品：各小学校にて管理 各保育園：各保育園にて管理					
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】					
【情報発信の内容】					
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）			
広報誌掲載	実施後	町内全域			
7. 写真及びその他資料					
別紙のとおり					
8. その他特記事項（受益者の反応等）					

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	多気町
------	-------------------	-----	-----

事業名	木とふれあう環境づくり事業
-----	---------------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
津田小学校	木製薬品戸棚	台	1.00	407,466	407,466	
	木製教材備品用棚1	台	1.00	549,555	549,555	
	木製教材備品用棚2	台	1.00	549,555	549,555	
外城田小学校	木製図書室用机	式	1.00	470,152	470,152	3台
	木製図書室用椅子	式	1.00	623,735	623,735	15台
勢和小学校	木製保健室書庫	台	1.00	156,717	156,717	
	木製学校保健室収納庫1	台	1.00	229,852	229,852	
	木製学校保険収納庫2	台	1.00	176,568	176,568	
相可保育園	絵本棚	台	2.00	108,900	217,800	
	絵本スタンド	台	1.00	108,900	108,900	
	園庭用ハウス	台	1.00	1,052,700	1,052,700	
勢山荘	木製遊具	台	1.00	1,738,000	1,738,000	
合計					6,281,000	

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	多気町	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	木とふれあう環境づくり
-----	-------------

7の(1). 写真



写真1

木製薬品戸棚 (津田小学校)



写真2

木製教材備品用棚 (津田小学校)



写真3

木製図書室用机・椅子 (外城田小学校)



写真4

木製保健室書庫、木製保健室収納庫1・2 (勢和小学校)



写真5

絵本棚 (相可保育園)



写真6

園庭用ハウス (佐奈保育園)

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	多気町	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	木とふれあう環境づくり
-----	-------------

7 の (1) . 写真



写真1
絵本スタンド (佐奈保育園)



写真3

写真3



写真5

写真5



写真2
木製遊具 (勢山荘)



写真4

写真4



写真6

写真6

広報誌掲載案

みえ森と緑の県民税交付金対策事業の取り組みについて

「みえ森と緑の県民税市町交付金事業」とは、森林づくりを県民みんなの力で担っていく取り組みで、各市町が地域の実情に沿った森林整備等を行います。

①流域防災機能強化対策事業

山腹崩壊の発生源となる斜面上部、土壌侵食のおそれがある溪流沿いの森林において、根系や下層植生の発達を促す森林整備を実施し、流域の防災機能の強化を図りました。（波多瀬、片野）



②森林再生力強化対策事業

森林が有する土砂流出防止等の公益的機能の発揮を図るため、新植地等への鳥獣害防止施設等の整備を行いました。（車川）



③木と触れ合う環境づくり事業

保育園・小学校に県産材を使った備品を導入しました。



問い合わせ先 農林商工課 ☎(38)1117

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

令和3年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	多気町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
2	災害からライフラインを守る事前伐採事業					
事業費	1,188,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			275,000	0	913,000	

1. 事業の目的

町、県及びライフライン事業者と連携し、大規模な停電を未然に防止し、地域住民の安全・安心な暮らしを守るため、台風等により倒木となり、電線などを寸断する恐れのある樹木をあらかじめ伐採する。

2. 事業実績概要

【事業内容】

台風等の倒木被害によりライフラインを寸断するおそれのある危険木の事前伐採を行う。

【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】

多気町

【実施個所及び箇所数】

多気町波多瀬2451-1

【事業量】

間伐 0.0532ha(スギ69本)

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

台風等による倒木被害によりライフラインを寸断するおそれがなくなり、地域住民の生活環境の向上になる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

危険木を事前に伐採することで、暮らしに身近な森林の整備が進み、安全・安心な生活環境の確保につながる。

【新たな対策・視点及び改善点】

地域住民に対して実施した箇所を周知し、事業の意義を伝えることで、事業の拡大につなげる。

令和3年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	多気町	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
2	災害からライフラインを守る事前伐採事業				
事業費	1,188,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			275,000	0	913,000
4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】					
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】					
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考	
その他	森林組合	補助事業ではない			
【委託先及び補助対象者等の選定理由】					
<p>施業場所が傾斜地や足場の悪い場所もあり、作業上の経験、知識を特に必要になるため、町内の森林整備で実績のある宮川森林組合に委託した。</p>					
【主な経費内訳】					
(別紙のとおり)					
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】					
【受益者及び、期待する波及効果】					
受益者	地域住民（波多瀬地区：514人、片野地区：811人）				
期待する波及効果	地域住民のみならず町内全体に森林整備の必要性への理解が広がる				
【公的関与の必要性】					
生活に欠かすことができないライフラインを守る取組であり、公的関与の必要性が高い。					
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】					
事前伐採後、森林が適切に管理してもらうように森林所有者に説明する。					
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】					
【情報発信の内容】					
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）			
広報誌掲載	実施後	町内全域			
7. 写真及びその他資料					
別紙のとおり					
8. その他特記事項（受益者の反応等）					

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	多気町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	災害からライフラインを守る事前伐採事業
-----	---------------------

7 の (1) . 写真



写真1

施工前



写真2

施工後



写真3

施工前



写真4

施工後



写真5

写真5

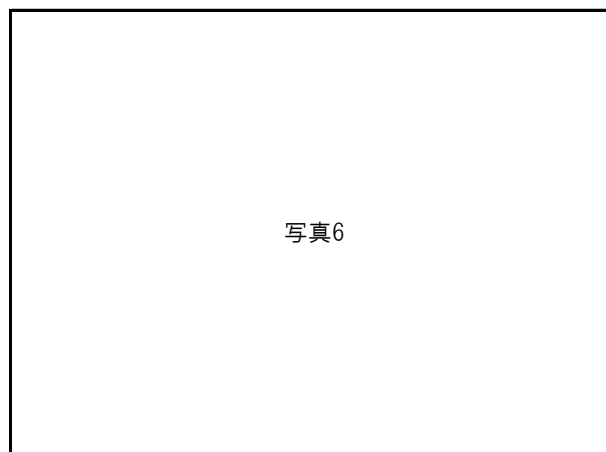


写真6

写真6

明和町

令和 3 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報 (平成30年度版三重県市町要覧による)

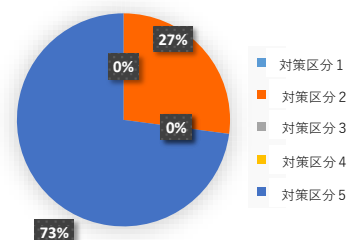
市町名	明和町	三重県
人口 (人)	22,951	1,782,190
年少人口割合 (%) * 1	12.9%	12.4%
森林面積 (ha)	310.97	372,352.55
民有林面積 (ha) * 2	310.97	348,833.49
森林率 (%)	8.0%	64.0%
都市公園面積 (㎡/人口) * 3	11.4	10.1

* 1 : 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2 : 国有林以外の森林 (個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。)

* 3 : 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和3年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠・加算枠) 事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額 (円) (当年度交付金額 + 基金活用額)						
				小計	対策区分 1	対策区分 2	対策区分 3	対策区分 4	対策区分 5	基金積立
1	2	松林整備事業	1,991,000	1,991,000		1,991,000				
2	5	木質構造物整備事業	11,553,300	5,354,000					5,354,000	
				0						
				0						
				0						
				0						
				0						
				0						
計			13,544,300	7,345,000	0	1,991,000	0	0	5,354,000	0

3. 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (連携枠) (防災枠) 事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充当額 (円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針
<p>明和町は三重県の中南部に位置し、総面積41.04平方キロメートルで、民有林面積は310.97ha、保安林は33.87haあります。そのうち、スギ、ヒノキの面積は33.6haであり、その占める割合は10.8%であり県平均よりかなり低い値です。しかし、森林の持つ公益的機能の重要度はますます高まってきていることから、本町においては次に挙げる事業を行う。</p> <p>「災害に強い森林づくり」の推進として、沿岸沿いの防災林の役目を果たす松林の継続的な保護に取り組み、周辺集落や人家への被害を最小限とし、地域住民の安心と安全を確保する。また、「県民全体で森林を支える社会づくり」として地域住民や小学生を対象に三重県産材の施設や備品に触れていただくことで、森林の大切さや自然環境について考える場を提供する。</p>
事業実施により期待される効果
<ul style="list-style-type: none"> ・ 松林整備により景観が保持される。 ・ 地域住民や観光客の憩いの場としての活用が期待され、整備により安全も確保される。 ・ 公共施設に県産材を活用した木質構造物を整備することで、三重県産木材の活用促進をはかることができる。 ・ 整備後に施設を活用した木育を実施することで、森林や緑の大切さ、県民税を活用した事業への理解を深める。
情報発信への取組
<ul style="list-style-type: none"> ・ 町ホームページやポスター等を通して事業内容や森林保全に係る事項、効果等に関する周知を行う。 ・ 児童等の散歩 (遠足) のコースとし保育士・先生等から児童に木や森の話をしてもらう場所とする。

第 11 号様式 (その 1) (参考資料)

年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税 (千円)
1	⑰ 基金積立 (森林整備等)	2,505	2,505
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
	合計	2,505	2,505

【記載要領】

ア. 事業カテゴリーの欄は下記の項目から該当するものを選択し記載するものとする。

事業カテゴリーの項目
① 意向調査の準備作業
② 意向調査
③ 私有林整備
④ 公有林整備 (財産区有林含む)
⑤ 森林保護対策
⑥ 林道・林専道の整備等
⑦ その他 (森林整備)
⑧ 担い手確保
⑨ 林業就業者の育成
⑩ 専門員の雇用
⑪ 新たな組織の設立
⑫ その他 (人材育成等)
⑬ 木造公共建築物の整備等
⑭ 木質バイオマス利用推進
⑮ 森林・林業・木材普及活動等
⑯ その他 (木材・普及啓発関係)
⑰ 基金積立 (森林整備等)
⑱ 基金積立 (人材育成等)
⑲ 基金積立 (木材利用等)
⑳ 基金積立 (執行残額等)

年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり		市町名	明和町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
1	松林整備事業					
事業費	1,991,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			1,991,000			

1. 事業の目的

・町内の沿岸部 (川尻～大淀地内) にかけて広がる山林・防風保安林は近年、病害虫 (松くい虫) による松林の立ち枯れが顕在化している。当該地域には毎年多くの観光客が訪れるキャンプ場もふくまれている。交付金の活用によりこの地域の松林整備を実施することで、景観保持や安全の確保を図り地域住民や観光客の憩いの場を提供する。

2. 事業実績概要

【事業内容】

当該地域に植生している松林の保全をはかる。

【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】

明和町

【実施箇所及び箇所数】

明和町大淀 地内 (2箇所)

明和町川尻 地内 (1箇所)

【事業量】

松林整備 地上散布 面積: 9.7ha(大淀地内2.7ha 川尻地内7.0ha)、伐倒: 53本(大淀地内16本 川尻地内37本)

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

- ・松林整備により景観が保持される。
- ・地域住民や観光客の憩いの場としての活用が期待され、整備により安全も確保される。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

- ・町ホームページやポスター等を通して事業内容や森林保全に係る事項、効果等に関する周知を行う。

【新たな対策・視点及び改善点】

事業実施時期の適正判断。

伐倒に関しては、松枯れによって伐倒した松が増えていくと、保安林としての役目がなくなってしまうので、それを補うため植林についても進めていく。

年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり	市町名	明和町	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
1	松林整備事業				
事業費	1,991,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,991,000		
4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】					
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】					
	①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
	委託事業	森林組合	補助事業ではない		
【委託先及び補助対象者等の選定理由】					
高度な技術と専門知識を有したうえで、適切に実施していただけるから。					
【主な経費内訳】 (別紙のとおり)					
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】					
【受益者及び、期待する波及効果】					
	受益者	施設利用者、周辺住民、周辺児童等(約35,000人)			
	期待する波及効果	豊かな景観を形成することで施設利用者の増加が期待できる			
【公的関与の必要性】					
保安林であり、専門的知識を有する機関との連携を取りながら整備していく必要がある。					
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】					
保安林や地区保全森林であるため、適切に整備されており、転用の恐れはない。					
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】					
【情報発信の内容】					
	手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）		
	HP掲載	実施後			
	ポスター掲示	実施後			
7. 写真及びその他資料					
別紙のとおり					
8. その他特記事項（受益者の反応等）					

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり	市町名	明和町
------	----------------	-----	-----

事業名	松林整備事業
-----	--------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
地上散布	薬剤散布	ha	9.70	968,000	968,000	税込
伐倒	伐倒、搬出、運搬等	本	53.00	1,023,000	1,023,000	税込
				合計	1,991,000	

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	明和町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	松林整備事業
-----	--------

7 の (1) . 写真



写真1

薬剤散布(明和町大淀地内)



写真2

薬剤散布(明和町川尻地区)



写真3

薬剤散布(明和町大淀地内)



写真4

伐採(明和町大淀地区内)



写真5

伐倒前(明和町大淀地区内)



写真6

伐倒後(明和町川尻地区内)

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	明和町	新規・継続の別	新規
番号	事業名				
2	木質構造物整備事業				
事業費	11,553,300 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			5,354,000	5,941,400	257,900

1. 事業の目的
<ul style="list-style-type: none"> ・ 町内公共設備に三重県産材を活用した木質構造物を整備することで、三重県産材の利用促進をはかる。 ・ 整備した公共施設、木質構造物を用いて木育等を実施。町民の森林や環境問題への意識向上と、県民税の周知、理解を深める。
2. 事業実績概要
<p>【事業内容】</p> <p>町内公共施設に三重県産材を活用した木質構造物を整備する。</p> <p>【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】</p> <p>明和町</p> <p>【実施個所及び箇所数】</p> <p>公共施設 (きららの森) 1 箇所</p> <p>【事業量】</p> <p>公共施設木質構造物2棟 木製階段 2 個</p>
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】
<p>【事業実施により期待される効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共施設に県産材を活用した木質構造物を整備することで、三重県産木材の活用促進をはかることができる。 ・ 整備後に施設を活用した木育を実施することで、森林や緑の大切さ、県民税を活用した事業への理解を深める。 <p>【効果を発揮させるための工夫・取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童等の散歩 (遠足) のコースとし保育士・先生等から児童に木や森の話をしてもらう場所とする。 <p>【新たな対策・視点及び改善点】</p> <p>地域の幅広い多くの方に県産材の良さを学んでいただく施設として、新たに整備する。</p>

年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	明和町	新規・継続の別	新規
番号	事業名				
2	木質構造物整備事業				
事業費	11,553,300 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			5,354,000	5,941,400	257,900

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
物品購入	建設業者	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

入札の結果により選定

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	公共施設利用者、周辺住民、周辺児童(約9,500人)
期待する波及効果	利用者の休憩スペースが増え、施設利用者の増加が期待できる。

【公的関与の必要性】

地域の憩いの場であり、町外問わず遠足等で利用されているから。

町が管理する公共施設であるため。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

町が管理しており、転用の恐れはない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施後	
ポスター掲示	実施後	
のぼり設置	実施中	
ロゴマーク掲示	実施後	

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	明和町	新規・継続の別	新規
------	--------------------	-----	-----	---------	----

事業名	木質構造物整備事業
-----	-----------

7の(1). 写真



写真1

木製階段(きららの森)



写真2

木質構造物(きららの森)



写真3

木造構造物(きららの森)



写真4

看板(きららの森)

写真5

写真6

写真5

写真6

大台町

令和 3 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報 (平成30年度版三重県市町要覧による)

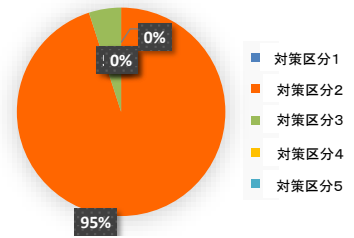
市町名	大台町	三重県
人口 (人)	8,975	1,782,190
年少人口割合 (%) * 1	9.8%	12.4%
森林面積 (ha)	33,760.45	372,352.55
民有林面積 (ha) * 2	27,941.63	348,833.49
森林率 (%)	93.0%	64.0%
都市公園面積 (㎡/人口) * 3		10.1

* 1 : 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2 : 国有林以外の森林 (個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。)

* 3 : 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和 3 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠・加算枠) 事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額 (円) (当年度交付金額 + 基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	3	森林環境教育事業	675,400	675,400			675,400			
2	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	14,159,707	3,541,707		3,541,707				
3	2	集落周辺等危険木伐採事業	12,281,500	9,315,893		9,315,893				
				0						
				0						
				0						
				0						
				0						
計			27,116,607	13,533,000	0	12,857,600	675,400	0	0	0

3. 令和 3 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (連携枠) (防災枠) 事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充当額 (円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	116.82ha	36,034,900	35,874,000	災害緩衝林事業の周囲の間伐
森林再生力強化対策事業	3,961m	3,091,100	3,091,000	獣害防護施設設置に対する補助
災害からライフラインを守る事前伐採事業	0.93ha	14,159,707	3,539,000	ライフラインを寸断する恐れがある樹木の事前伐採

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針
大台町の総面積は362.86km ² であり、その90%以上が山林を占め、県内の町では、最大級の規模を有しています。その大部分が伐採適齢期を迎える中、木材価格の低迷や林業の担い手不足、森林への意識低下等により施業放置される森林が増加しています。そのため、みえ森と緑の県民税を活用し、「災害に強い森林づくり」の防災減災対策の事業として、道路沿いに設置されたライフライン (電線) を風倒被害から守るための事前伐採、集落周辺や人家等への風倒被害を未然に防ぎ、住民の安全・安心を確保するため、危険木の伐採や人工林を帯状に間伐する事業を実施します。また、「県民全体で森林を支える社会づくり」の事業とし、森林利用について学ぶ機会を提供し、今後の森林林業の担い手となるきっかけとして、地元の高校生を対象に森林や林産物などを学習する場を提供します。
事業実施により期待される効果
災害からライフラインを守る事前伐採事業については、三重県、電力会社との共同の取組として実施。また、集落周辺等危険木伐採事業については、地元区長からの要望等の聞き取りにより実施するなど、各関係機関と連携を図ることにより、地域住民の安全・安心の確保につなげることができる。森林環境教育については、農林業を専攻する高校生を対象として実施したことにより、大台町の森林や林産物への関心や理解を深めることができる。
情報発信への取組
施工中ののぼり旗等の設置や町広報誌、町HPによる情報発信を実施した。

第 11 号様式 (その 1) (参考資料)

年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税 (千円)
1	② 意向調査	6,201	6,201
2	① 意向調査の準備作業	10,169	10,169
3	⑮ 森林・林業・木材普及活動等	350	350
4	⑮ 森林・林業・木材普及活動等	488	488
5	⑫ その他 (人材育成等)	2,769	2,769
6	⑨ 林業就業者の育成	6,561	6,561
7	⑩ 専門員の雇用	815	815
8	⑰ 基金積立 (森林整備等)	38,668	38,668
9			
10			
	合計	66,021	66,021

【記載要領】

ア. 事業カテゴリーの欄は下記の項目から該当するものを選択し記載するものとする。

事業カテゴリーの項目
① 意向調査の準備作業
② 意向調査
③ 私有林整備
④ 公有林整備 (財産区有林含む)
⑤ 森林保護対策
⑥ 林道・林専道の整備等
⑦ その他 (森林整備)
⑧ 担い手確保
⑨ 林業就業者の育成
⑩ 専門員の雇用
⑪ 新たな組織の設立
⑫ その他 (人材育成等)
⑬ 木造公共建築物の整備等
⑭ 木質バイオマス利用推進
⑮ 森林・林業・木材普及活動等
⑯ その他 (木材・普及啓発関係)
⑰ 基金積立 (森林整備等)
⑱ 基金積立 (人材育成等)
⑲ 基金積立 (木材利用等)
⑳ 基金積立 (執行残額等)

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	大台町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
1	森林環境教育事業					
事業費	675,400 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			675,400			

1. 事業の目的
森林空間の利活用から、森林とふれあう機会を創設し、森林利用について学ぶ機会を提供するため、地元の昴学園高校の生徒と共同し、キノコ栽培を通じた学びの機会を提供する。
2. 事業実績概要
<p>【事業内容】 植付から収穫までの栽培体験の実施と、経過観察、林地毎の収量等の比較を行い報告書として纏める。収穫したキノコは道の駅での販売体験や奥伊勢フォレストピアでの利用、森林空間を利用した収穫体験イベントなど利活用についても昴学園生徒と共に検討を図る。</p> <p>【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】 大台町</p> <p>【実施箇所及び箇所数】 実施箇所：2 箇所 (藪、栗谷地内)</p> <p>【事業量】 原木：160本、菌床：30個、駒菌：5,000個 現地学習：1 回 (令和 3 年 1 1 月 1 日実施)、内容：原木の本伏せ作業、獣害防護柵の設置</p>
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】
<p>【事業実施により期待される効果】 参加した高校生は主に農林業を専攻している生徒であることから、本事業により森林林業や林産物に対する理解をより深め、森林への関心が高まった。</p> <p>【効果を発揮させるための工夫・取組】 現地学習を取り入れることにより、森林林業や林産物への関心を持ってもらえるように促進した。</p> <p>【新たな対策・視点及び改善点】 コロナ禍での事業実施のため、今後は班分けなど人数制限を行うなど、事業の進め方も再度検討して実施していく。</p>

令和3年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	大台町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
1	森林環境教育事業					
事業費	675,400 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			675,400			
4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】						
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】						
	①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考	
	委託事業	森林組合	補助事業ではない			
【委託先及び補助対象者等の選定理由】						
森林環境教育の実績があり、キノコ栽培に関して技術、知識、経験を有する事業体を選定した。						
【主な経費内訳】						
(別紙のとおり)						
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】						
【受益者及び、期待する波及効果】						
	受益者	昴学園高校の生徒（10名）及び教職員（3名）				
	期待する波及効果	販売体験等を通じて買物客への波及を期待				
【公的関与の必要性】						
大台町は町内唯一の高校である昴学園高校を支援していく方針であり、農林業を専攻する生徒への学習の場を提供することは重要な対策であるため、公的機関として関与することは必要である。						
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】						
昴学園高校が適切に管理しており、転用の恐れはない。						
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】						
【情報発信の内容】						
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）				
のぼり設置	実施中	現地学習時にのぼり旗を設置（第11号様式（その2）参照）				
HP掲載	実施後	町HPに掲載				
広報誌掲載	今後	町広報誌に掲載				
7. 写真及びその他資料						
別紙のとおり						
8. その他特記事項（受益者の反応等）						

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	大台町
------	-------------	-----	-----

事業名	森林環境教育事業
-----	----------

4. 効率性：主な経費内訳 (精算設計額)

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
種菌	マイタケ菌床：30個、シイタケ駒菌： 1,400個、ナメコ駒菌：800個、ヒラタ ケ駒菌：400個、アラゲキクラゲ駒菌： 1,200個、クリタケ駒菌：1,200個	式	1.00	33,345	33,345	
資材	遮光ネット (2m×20m)	枚	1.00	3,990	3,990	
原木準備		人	5.00	19,600	98,000	
現地作業		人	18.00	19,600	352,800	
諸経費		式	1.00	145,865	145,865	
直接工事費		式	1.00	634,000	634,000	
消費税		式	1.00	63,400	63,400	
			合計		697,400	

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	大台町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境教育事業
-----	----------

7の(1). 写真



写真1
作業の説明状況



写真2
本伏せ作業



写真3
菌床ブロックの埋め換え作業



写真4



写真5



写真6

21世紀心のバリアフリーを ～子どもの人権110番～

おおだいちょうやくぼちょうみんふくしか
大台町役場町民福祉課

「いじめ」や体罰、不登校や親による虐待といった、子どもをめぐる人権問題は周囲の目につきにくいところで発生していることが多く、また被害者である子ども自身も、その被害を外部に訴えるだけの力が未完成的であったり、身近に適切に相談できる大人がいなかったりする場合が少なくありません。「子どもの人権110番」は、このような子どもの発する信号をいち早くキャッチし、その解決に導くための相談を受け付ける専用相談電話であり、子どもだけでなく、大人もご利用可能です。電話は、最寄りの法務局・地方法務局につながり、相談は、法務局職員または人権擁護委員がお受けします。相談は無料。秘密は厳守します。

【担当】：大台町役場町民福祉課

～子どもの人権110番～

0120-007-110 (全国共通フリーダイヤル)

受付時間：平日 午前8時30分から午後5時15分まで

「みえ森と緑の県民税を活用した事業の取り組みについて」

みえ森と緑の県民税を活用して、令和3年度に以下の事業を実施しました。

「災害からライフラインを守る事前伐採事業」

台風などの風倒被害により電線が寸断されることを未然に防止するため、三重県、中部電力パワーグリッド株式会社、大台町の3社で協定を締結し、岩井地内で電線沿いの森林の伐採を行いました。

災害からライフラインを守る事前伐採事業



「集落周辺等危険木伐採事業」

集落周辺や人家裏等の森林の公益的機能を高め、災害に強い森林づくりを行うため、滝谷、大井、神滝、小滝、本田木屋、弥起井地内で間伐と危険木の伐採を行いました。

森林環境教育事業



「森林環境教育事業」

昴学園高校の生徒（環境技術系列）が森林環境教育事業の一環として、森林利用について学習するため、宮川森林組合の指導のもと、町有林内でキノコ栽培に取り組みました。

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	大台町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
2	災害からライフラインを守る事前伐採事業					
事業費	14,159,707 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			3,541,707		10,618,000	

1. 事業の目的
近年の台風倒木被害による停電の長期化といった問題を受け、ライフラインの保全が喫緊の課題となっている。これまでも中部電力パワーグリッド(株)が事前伐採に向け取組は行ってきたが、民間企業単独では地元調整等が課題となり、対策が進まない状況にある。防災・減災対策としての森づくりを、三重県、電力会社、町の三者で連携し実施する。
2. 事業実績概要
<p>【事業内容】 台風などの倒木被害によりライフラインを寸断する恐れのある危険木の事前伐採を行う。</p> <p>【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】 大台町</p> <p>【実施箇所及び箇所数】 伐採調査：2箇所 (1号箇所：桧原地内) (2号箇所：桧原地内) 伐採施工：2箇所 (1号箇所：岩井地内) (2号箇所：岩井地内)</p> <p>【事業量】 伐採調査 (1号箇所：A=0.14ha、N=246本) (2号箇所：A=0.41ha、N=444本) 伐採施工 (1号箇所：A=0.18ha、N=290本) (2号箇所：A=0.2ha、N=318本)</p>
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】
<p>【事業実施により期待される効果】 台風などの倒木による停電や交通障害等による被害への懸念が解消された。</p> <p>【効果を発揮させるための工夫・取組】 地域住民に対して実施状況を周知することで、取組の有効性を伝え、事業を拡げる。</p> <p>【新たな対策・視点及び改善点】 順調に進んでいる。</p>

令和3年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	大台町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
2	災害からライフラインを守る事前伐採事業					
事業費	14,159,707 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			3,541,707		10,618,000	

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】				
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】				
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	林業事業体	補助事業ではない		
【委託先及び補助対象者等の選定理由】				
道路沿いの森林伐採は特殊伐採であり、実績のある認定林業事業体による請負を選定した。				
【主な経費内訳】 (別紙のとおり)				
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】				
【受益者及び、期待する波及効果】				
受益者	大杉地区の世帯数（105世帯）、人口（187人）（R4.3末時点）			
期待する波及効果	町民に対して森林整備の必要性の理解が広がる			
【公的関与の必要性】				
事業実施箇所は、幹線道路の電線沿いの森林であり、電力会社等による事前伐採の取組は行われてきたが、伐採の法的制限や地元調整等が課題となる。風倒被害による停電や交通障害を未然に防ぐため、防災・減災の取組として公的機関の関与は必要である。				
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】				
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】				
【情報発信の内容】				
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）		
施工看板に掲示	実施中	施工時に看板にて表記（第11号様式（その2）参照）		
のぼり設置	実施中	施工時にのぼり旗を設置（第11号様式（その2）参照）		
HP掲載	実施後	町HPにて掲載		
広報誌掲載	今後	町広報誌にて掲載		
7. 写真及びその他資料				
別紙のとおり				
8. その他特記事項（受益者の反応等）				

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	大台町
------	-----------------	-----	-----

事業名	災害からライフラインを守る事前伐採事業
-----	---------------------

4. 効率性：主な経費内訳（精算額）

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
伐採調査	1, 2号箇所	本	690.00	-	158,400	A=0.55ha、N=690本
立木補償	1号箇所	本	290.00	-	168,528	N=290本
	2号箇所	本	318.00	-	742,779	N=318本
伐採施工	1号箇所	本	290.00	-	7,260,000	A=0.18ha、N=290本
	2号箇所	本	318.00	-	5,830,000	A=0.2ha、N=318本
			合計		14,159,707	

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	大台町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	災害からライフラインを守る事前伐採事業
-----	---------------------

7 の (1) . 写真



写真1

伐採施工（2号箇所）実施前



写真2

伐採施工（2号箇所）施行中



写真3

伐採施工（2号箇所）完成

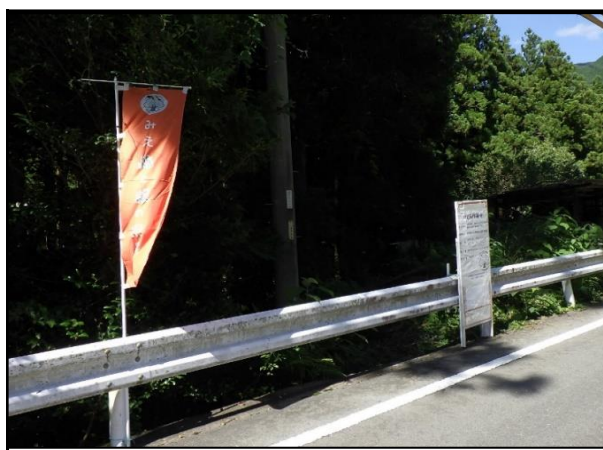


写真4

伐採施工（2号箇所）のぼり旗設置



写真5

写真5



写真6

写真6

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	大台町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
3	集落周辺等危険木伐採事業					
事業費	12,281,500 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			9,315,893		2,965,607	

1. 事業の目的
<p>集落周辺や人家裏等に位置する森林の公益的機能を高め、災害に強い森林づくりを行うため危険木の伐採を実施し、地域住民の安全・安心を確保する。</p> <p>人家裏等に位置する森林は、家屋等に近いなどの理由から伐採経費が高額となる場合が多いため、認定林業事業者等に森林整備が進んでいない箇所が多い。近年では各地で起こる台風被害等もあり、当町でも里山には人工林が多いため被害が懸念されることから、大台町が事業主体となり実施する。</p>
2. 事業実績概要
<p>【事業内容】 間伐、危険木伐採の森林整備</p> <p>【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】 大台町</p> <p>【実施箇所及び箇所数】 森林調査：4 地区 (上真手、上楠、粟生、高奈) 森林整備：6 地区 (滝谷、大井、神滝、小滝、本田木屋、弥紀井)</p> <p>【事業量】 森林調査：A=7.45ha 森林整備：間伐A=4.4ha、危険木伐採N=657本</p>
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】
<p>【事業実施により期待される効果】 集落周辺等の間伐、危険木伐採を実施したことで、地域住民の安全・安心が確保された。</p> <p>【効果を発揮させるための工夫・取組】 地域住民に対して実施状況を周知することで、取組の有効性を伝え、事業を拡げる。</p> <p>【新たな対策・視点及び改善点】 事業の趣旨について、十分説明を行い、森林所有者が今後の適切な森林管理を行っていくように指導していく。</p>

令和3年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	大台町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
3	集落周辺等危険木伐採事業					
事業費	12,281,500 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			9,315,893		2,965,607	

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	林業事業体	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

森林調査業務に精通しており、特殊伐採技術を有している認定林業事業体から選定した。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	大台町の世帯数 (4,050世帯) 人口 (8,654人) (R4.3末時点)
期待する波及効果	町民に対して森林整備の必要性の理解が広がる

【公的関与の必要性】

事業実施箇所は人家裏等であり、台風等による人家への倒木被害を未然に防ぐ、防災対策の取組として町が主体となり実施する必要がある。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

事業の趣旨について、十分説明を行い、森林所有者が今後の適切な森林管理を行っていくように指導していく。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施後	町HPにて掲載
広報誌掲載	今後	町広報誌にて掲載

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	大台町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	集落周辺等危険木伐採事業
-----	--------------

7の(1). 写真



写真1

間伐作業実施後



写真2

間伐作業状況



写真3

危険木伐採施工前



写真4

危険木伐採施工後



写真5

写真5



写真6

写真6

伊勢市

令和 3 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報 (平成30年度版三重県市町要覧による)

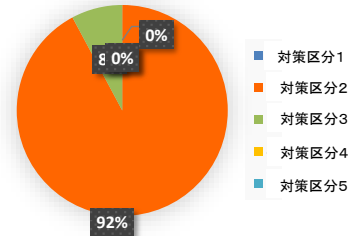
市町名	伊勢市	三重県
人口 (人)	122,580	1,782,190
年少人口割合 (%) * 1	11.4%	12.4%
森林面積 (ha)	10,956.43	372,352.55
民有林面積 (ha) * 2	10,956.43	348,833.49
森林率 (%)	53.0%	64.0%
都市公園面積 (㎡/人口) * 3	9.2	10.1

* 1 : 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2 : 国有林以外の森林 (個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。)

* 3 : 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和 3 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠・加算枠) 事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額 (円) (当年度交付金額 + 基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	森林整備事業	7,265,500	7,265,500		7,265,500				
2	3	三重とこわか国体おもてなし事業	616,000	616,000			616,000			
3		みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立事業	7,268,500	7,268,500						7,268,500
				0						
				0						
				0						
				0						
				0						
計			15,150,000	15,150,000	0	7,265,500	616,000	0	0	7,268,500

3. 令和 3 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (連携枠) (防災枠) 事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充当額 (円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針
<p>伊勢市は伊勢平野の南部に位置し、伊勢志摩国立公園の玄関口にもあたる都市あり、自然風景にも恵まれています。</p> <p>本市の森林率は約53%で、総面積のおよそ半数を占めているが、近年の木材価格の低迷による採算性の低下、林業従事者の減少や後継者不足、所有者の高齢化などにより、適正な施策が行われていない森林が増加している。しかし、地球温暖化防止対策として、森林に対する市民の意識・価値観が多様化し林業生産活動のみならず、森林の有する公益的機能が求められていることから、健全で活力のある森林資源の造成を行うことが重要な課題となっている。</p> <p>このことを踏まえ、みえ森と緑の県民税市町交付金を活用し、海岸林の保全、公共施設等への県産材利用を促進していき、多くの市民が恩恵を受けられる環境を目指します。また、森や緑の大切さを学ぶ機会を設け、県民全体で森林を支える社会づくりを推進していきます。</p>
事業実施により期待される効果
<p>①病害虫被害を最小限にとどめることにより、防風林の役割を担っている海岸林の景観保全及び倒木による住民への被害防止を図る。</p> <p>②県産材を使用することで、森林資源の活用と木に触れる機会を作り出す。</p>
情報発信への取組
<p>当事業全般については市HPにおいて紹介している。また事業ごとに、以下の方法で実施。</p> <p>①施行前に地元自治会を通じて案内チラシを回覧することで、地元への周知を図っている。また、施行期間中は現地にはのぼり旗の設置、訪れた人が目に付く場所に県民税のPR看板を設置して情報発信に努めている。</p> <p>②楯には県民税ロゴの焼印を押すことで、県民税を用いて製作したものであることを明示した。</p>

第 1 1 号様式 (その 1) (参考資料)

令和 3 年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税 (千円)
1	② 意向調査	6,831	6,831
2	① 意向調査の準備作業	3,440	3,440
3	⑬ 木造公共建築物の整備等	6,350	5,763
4	⑰ 基金積立 (森林整備等)	9,245	9,245
5			
6			
7			
8			
9			
10			
	合計	25,866	25,279

【記載要領】

ア. 事業カテゴリーの欄は下記の項目から該当するものを選択し記載するものとする。

事業カテゴリーの項目
① 意向調査の準備作業
② 意向調査
③ 私有林整備
④ 公有林整備 (財産区有林含む)
⑤ 森林保護対策
⑥ 林道・林専道の整備等
⑦ その他 (森林整備)
⑧ 担い手確保
⑨ 林業就業者の育成
⑩ 専門員の雇用
⑪ 新たな組織の設立
⑫ その他 (人材育成等)
⑬ 木造公共建築物の整備等
⑭ 木質バイオマス利用推進
⑮ 森林・林業・木材普及活動等
⑯ その他 (木材・普及啓発関係)
⑰ 基金積立 (森林整備等)
⑱ 基金積立 (人材育成等)
⑲ 基金積立 (木材利用等)
⑳ 基金積立 (執行残額等)

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	伊勢市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
1	森林整備事業					
事業費	7,265,500 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			7,265,500	0	0	

1. 事業の目的	
<p>伊勢市の沿岸部にある防風林は、近年の病虫害被害により枯松が激増し、保安林としての機能が低下している。このまま放置すると倒木被害の心配もあることから、当該交付金を活用して病虫害被害を未然に防止し、地域住民や観光客の安全を図る。</p> <p>また、以前新たに植樹した松の苗木が育ち、密集状態となっている二見町今一色の防風林の間伐を実施し、適正な管理を図る。</p>	
2. 事業実績概要	
<p>【事業内容】</p> <p>沿岸部に植生した松の病虫害被害を防止するため、地上散布、樹幹注入、伐倒破碎を行う。 また、密集している防風林の間伐を行う。</p> <p>【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】</p> <p>伊勢市</p> <p>【実施個所及び箇所数】</p> <p>7箇所 (二見町茶屋、二見町荘、二見町西、二見町今一色、村松町、有滝町、東大淀町)</p> <p>【事業量】</p> <p>地上散布 6.1ha、 樹幹注入 355本、 伐倒破碎 17m³、 間伐 383本</p>	
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】	
<p>【事業実施により期待される効果】</p> <p>観光名所である二見海岸林及び防風林の役割を担っている海岸林の景観保全及び倒木による地元住民、観光客への被害防止。</p> <p>【効果を発揮させるための工夫・取組】</p> <p>地上散布、樹幹注入、伐倒破碎と一連で施工することにより、病虫害被害を最小限に留めるよう工夫した。</p> <p>【新たな対策・視点及び改善点】</p> <p>密集状態となっている部分は間伐を実施し、防風林の積極的な機能維持を図った。</p>	

年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	伊勢市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
1	森林整備事業					
事業費	7,265,500 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			7,265,500	0	0	
4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】						
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】						
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考		
委託事業	造園業者	補助事業ではない				
【委託先及び補助対象者等の選定理由】						
専門的な知識と資格が必要なため。						
【主な経費内訳】						
(別紙のとおり)						
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】						
【受益者及び、期待する波及効果】						
受益者	付近住民：3,417世帯 7,842人 (R4.3) 観光客：1,224,670人(R3年度)					
期待する波及効果	観光客数の低下防止、倒木被害の防止					
【公的関与の必要性】						
地域住民の安心・安全な暮らしを守るために必要である。						
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】						
無断伐採や不法投棄がないよう、地域住民と協力しあって監視体制を強化していきたい。						
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】						
【情報発信の内容】						
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）				
チラシ等配布	実施前	施行前に地元自治体へ業務の案内チラシを配布し、地域住民に周知を図る。				
施工看板に掲示	実施前・中	施行前、施工中は県民税のPR看板とのぼりを設置してPRを実施。				
のぼり設置	実施前・中	施行前、施工中は県民税のPR看板とのぼりを設置してPRを実施。				
HP掲載	実施後	みえ森と緑の県民税市町交付金事業を財源とした事業であることのPR。				
7. 写真及びその他資料						
別紙のとおり						
8. その他特記事項（受益者の反応等）						

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり	市町名	伊勢市
------	----------------	-----	-----

事業名	森林整備事業
-----	--------

4. 効率性：主な経費内訳

作業内容	単位	数量	単価	金額	備考
松くい虫防除(地上散布)業務委託	式	1.00		619,300	業務委託料
松くい虫防除(樹幹注入)業務委託	式	1.00		3,578,300	業務委託料
松くい虫防除(伐倒破碎)業務委託	式	1.00		743,600	業務委託料
松林間伐業務委託	式	1.00		2,324,300	
事業費				7,265,500	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
地上散布 6.05ha(2回)	薬剤購入費	ha	6.05	34,320	207,636	
	薬剤運搬費	回	2.0	13,520	27,040	
	薬剤調合費	ha	6.05	7,056	42,688	
	散布作業	ha	6.05	45,864	277,477	
	事務雑費	式	1.00		45,159	
	消費税	式	1.00		60,000	
	計				660,000	設計額

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
樹幹注入 対象樹木355本 サンプル数 1,202本	薬剤費	本	1202	2,500	3,005,000	
	薬剤注入費	本	1202	432	519,264	
	事務雑費	式	1.00		101,736	
	消費税	式	1.00		362,600	
	計				3,988,600	設計額

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
伐倒破碎 16.6m3	伐倒費	m3	16.6	13,524	224,498	
	搬出費	m3	13.1	9,212	120,677	
	枝条等集積・搬出費	m3	5.5	19,600	107,800	
	運搬費	式	1.0		71,600	
	仮設費	式	1.0		138,584	トラッククレーン等
	事務雑費	式	1.0		89,841	
	消費税	式	1.0		75,300	
	計				828,300	設計額

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
間伐 保育間伐 383本	保育間伐	本	383.00	3,395	1,300,285	
	間伐木搬出	m3	9.00	9,212	82,908	
	共通仮設費	式	1.00		74,000	
	現場管理費	式	1.00		621,000	
	一般管理費	式	1.00		495,807	
	消費税	式	1.00		257,400	
	計				2,831,400	設計額

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	伊勢市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林整備事業 (地上散布)
-----	---------------

7 の (1) . 写真



写真1

材料確認



写真2

薬剤調合



写真3

散布状況 (村松)



写真4

散布状況 (東大淀)



写真5

散布状況 (二見町西・二見町今一色)



写真6

空袋検収

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	伊勢市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林整備事業(樹幹注入)
-----	--------------

7の(1). 写真



写真1

材料検収



写真2

せん孔状況



写真3

薬剤注入状況



写真4

注入材回収状況



写真5

空箱検収



写真6

PR状況

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	伊勢市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林整備事業(伐倒破碎)
-----	--------------

7の(1). 写真



写真1

作業前



写真2

作業中



写真3

作業中



写真4

作業完了



写真5

搬出状況



写真6

搬出状況

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	伊勢市	新規・継続の別	新規
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林整備事業(間伐)
-----	------------

7の(1). 写真



写真1
伐採



写真2
つる切断



写真3
間伐完了



写真4
積込状況



写真5
運搬・処分状況



写真6
PR状況

松くい虫防除作業についてのお知らせ

森田造園 有限会社

この度、伊勢市発注の松くい虫防除作業(樹幹注入)を下記のとおり実施させていただくことになりました。作業中はご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

記

業務委託名 令和3年度 森交委 第3号 松くい虫防除(樹幹注入)業務委託

施行場所 下記の位置図をご覧ください

作業日時 令和4年2月7日(月) ~ 令和4年3月25日(金)
AM 8:30~PM 5:00

施行内容 専用の薬液を松の樹幹に注入し、侵入してくる松くい虫の増殖をおさえるものです。
※作業中は松の木にプラスチックの容器が挿してありますが、薬剤が入っていますので、絶対さわらないようにお願いします。

発注者 伊勢市農林水産課 TEL 21-5648

受注者 森田造園 有限会社 TEL 28-4207
(担当 森田 TEL 080-1629-4456)



この事業は、

「みえ森と緑の県民税市町交付金事業」

により実施しています。



第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	伊勢市	新規・継続の別	新規
番号	事業名					
2	三重とこわか国体おもてなし事業					
事業費	616,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			616,000	0	0	

1. 事業の目的

令和3年度に開催される三重とこわか国体において、全国から来訪される選手、監督に県産材で製作した目録、工芸品を副賞として贈呈し、三重県産材の良さをPRし、身近な森林に目を向けてもらう。

2. 事業実績概要

【事業内容】

伊勢市で開催される競技 (6種) の優勝選手及び監督の皆様に対し、県産材で製作した木製目録と工芸品を贈呈する。

【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】

伊勢市

【実施個所及び箇所数】

-

【事業量】

木製楯 200個

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

全国から多くの選手及び関係者が来訪される大規模イベントにおいて、三重県産材の良さを全国にPRできる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

三重とこわか国体は中止となったため、代替大会で70個配布した。残り130個は今後、県民税のPRで有効活用を図っていく予定である。

【新たな対策・視点及び改善点】

全国的な大規模イベントでPRできる。

年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	伊勢市	新規・継続の別	新規
番号	事業名				
2	三重とこわか国体おもてなし事業				
事業費	616,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			616,000	0	0

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
物品購入	森林組合	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

三重県産材を保管しており、加工から印字までを一貫して行うことができ、かつ必要数を期間内確保できるため

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	選手（各競技の優勝者人数：170名）および関係者
期待する波及効果	三重県産材のPR

【公的関与の必要性】

三重とこわか国体・三重とこわか大会伊勢市実行委員会として組織しているため。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

70個は代替大会で配布。残り130個は今後、「中日三重お伊勢さんマラソン」において配布を予定しており、県民税のPRを行う。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
チラシ等配布	実施中	贈呈品にチラシを同梱し、PRを図る。
HP掲載	実施後	市HPへ実施内容を記載する。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

三重とこわか国体は中止となったため、代替大会で70個配布した。残り130個は今後、「中日三重お伊勢さんマラソン」において配布を予定しており、県民税のPRを行う。

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	伊勢市
事業名	三重とこわか国体おもてなし事業		

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
物品購入	三重県産材木製楯	個	200.00	2,800	560,000	
	消費税	%	10.00		56,000	
			合計		616,000	

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	伊勢市	新規・継続の別	新規
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	三重とこわか国体おもてなし事業
-----	-----------------

7の(1). 写真



写真1

目録



写真3



写真5



写真2

目録

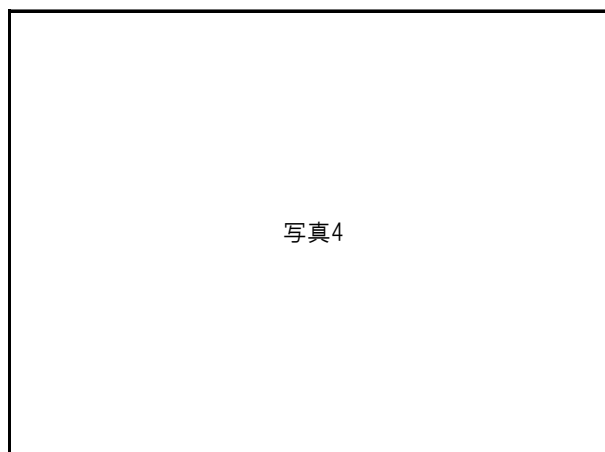


写真4



写真6

鳥羽市

令和 3 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報 (平成30年度版三重県市町要覧による)

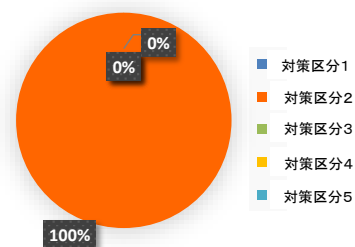
市町名	鳥羽市	三重県
人口 (人)	17,962	1,782,190
年少人口割合 (%) * 1	9.5%	12.4%
森林面積 (ha)	7,483.76	372,352.55
民有林面積 (ha) * 2	7,486.76	348,833.49
森林率 (%)	70.0%	64.0%
都市公園面積 (㎡/人口) * 3	10.2	10.1

* 1 : 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2 : 国有林以外の森林 (個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。)

* 3 : 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和 3 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠・加算枠) 事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額 (円) (当年度交付金額 + 基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	危険木伐採事業	6,476,702	6,476,702		6,476,702				
2	2	森林病虫害防除樹幹注入業務委託	493,900	493,900		493,900				
3		基金積立事業	1,212,398	1,212,398						1,212,398
				0						
				0						
				0						
				0						
				0						
		計	8,183,000	8,183,000	0	6,970,602	0	0	0	1,212,398

3. 令和 3 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (連携枠) (防災枠) 事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充当額 (円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針
本市では、人工林率が25%となっており、人工林率が低く、天然率が高いことが特徴である。本市の強みである水産業と森林には密接な関連があり、本市内の森林を整備することで、水源涵養力や土砂流出災害防止などの森林本来の機能を回復させるとともに、森林の土壌に含まれているミネラルなどが川へ流れ込み海に入り、磯焼けの防止や藻場の再生につながり、海産物の育成などにも好影響が生じる。 しかし、本市では急峻な地形であることや林業経営体が減少していることにより、森林整備が進んでおらず、海産物や市民生活に支障をきたす恐れがある立木が多い。そのため、危険木の除去など暮らしに身近な森林の整備をすすめ、市民の生活に支障をきたすことがないようにするとともに、森林の整備を行うことが海の環境改善にもつながる。
事業実施により期待される効果
危険木の伐採を行ったことにより、市民が安心安全な生活を送ることができるようになった。また、危険木伐採 (補助金) では、市が施行するまでの間に状況が変化し倒木する可能性がある。補助金事業として町内会が主体となって行うことにより、各町が一番危険と感じている木を最優先でそれぞれ伐採できるため、危険要因を排除できる。 また、伐採木は実施した町内で必要とする人が必要分活用することにより、木がもつぬくもりや利便性を感じてもらえることができた。
情報発信への取組
危険木伐採を実施する前に、対象となる町内会に回覧文書を作成し、周知を図った。また、施行後には町内会・漁協を通じて、伐採木活用意向を聞き取ってもらい、伐採木を引き取ってもらう人に対して周知を行った。 病虫害防除樹幹注入業務委託では、神島町内会と相差町内会では回覧文書を作成し、回覧板等に掲載した。 市ホームページでは、県民税に関するページを作成し、紙ベースではなくインターネットでも実績の周知を図った。

第 1 1 号様式 (その 1) (参考資料)

令和 3 年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税 (千円)
1	① 意向調査の準備作業	5,809	5,809
2	② 意向調査	3,263	3,263
3	⑩ 専門員の雇用	2,691	2,691
4	⑳ 基金積立 (執行残額等)	653	653
5			
6			
7			
8			
9			
10			
	合計	12,416	12,416

【記載要領】

ア. 事業カテゴリーの欄は下記の項目から該当するものを選択し記載するものとする。

事業カテゴリーの項目
① 意向調査の準備作業
② 意向調査
③ 私有林整備
④ 公有林整備 (財産区有林含む)
⑤ 森林保護対策
⑥ 林道・林専道の整備等
⑦ その他 (森林整備)
⑧ 担い手確保
⑨ 林業就業者の育成
⑩ 専門員の雇用
⑪ 新たな組織の設立
⑫ その他 (人材育成等)
⑬ 木造公共建築物の整備等
⑭ 木質バイオマス利用推進
⑮ 森林・林業・木材普及活動等
⑯ その他 (木材・普及啓発関係)
⑰ 基金積立 (森林整備等)
⑱ 基金積立 (人材育成等)
⑲ 基金積立 (木材利用等)
⑳ 基金積立 (執行残額等)

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	鳥羽市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
1	危険木伐採業務					
事業費	6,476,702 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			6,476,702	0	0	

1. 事業の目的

町内会から提出された危険木伐採要望箇所の現地確認を行い、より危険であると判定された樹木から伐採を行い、市民の生活に支障をきたす恐れのある木を取り除く。

2. 事業実績概要

【事業内容】

浦村町 1 箇所での業務委託・市内 8 町内会への補助を行い、伐採を実施した。

【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】

【業務委託】 鳥羽市

【補助事業】 町内会・自治会

【実施箇所及び箇所数】

【業務委託】 浦村町 1 箇所

【補助事業】 浦村町・船津町・堅子町・小浜町・鳥羽三丁目・池上町・千賀町・神島町 8 地区

【事業量】

【業務委託】 1 本

【補助事業】 178 本

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

町内会・自治会から提出されている伐採要望のため、それぞれの地区において危険度が高い樹木から伐採できるため、各地区においての危険要因を排除でき、市民が安全・安心な日常生活を維持することが可能である。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

補助金においては、各町内会で優先順位をそれぞれ精査してもらい、各地区で伐採を行う必要性が高いものから申請を提出してもらった。

【新たな対策・視点及び改善点】

今までは、危険木伐採を行う際は、根元からの伐採で統一して行っていたが、根元からの伐採だけでなく、枝払い等も施行方法の一つとして取り入れることにより、根系による多面的機能を維持できるように配慮した。

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	鳥羽市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
1	危険木伐採業務					
事業費	6,476,702 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			6,476,702	0	0	

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】				
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】				
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	造園業者	補助事業ではない	補助額無	
補助事業	自治会等	10/10以内	50万円	
【委託先及び補助対象者等の選定理由】				
【委託事業】 墓地に飛び出している木の伐採であり、高度な技術を要するため市内の造園業者から選定した。				
【補助事業】 町内会長・自治会長を申請者とするにより、各町内の事情を考慮できる。				
【主な経費内訳】 (別紙のとおり)				
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】				
【受益者及び、期待する波及効果】				
受益者	浦村町・船津町・堅子町・小浜町・鳥羽三丁目・千賀町・神島町に居住する市民			
期待する波及効果	市民だけでなく、観光客などへ被害を防止できる。			
【公的関与の必要性】				
危険木伐採は所有者自身だけでは対応できない樹木が多く、市が危険木判定を行ったうえで伐採業務を業者へ委託することにより、公平性をもって要望に応えることが可能である。				
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】				
伐採した箇所は、個人や市が適切に管理しているため、転用される恐れはない。				
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】				
【情報発信の内容】				
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）		
のぼり設置	実施中	施行箇所の近くに設置し、県民税活用事業であることの周知を図る。		
HP掲載	実施後	県民税事業活用ページに令和 3 年度事業量を掲載。		
チラシ等配布	実施前	補助事業の周知を図るために、チラシを各町内会・自治会に配布		
7. 写真及びその他資料				
別紙のとおり				
8. その他特記事項（受益者の反応等）				

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	鳥羽市
------	-----------------	-----	-----

事業名	危険木伐採業務
-----	---------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
危険木伐採	ラフテレーンクレーン使用	本	1.00	1,791,588	1,791,588	
危険木伐採	共通仮設費	式	1.00	96,000	96,000	
危険木伐採	現場管理費	式	1.00	804,000	804,000	
危険木伐採	一般管理経費	式	1.00	612,412	612,412	
小計					3,304,000	
消費税及び地方税相当額					330,400	10%
合計					3,634,400	

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
危険木伐採 (補助金)	船津町内会	本	4.00	75,000	300,000	
危険木伐採 (補助金)	池上町内会	本	25.00	19,888	497,200	
危険木伐採 (補助金)	今浦町内会	本	9.00	55,556	500,000	
危険木伐採 (補助金)	神島町内会	本	1.00	462,000	462,000	
危険木伐採 (補助金)	千賀町内会	本	3.00	166,333	499,000	
危険木伐採 (補助金)	錦町町内会	本	1.00	500,000	500,000	
危険木伐採 (補助金)	小浜町内会	本	100.00	4,990	499,000	
危険木伐採 (補助金)	堅子町内会	本	35.00	14,143	495,000	
合計					3,752,200	

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	鳥羽市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	危険木伐採業務
-----	---------

7の(1). 写真



写真1

本浦地区危険木伐採業務委託(施行前)



写真2

本浦地区危険木伐採業務委託(完了)

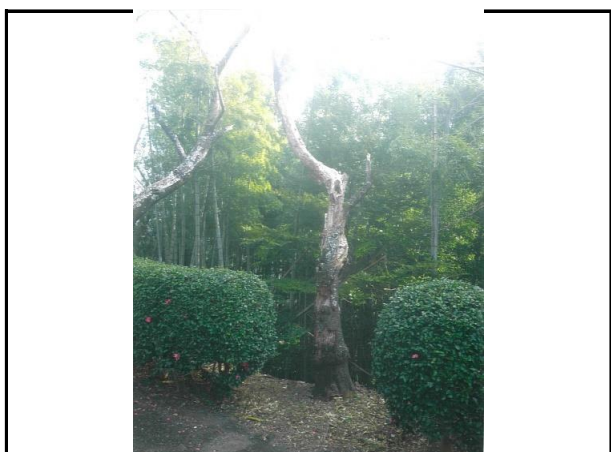


写真3

危険木伐採事業補助金(船津町内会・施行前)

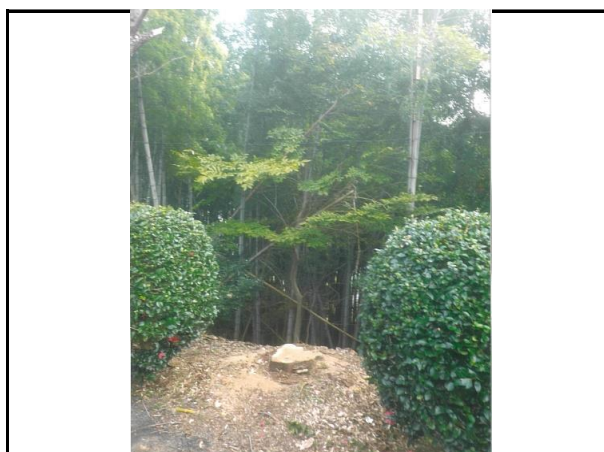


写真4

危険木伐採事業補助金(船津町内会・完了)

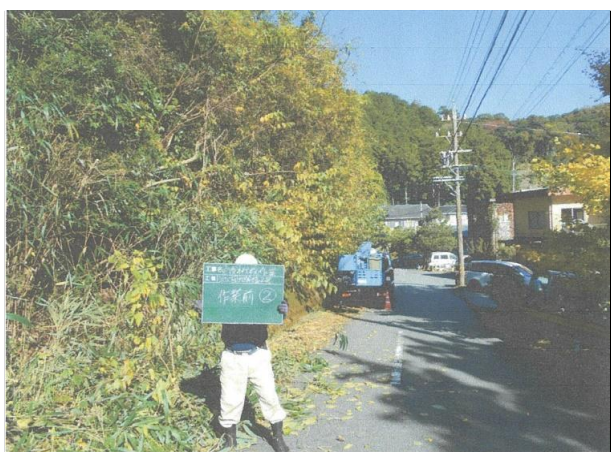


写真5

危険木伐採事業補助金(池上町内会・施行前)



写真6

危険木伐採事業補助金(池上町内会・完了)

みえ森と緑の県民税

ツイート

更新日：2022年04月22日

概要

森林には、私たちが健康で快適な生活を送るために欠かすことのできない大切な働きがあります。しかし、過疎化や林業の担い手不足などにより、手入れが不足した荒廃森林が増加しています。近年のゲリラ豪雨などの異常気象が増加していることも考えると、自然災害発生リスクが高まっている状況です。

本市では、平成26年4月から導入された「みえ森と緑の県民税」を用いて、三重県の森林づくりの2つの方針「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を実現可能な森林づくりを進めています。

詳しくは、

[三重の森林づくり（三重県のサイト）](#)

をご覧ください。

鳥羽市の取組

鳥羽市では、みえ森と緑の県民税を活用して、次の事業を実施しました。

[第一期対策（平成26年度から平成30年度）（PDFファイル: 187.3KB）](#)

[第二期対策（令和元年度から令和5年度）（PDFファイル: 117.2KB）](#)

関連リンク

[三重の森林づくり（三重県のサイト）](#)

[みえ森と緑の県民税（三重県のサイト）](#)

この記事に関するお問い合わせ先

農水商工課 農林係
〒517-0011 三重県鳥羽市鳥羽三丁目1番1号
電話番号：0599-25-1230
ファックス：0599-26-2810

[メールフォームによるお問い合わせ](#)



PDFファイルを開覧するには「Adobe Reader（Acrobat Reader）」が必要です。お持ちでない方は、左記の「Adobe Reader（Acrobat Reader）」ダウンロードボタンをクリックして、ソフトウェアをダウンロードし、インストールしてください。

みえ森と緑の県民税市町交付金（第2期実施事業）

実施年度	事業名	実施面積等
令和元年度	危険木伐採事業	91本伐採 1066m剪定
令和2年度	危険木伐採事業	7本伐採
令和3年度	危険木伐採事業（委託） （補助金）	1本伐採 178本伐採
	森林病虫害防除樹幹注入業務委託	アンプル152本注入

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	鳥羽市	新規・継続の別	新規
番号	事業名					
2	森林病虫害防除樹幹注入業務委託					
事業費	493,900 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			493,900	0	0	

1. 事業の目的	
<p>神島町の八代神社周辺の松及び昇竜の松に病原であるマツノザイセンチュウが入り込むと松枯れが発生する恐れがある。そのため、松枯れを引き起こす害虫を駆除し、松の発病を防ぐことを目的とし、薬剤の樹幹注入を実施する。</p>	
2. 事業実績概要	
<p>【事業内容】</p> <p>相差町内 1 本、神島町内 29 本の合計 30 本の松に合わせて 152 本の薬剤アンプルを注入した。</p> <p>【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】</p> <p>鳥羽市</p> <p>【実施個所及び箇所数】</p> <p>相差町 1 箇所、神島町 1 箇所</p> <p>【事業量】</p> <p>【相差町】 樹幹注入数 1 本、アンプル数 32 本</p> <p>【神島町】 樹幹注入数 29 本、アンプル数 120 本</p>	
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】	
<p>【事業実施により期待される効果】</p> <p>神島地区の松は国の重要有形文化財が秘蔵されている八代神社へと続く階段の両脇にある。また、相差地区の松は神明神社周辺の海女文化資料館横にある「昇竜の松」と呼ばれている幹回り 3m の黒松がある。この 2 か所にはたくさんの観光客が訪れており、松の病虫害対策を行い保全対策を行うことは、松林による良い景観の維持につながるとともに、施設利用者に木の良さに関する意識醸成を図ることができる。</p> <p>【効果を発揮させるための工夫・取組】</p> <p>今後、景観の維持や意識醸成を図るためにも、病害防除を継続して行う。</p> <p>【新たな対策・視点及び改善点】</p> <p>各施設にある松は、観光客が多く訪れる施設内にあり、鳥羽市の財産となっている。それらを維持していくことにより、市民だけでなく観光客など様々な人が木に対する意識を向上させるきっかけになり得る。</p>	

令和3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	鳥羽市	新規・継続の別	新規
番号	事業名				
2	森林病虫害防除樹幹注入業務委託				
事業費	493,900 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			493,900	0	0

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	造園業者	補助事業ではない	設定しない	

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

鳥羽市入札参加資格者名簿に登録されており、造園業に登録されている業者のなかから選定した。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	神島航路利用者・相差海女文化資料館利用者51,568人
期待する波及効果	町内・島内の住民が木の良さを知る波及効果も期待できる。

【公的関与の必要性】

観光施設内の松であるため、観光資源となる。そのため、市が松の防除を行うことは、景観の維持や観光資源の保護につながる。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

事業で実施した箇所について、松枯れが発生しないように、注意を払う。また、相差町では相差町内会が管理し、神島町の松は市有地内であるため、転用される恐れはない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
のぼり設置	実施中	施行場所の近くに設置し、県民税活用事業であることの周知を図る。
HP掲載	実施後	県民税事業活用ページに令和3年度事業量を報告・掲載。
回覧板・掲示板	実施前	町内会・自治期の回覧により、施行箇所・内容の周知を図る。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	鳥羽市
------	-----------------	-----	-----

事業名	森林病虫害防除樹幹注入業務委託
-----	-----------------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
樹幹注入	ショット・ワンツーマ	本	152.00	2,500	380,000	
樹幹注入	穿孔・注入・回収	本	152.00	380	57,760	
諸経費	鳥羽～神島渡航費含む	式	1.00	12,240	12,240	
小計					450,000	
消費税及び地方税相当額					45,000	10%
合計					495,000	

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	鳥羽市	新規・継続の別	新規
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林病虫害防除樹幹注入業務委託
-----	-----------------

7 の (1) . 写真



写真1
森林病虫害防除樹幹注入業務 (相差町・施行中)



写真2
森林病虫害防除樹幹注入業務 (相差町・完了)

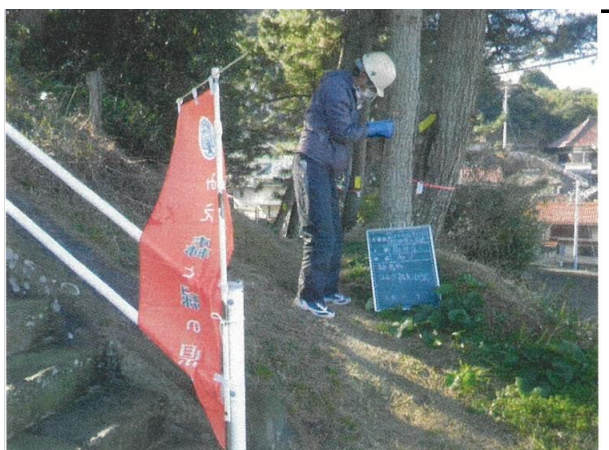


写真3
森林病虫害防除樹幹注入業務 (神島町・施行中)



写真4
森林病虫害防除樹幹注入業務 (神島町・完了)



写真5



写真6

八代神社周辺の松に 薬剤の樹幹注入を行います



三重県では「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるため、平成26年度から「みえ森と緑の県民税」が導入されています。

この県民税を活用し、八代神社周辺の松について病原であるマツノザイセンチュウを駆除し、マツが発病するのを防ぐことを目的に薬剤の樹幹注入を行う予定です。

工事期間：2月上旬を予定

鳥羽市農水商工課 0599-25-1231

志摩市

令和 3 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報 (平成30年度版三重県市町要覧による)

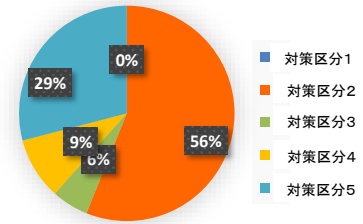
市町名	志摩市	三重県
人口 (人)	46,904	1,782,190
年少人口割合 (%) * 1	9.0%	12.4%
森林面積 (ha)	9,103.74	372,352.55
民有林面積 (ha) * 2	9,101.49	348,833.49
森林率 (%)	51.0%	64.0%
都市公園面積 (㎡/人口) * 3	6.2	10.1

* 1 : 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2 : 国有林以外の森林 (個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。)

* 3 : 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和 3 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠・加算枠) 事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額 (円) (当年度交付金額 + 基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	3	森と緑ふれあい事業	573,405	570,000			570,000			
2	2	災害に強い森林づくり事業	4,622,200	4,622,000		4,622,000				
3	2	松くい虫防除事業	1,212,200	1,171,000		1,171,000				
4	5	創造の森横山遊歩道整備工事	3,000,000	3,000,000					3,000,000	
5	4	観光農園木製品購入	960,000	960,000				960,000		
				0						
				0						
				0						
計			10,367,805	10,323,000	0	5,793,000	570,000	960,000	3,000,000	0

3. 令和 3 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (連携枠) (防災枠) 事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充当額 (円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	11.47	3,256,000	3,256,000	調整伐 (間伐)
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針
志摩市の森林の多くは、広葉樹が広がり、薪炭林などとして利用されていたが、社会情勢の変化により、里山としての森林利用がされなくなり、森林病虫害の発生が見られたり、獣害被害が農地や人家近くに及ぶようになってきた。 この状況下において、森林の持つ多面的な機能を市民に知ってもらうために、木製品にふれあう機会を創出や体験型の講習会などを通じ里山保全の手法を体験していただき、市民による森と緑ふれあい事業の取り組みをさらに推進する。 併せて災害に強い森林づくりとして森林整備を進めていく。
事業実施により期待される効果
①体験型の講習会を開催したことにより、森林への関心やその手法を市民に伝えることができた。 ②古くから海岸保全林として地元住民に親しまれていた松林の保全ができた。また、森林公園としての松林の保全ができた。 ③特定水源地域において、連携枠を活用し、調整伐を実施し、森林整備が促進された。
情報発信への取組
事業実施時の工事看板及び備品購入にあたっては、当該備品に県民税活用した旨を記載したプレートを設置している。 また、事業実施時において地元自治会長等に事業を周知する文書を配布するにあたり、文書内に県民税を活用して事業実施している旨の文言を記載して地元住民への周知を図っている。 事業成果について、市ホームページで紹介する予定をしている。

第 1 1 号様式 (その 1) (参考資料)

令和 3 年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税 (千円)
1	⑦ その他 (森林整備)	2,449	2,449
2	⑦ その他 (森林整備)	2,606	2,606
3	⑳ 基金積立 (執行残額等)	2,872	2,872
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
	合計	7,927	7,927

【記載要領】

ア. 事業カテゴリーの欄は下記の項目から該当するものを選択し記載するものとする。

事業カテゴリーの項目
① 意向調査の準備作業
② 意向調査
③ 私有林整備
④ 公有林整備 (財産区有林含む)
⑤ 森林保護対策
⑥ 林道・林専道の整備等
⑦ その他 (森林整備)
⑧ 担い手確保
⑨ 林業就業者の育成
⑩ 専門員の雇用
⑪ 新たな組織の設立
⑫ その他 (人材育成等)
⑬ 木造公共建築物の整備等
⑭ 木質バイオマス利用推進
⑮ 森林・林業・木材普及活動等
⑯ その他 (木材・普及啓発関係)
⑰ 基金積立 (森林整備等)
⑱ 基金積立 (人材育成等)
⑲ 基金積立 (木材利用等)
⑳ 基金積立 (執行残額等)

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	志摩市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
1	森と緑ふれあい事業					
事業費	573,405 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			570,000		3,405	

1. 事業の目的

市内の環境林や公園をフィールドとして、子供、親子を対象に森林に触れ合う機会を創出するために森林内で森林環境学習を実施する。また、一般の方を対象に天然林 (人工林) の管理・天然林 (人工林) の利用についての講習会や椎茸の菌打ち体験等の体験学習を開催する。

2. 事業実績概要

【事業内容】

シイタケ菌打ち体験

【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】

志摩市

【実施個所及び箇所数】

1 箇所

【事業量】

シイタケ菌打ち体験

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

子供達や市民の方に森林が持つ多面的機能の理解と関心を広げて学ぶ (体験) する場を作ることができたと考ええる。

参加者へアンケートを取り、森林に関する関心を持てた。森林のことをもっと知りたい等の意見があった。シイタケ菌打ちがとても楽しかった。来年も参加したいと積極的な意見も見受けられた。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

シイタケ菌打ち体験を通じて、シイタケができるまでの過程や森林そのものに関心を持ってもらうために、今回は原木を作る過程の見学も併せて実施した。

【新たな対策・視点及び改善点】

シイタケ菌打ち体験については、毎年数多くの問い合わせをいただいております。今回においても定員の関係によりお断りした方もいることから、今後も需要がある体験であると考えます。

実施場所についてはもう少し広いところで実施したいと考えているが、新型コロナウイルスの動向も伺いつつ検討を実施していく。

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	志摩市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
1	森と緑ふれあい事業					
事業費	573,405 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			570,000		3,405	

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】				
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】				
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	森林組合	補助事業ではない		
【委託先及び補助対象者等の選定理由】				
専門的な知識が必要であるため。				
【主な経費内訳】 (別紙のとおり)				
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】				
【受益者及び、期待する波及効果】				
受益者	市民 4 2 名			
期待する波及効果	シイタケ菌打ちを通じて森林に関心を持ってもらう。			
【公的関与の必要性】				
森林の持つ公益的な機能を市民に広く伝える必要がある。				
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】				
施設整備ではなく、該当しない。				
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】				
【情報発信の内容】				
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）		
ロゴマーク掲示(シール・プレート等)	実施前・中・後	各講習会実施時にロゴマーク掲示を行った。		
施工看板に掲示	実施前・中・後	各講習会実施時に受付等に看板を設置した。		
のぼり設置	実施前・中・後	各講習会実施時に受付等のにぼりを設置した。		
啓発物品配布	実施前・中・後	各講習会実施時に啓発物品を参加者に対して配布した。		
HP掲載	実施前・中・後	各講習会案内について、ホームページにて申込案内等している。		
アンケート実施	実施中	各講習会等実施時にアンケートを実施している。		
7. 写真及びその他資料				
別紙のとおり				
8. その他特記事項（受益者の反応等）				

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	志摩市
------	-------------	-----	-----

事業名	森と緑ふれあい事業
-----	-----------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
需用費	軍手	57	組	47	2,655	
					0	
委託料	講習会準備工	6	人工	19,600	117,600	
	講習費 (補助員)	4	人工	22,700	90,800	
	材料費 (原木)	60	本	499	29,936	
	伐採工 (原木作り)	3	本	10,727	32,181	
	諸雑費				18,352	
	諸経費				79,313	
	消費税額				36,818	
	計				405,000	
需用費	アルミイーゼル	1	個	6,182	6,182	啓発物品
需用費	スマホスタンド	85	個	1,700	144,500	啓発物品
	消費税額				15,068	
	計				165,750	
					0	
					0	
			合計		573,405	

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	志摩市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森と緑ふれあい事業
-----	-----------

7の(1). 写真



写真1

シイタケ菌打ち受付



写真2

みえ森と緑の県民税周知コーナ①



写真3

みえ森と緑の県民税周知コーナ②



写真4

進行係から参加者へ、このイベントがみえ森と緑の県民税を活用した取組であることを伝えた。



写真5

概要説明(いせしま森林組合)



写真6

ほだ木作り見学①

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	志摩市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森と緑ふれあい事業
-----	-----------

7の(1). 写真



写真1

ほだ木作り見学②



写真2

いせしま森林組合の職員による、シイタケ栽培の説明を受ける。



写真3

シイタケ菌打ち作業状況①



写真4

シイタケ菌打ち作業状況②



写真5

シイタケ菌打ち作業状況③



写真6

シイタケ菌打ち作業状況④

シイタケ菌打ち体験（森と緑ふれあい事業）参加者募集します！

更新日：2021年11月12日

森と緑ふれあい事業とは

森と緑ふれあい事業とは、平成26年4月1日に導入されたみえ森と緑の県民税を活用し、森林の持つ多面的な機能について、学び知る場として、「森林にふれあう」「森林の保全」「森林資源の活用」の3つもテーマを定め体験型の講習会を実施するものです。

体験内容について

《令和3年度の予定》

第1回 シイタケ菌打ち体験

日時：令和3年12月18日（土曜日）

時間：午前10時 ～ 正午頃 まで

場所：志摩市観光農園（志摩市磯部町穴川511番地5）【道の駅伊勢志摩奥】

※申込受付は先着順とし、定員（20名）になり次第、締め切ります。

※その他の体験につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止いたしました。

参加申し込みについて

参加申込期間：令和3年11月15日（月曜日） から 令和3年12月3日（金曜日）まで

- ・体験を希望する場合は、参加申込書を志摩市役所 農林課までご提出ください。
- ・詳しいことは、申し込みされた方に後日ご案内させていただきます。
- ・天候や講師等の諸事情、新型コロナウイルス感染症の流行の状況等により中止又は日程を変更することがあります。

参加申込書

[参加申込書 \(WORD : 131.3KB\)](#)[参加申込書 \(PDF : 357.3KB\)](#)

志摩市役所 産業振興部 農林課
〒517-0592 三重県志摩市阿児町鷲方3098番地22
電話番号：0599-44-0288
ファクス：0599-44-5262
[お問い合わせはこちら](#)

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	志摩市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
2	災害に強い森林づくり事業					
事業費	4,622,200 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			4,622,000		200	

1. 事業の目的	
<p>人家裏や道路沿いの森林において、幹や枝が折れることにより、人身や財産に影響を及ぼす可能性のある樹木を除去し、倒木による災害から市民の生命や財産を守るため。</p>	
2. 事業実績概要	
<p>【事業内容】 道路沿いの危険木の除去を行う。</p> <p>【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】 志摩市</p> <p>【実施箇所及び箇所数】 2箇所</p> <p>【事業量】 L = 約517.25m 立木372空m³</p>	
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】	
<p>【事業実施により期待される効果】 道路沿いで通行に支障のある箇所の危険木が除去できたことにより、道路の見通しが良くなり、周辺住民の安全性が保たれた。 地元自治会から危険木の除去ができて光が差したことで、見通しがよくなったとの意見をいただいた。 また、台風等の時期に倒木の危険性が低くなったことで道路使用者及び周辺住民から喜びの声が寄せられた。</p> <p>【効果を発揮させるための工夫・取組】 道路沿いの危険木は市内に数多くあり、その中においても交通量が多く、危険木も多い箇所から順番に実施していくことで、市民の安心安全を守ることができる。 また、他町においても自治会要望等で依頼があるため、今後も引き続き実施していく必要があると考える。</p> <p>【新たな対策・視点及び改善点】 前年度と同様の事業内容であり、新たな対策や改善点等は特になし。 今後も引き続き、事業実施を継続していく。</p>	

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	志摩市	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
2	災害に強い森林づくり事業				
事業費	4,622,200 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			4,622,000		200

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	建設業者	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

道路は、市有地であるので市が委託業務として実施する必要があるため

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	地元自治会 3,907人
期待する波及効果	交通量の多い農道であるため、倒木等の事故を未然に防ぐことができる。

【公的関与の必要性】

道路は市の施設であり、また、保安林が一部にあり、市で管理する必要性があるため。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

市有地であるので転用されることはない。また、実施個所については、今後、適正に管理していく。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
施工看板に掲示	実施前・中	工事看板に県民税を活用して実施している旨の記載をした。
チラシ等配布	実施前	工事のお知らせ時に県民税活用による整備の旨を記載した。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	志摩市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	災害に強い森林づくり事業
-----	--------------

7の(1). 写真



写真1

危険木伐採前



写真2

危険木伐採後



写真3

危険木伐採前



写真4

危険木伐採後



写真5

危険木伐採前



写真6

危険木伐採後

この事業は、「みえ森と緑の県民税」を
活用して整備しています。

ご迷惑をおかけします

令和3年度 危険木除去業務委託

令和 4年 1月31日まで

時間帯 午前8時30分～午後5時まで

発注者 志幸建設 0599-44-0288

施工者 志幸建設 0599-72-0788

建設業の許可書

令和3年度 危険木除去業務委託

令和 4年 1月31日まで

時間帯 午前8時30分～午後5時まで

発注者 志幸建設 0599-44-0288

施工者 志幸建設 0599-72-0788

この工事の元請事業主は
建退共に参加しています

工種: 安全管理写真

測点: 阿児町立神地内1号箇所

令和3年度 危険木伐採業務委託

工事標識

事業は、「みえ森と緑の県民税」を
して整備しています。

ご迷惑をおかけします

令和3年度 危険木除去業務委託

令和 4年 1月31日まで

時間帯 午前8時30分～午後5時まで

発注者 志幸建設 0599-44-0288

施工者 志幸建設 0599-72-0788

工事名 令和3年度 危険木除去業務委託

工事種別 危険木伐採

工事地点

工事内容

工種: 安全管理写真

測点: 阿児町立神地内1号箇所

令和3年度 危険木伐採業務委託

工事標識

**この工事の元請事業主は
建退共に参加しています**

令和3年度 危険木除去業務委託 志幸市

事業所名 志幸建設 契約番号 72-02864

この建退共は、元請事業主が建退共に参加している場合、
元請事業主の責任を負うことになります。元請事業主は、
建退共に参加しない場合は、元請事業主の責任を負うこと
になります。元請事業主が建退共に参加している場合は、
元請事業主の責任を負うことになります。

建退共 三重県支部

〒514-0002 三重県津市津島2-177-2 三重労働組合会館内 TEL 059(22)4116

工種: 安全管理写真

測点: 阿児町立神地内1号箇所

令和3年度 危険木伐採業務委託

建退共加入表

関係者の皆様へ

工事のお知らせ

(1) 皆様方へのお願い

皆様には、日頃より公共工事においてご理解・ご協力頂き誠にありがとうございます。

この度、危険木除去業務委託工事を実施させていただきます。

工事期間中は、皆様方にご不便・ご迷惑をおかけすることと思っておりますが、1日も早い完成目指し施工いたしますので、ご理解とご協力を頂きますようお願い申し上げます。

この事業は、みえ森と緑の県民税を活用して整備しています。

(2) 工事概要

工事期間 令和3年11月22日～令和4年1月31日

*天候・工事施工状況により、期間延長及び施工時期が変更となる場合があります。

*日曜日は休工といたします

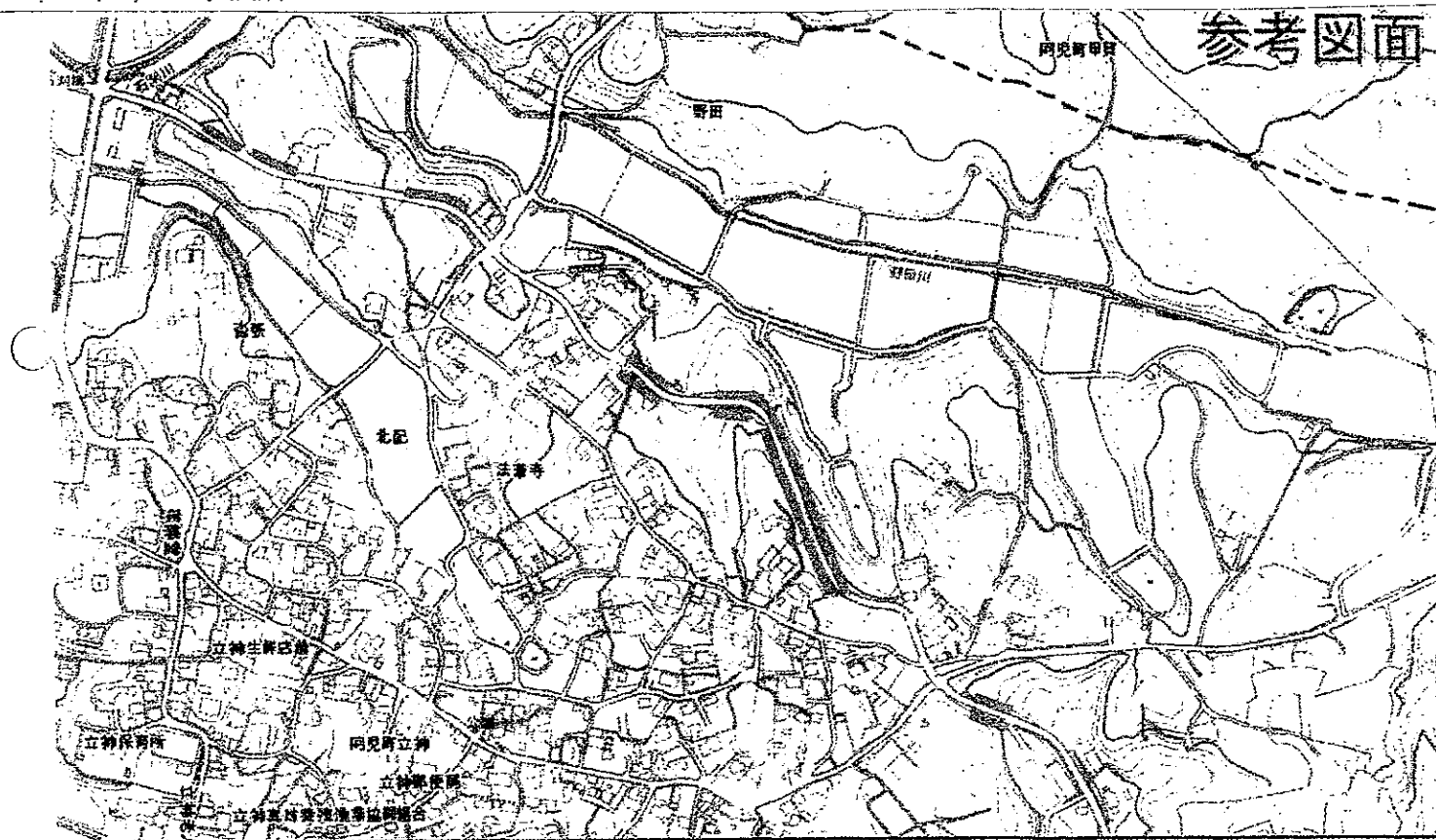
工事箇所 阿児町甲賀地内阿児の松原線 阿児町立神地内立神農免道路線

施工時間 午前8時30分～午後5時

工事内容 令和3年度 危険木除去業務委託（伐木・枝払い）

工事概要 施工時間中片側交互通行（1時通行止めあり）

(3) 工事箇所



(4) 連絡先 受注者 志幸建設 TEL 0599-72-0788

発注者 志摩市産業振興部 農林課 農林整備係 TEL 0599-44-0288

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	志摩市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
3	松くい虫防除事業					
事業費	1,212,200 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			1,171,000		41,200	

1. 事業の目的

志摩市は、全域が伊勢志摩国立公園内に位置し、松やウバメガシなどの広葉樹が多く植生し、志摩市の景観を形成している。また、海岸沿いには、松林の公園や景勝地があり、防風、飛砂防止など地域の暮らしを守っているほか、多くの人が訪れている。松林の公園や景勝地のある松を森林病虫害の被害拡大を防ぐ対策を施し、景観形成の維持を図る。

2. 事業実績概要

【事業内容】

薬剤樹幹注入 枯松の伐倒処理

【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】

志摩市

【実施箇所及び箇所数】

薬剤樹幹注入：4 箇所 枯松伐倒：4 箇所

【事業量】

樹幹注入対象松：77 本 枯松伐倒：17 本

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

松くい虫の被害が食い止められたことにより、住民が広く活用する公園内の安全性が保たれた。
松くい虫被害の松を伐倒したことで、危険性もなくなり景観もよくなったとの意見をいただいた。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

松くい虫防除に係る樹幹注入については、年度毎にローテーションを組んでおり、その年度に実施する場所がすでに決まっているため、今後も継続的に事業実施していく予定である。

【新たな対策・視点及び改善点】

樹幹注入においては、毎年同様の薬剤を仕様に入れて入札を実施しているが、今後は他の薬剤の効果も調査しつつ薬剤の種類を検討していきたい。

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	志摩市	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
3	松くい虫防除事業				
事業費	1,212,200 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,171,000		41,200

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	造園業者	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

松くい虫防除に登録のある業者から選定した。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	地元自治会 5, 7 4 4 人
期待する波及効果	市内の観光地において、松くい虫等の病害虫のまん延防止に寄与する

【公的関与の必要性】

松くい虫等の病害虫のまん延防止のため。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

今後も同様の管理を継続していく。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
施工看板に掲示	実施前・中	工事看板に県民税を活用して実施している旨の記載をした。
チラシ等配布	実施前	地元自治会長宛てに工事实施の文書を送る際に県民税の文言を入れた。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり			市町名	志摩市	
事業名	松くい虫防除事業					
4. 効率性：主な経費内訳						
区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
樹幹注入	薬剤費	本	162.00	2,500	405,000	
	薬剤注入費	箇所	162.00	278	45,000	
	消費税額				45,000	
					0	
枯松伐倒①	伐採工	本	2.00	21,500	43,000	
	処分費	m3	3.00	7,500	22,500	
	諸経費				6,500	
	消費税額				7,200	
枯松伐倒②	伐採工	本	12.00	15,167	182,000	
	残材玉切積置き	本	12.00	3,000	36,000	
	諸経費				21,000	
	消費税額				23,900	
枯松伐倒③	伐採工	本	2.00	72,600	145,200	
	高所作業車リース	台	2.00	23,000	46,000	
	残材玉切積置き	本	2.00	12,000	24,000	
	諸経費				20,800	
	消費税額				23,600	
枯松伐倒④	伐採工	本	4.00	18,000	72,000	
	残材玉切積置き	本	2.00	12,000	24,000	
	諸経費				9,000	
	消費税額				10,500	
				合計	1,212,200	

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	志摩市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	松くい虫防除事業
-----	----------

7の(1). 写真



写真1

阿児の松原①



写真2

阿児の松原①(株元)



写真3

阿児の松原②



写真4

阿児の松原②(株元)



写真5

安乗岬園地



写真6

安乗岬園地(株元)

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	志摩市	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
4	創造の森横山遊歩道整備工事				
事業費	3,003,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			3,000,000		3,000

1. 事業の目的

創造の森横山は、山頂にある展望台につながる遊歩道が整備され、自然観察会の開催やクアオルトウォーキングなどが行われ、多くの方が散策やウォーキングに訪れていることを踏まえ、自然公園の景観と森林や緑の保全及び利用を促進するため、上質な利用環境の提供を図るとともに森林や緑と親しむための環境を創出することを目的とする。

2. 事業実績概要

【事業内容】

道路沿いの危険木の除去を行う。

【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】

志摩市

【実施箇所及び箇所数】

1箇所

【事業量】

階段遊歩道 L=18m

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

創造の森の横山には遊歩道が整備され、多くの方が散策やウォーキングに訪れています。一部の遊歩道をきれいに改修したことにより、来訪者が森林にふれあう機会が増加し、多様な機能を知る機会が創出されています。

常時散策している地元住民数名から、今回整備した遊歩道は位置がわかりづらい面があり、散策ルートには入れていなかったが、改修整備したことにより、今後は散策ルートにも入れたいとの意見があった。

今後は、看板等にて遊歩道の位置を周知するとともに、自然観察会等のイベント参加者に事業本来の目的を中心に説明することにより波及させたい。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

今回の遊歩道整備は、2か年計画として進めていることから、2か年目の整備時に、多くの方が散策時に休憩所として利用する作業所の内外に健全な森林の保全と遊歩道整備を結ぶような周知ポスターや看板を設置することとしている。

【新たな対策・視点及び改善点】

森と緑の県民税自体を知らない地元住民も多いため、その点を踏まえた周知ポスターを作成し、散策時に休憩所として多くが利用する作業所の内に貼付し、周知を図るとともに、事業完了後においても、自然観察会等のイベント参加者に事業本来の目的を中心に継続して説明する。

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	志摩市	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
4	創造の森横山遊歩道整備工事				
事業費	3,003,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			3,000,000		3,000

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	森林組合	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

地方自治法等に基づく市の発注基準、方法による

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	観光客、地域住民	利用者数：6,870人/年
期待する波及効果	市内外の里山に対するより深い理解	

【公的関与の必要性】

横山園地は、国立公園の特別地域となっており、環境省と志摩市が里山の適切な管理や希少生物の保護を長年継続して取り組んでいるため、公共による公園計画に基づく、管理及び保全が必要である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

創造の森横山作業所を使用する環境省や志摩市が主催の講習会またはイベントは、毎年開催が予定されている。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
その他	実施前・中・後	設置した遊歩道の各箇所に県民税で事業実施したプレート設置。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	志摩市	新規・継続の別	継続
------	--------------------	-----	-----	---------	----

事業名	創造の森横山遊歩道整備工事
-----	---------------

7 の (1) . 写真

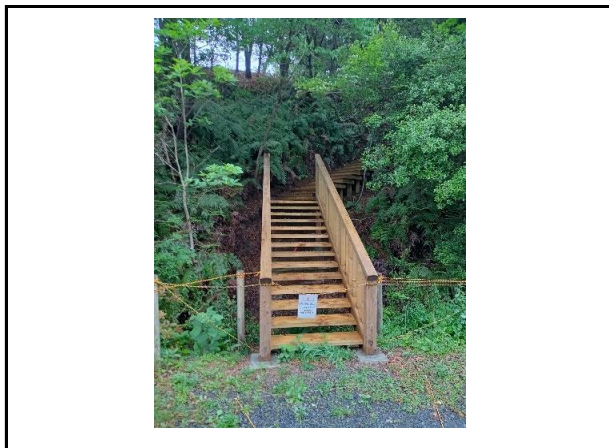


写真1

遊歩道 (階段)



写真2

遊歩道 (階段)

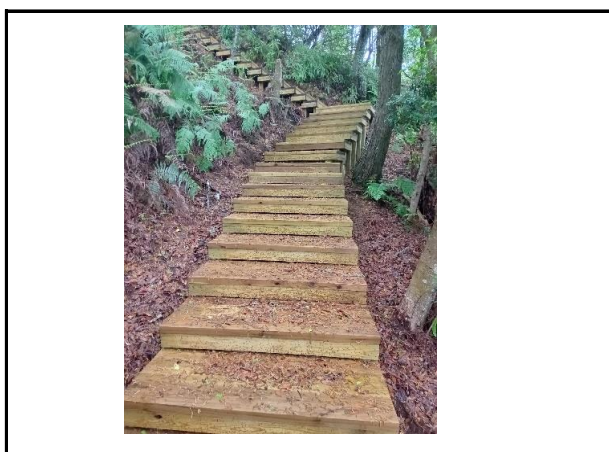


写真3

遊歩道 (階段)



写真4

遊歩道 (階段)



写真5

遊歩道 (階段) プレート①



写真6

遊歩道 (階段) プレート②

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり		市町名	志摩市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
5	観光農園木製品購入					
事業費	960,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			960,000			

1. 事業の目的						
志摩市の集客施設を活用し、志摩市の森林の魅力を発信する場を整備するとともに、子どもたちの木育などに活用できるように環境整備し、子どもたちに森林への興味や林業への理解を深める。						
2. 事業実績概要						
【事業内容】						
木製遊具及び木製ベンチを施設内に設置または、木製で施設を整備し、木製品にふれあう機会を創出する。また、開園時に木製品に触れあえる機会を創出することで、森林への興味を深めることに寄与する。						
【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】						
志摩市						
【実施個所及び箇所数】						
1施設						
【事業量】						
木製遊具 1基、木製ベンチ 1基						
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】						
【事業実施により期待される効果】						
みえ森と緑の県民税を活用した森と緑ふれあい事業と連携し、シイタケ菌打ち体験等の会場としての利用やその他森林に関する体験学習を親子を対象に木育を行うことや直接木製品に触れることにより森林への興味が深まったと考える。						
また、季節の花の時期に開園し、市内外の方々に木製品に触れ合える機会を創出した。						
インスタ等においても木製遊具を使用した、写真スポットが好評であり、観光地としての一翼を担ったと考えられる。						
【効果を発揮させるための工夫・取組】						
園内に木製遊具及び木製品ベンチが設置してあることで、入場者等に鉄製等よりも温かみがある等という意見をいただき、花と木製遊具の色合いが良く、写真を撮ることで思い出にも繋がり、良いと思われるとの意見もあったことから、市民及び市民以外の方々にも木製品の良さを伝えていきたい。						
【新たな対策・視点及び改善点】						
最近では観光地において写真スポットが流行っており、今回は試験的に写真スポットとして活用することが可能な木製遊具の作製を行った。						
設置したことにより、写真スポットは好評でありインスタグラムへの投稿も多く見受けられたことから、今までのように木製ベンチ等、単に木製品を設置するだけでなく、新たな活用を検討して活用していきたいと考える。						

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	志摩市	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
5	観光農園木製品購入				
事業費	960,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			960,000		
4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】					
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】					
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考	
委託事業	森林組合	補助事業ではない			
【委託先及び補助対象者等の選定理由】					
別の部署において、創造の森横山内で山林の維持管理のため伐採事業を実施しており、そこで発生した間伐材等を使用して木製品の製作を行うため。					
【主な経費内訳】					
(別紙のとおり)					
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】					
【受益者及び、期待する波及効果】					
受益者	公園入場者数 19,798人(令和3年度)				
期待する波及効果	市民及び観光客に木製品の良さを伝えることができた。				
【公的関与の必要性】					
当該事業実施箇所は市が直営している施設であり、市において事業実施していく必要がある。					
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】					
今後も同様の管理を継続していく。					
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】					
【情報発信の内容】					
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）			
その他	実施前・中・後	購入した木製ベンチ及びテーブルに県民税で事業実施したプレート設置。			
7. 写真及びその他資料					
別紙のとおり					
8. その他特記事項（受益者の反応等）					

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	志摩市	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	観光農園木製品購入
-----	-----------

7 の (1) . 写真



写真1

観光農園園内



写真2

園内に設置した木製ベンチ



写真3

園内に設置した木製ベンチ (プレート拡大)



写真4

園内に設置した木製遊具



写真5

園内に設置した木製遊具

写真6

写真6

玉城町

令和 3 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報 (平成30年度版三重県市町要覧による)

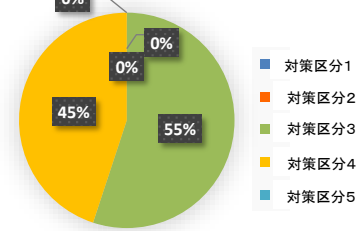
市町名	玉城町	三重県
人口 (人)	15,199	1,782,190
年少人口割合 (%) * 1	14.5%	12.4%
森林面積 (ha)	1,259.02	372,352.55
民有林面積 (ha) * 2	1,258.77	348,833.49
森林率 (%)	31.0%	64.0%
都市公園面積 (㎡/人口) * 3	25.7	10.1

* 1 : 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2 : 国有林以外の森林 (個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。)

* 3 : 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和 3 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠・加算枠) 事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額 (円) (当年度交付金額 + 基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	1			0						
2	2			0						
3	3	森林環境教育・木育事業	341,132	341,132			341,132			
4	4	公共施設整備事業	278,300	278,300				278,300		
5	5			0						
6	6		5,594,568	0						5,594,568
				0						
				0						
計			6,214,000	619,432	0	0	341,132	278,300	0	5,594,568

3. 令和 3 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (連携枠) (防災枠) 事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充当額 (円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針
<p>本町は、三重県のほぼ中央に位置し、伊勢市、度会町、多気町、明和町に隣接している。総面積は40.91km²でそのうち、森林面積は1,258.77haで森林率は31%と低く、そのほとんどが民有林で人工林面積は1,133.59haで森林面積の90%を占めている。森林率が低いがゆえ、森林の良さ、木材の良さに気づかせる事で、森林環境への関心・身近さを少しでも感じてもらいたいと考えている。</p> <p>このため、保育園や小学校で森林環境教育を実施して森を育む人づくりを行ったり、またアスピア玉城で三重県産の木材を使用したりする事で、森と人をつなぐ学びの場として、多くの方々に森林の必要性、大切さを周知し、啓発していく。</p>
事業実施により期待される効果
<p>森林環境教育・木育を実施したことで森林への理解、森林の大切さを感じてもらう。</p> <p>また、木と触れ合える教育環境を児童や園児とその保護者、指導者に感じてもらい、木材の大切さ、活用の促進と森林への理解を深めてもらう。</p>
情報発信への取組
<p>町の広報誌 (広報たまき) へ掲載し、町民に対して積極的に情報提供 (PR) しました。</p> <p>町民はもとより、木育活動等を実施した施設の対象者 (児童、園児)、教員・職員からも事業に対する理解の声をいただきました。</p>

第 1 1 号様式 (その 1) (参考資料)

令和 3 年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税 (千円)
1	⑰ 基金積立 (森林整備等)	4,067	4,067
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
	合計	4,067	4,067

【記載要領】

ア. 事業カテゴリーの欄は下記の項目から該当するものを選択し記載するものとする。

事業カテゴリーの項目
① 意向調査の準備作業
② 意向調査
③ 私有林整備
④ 公有林整備 (財産区有林含む)
⑤ 森林保護対策
⑥ 林道・林専道の整備等
⑦ その他 (森林整備)
⑧ 担い手確保
⑨ 林業就業者の育成
⑩ 専門員の雇用
⑪ 新たな組織の設立
⑫ その他 (人材育成等)
⑬ 木造公共建築物の整備等
⑭ 木質バイオマス利用推進
⑮ 森林・林業・木材普及活動等
⑯ その他 (木材・普及啓発関係)
⑰ 基金積立 (森林整備等)
⑱ 基金積立 (人材育成等)
⑲ 基金積立 (木材利用等)
⑳ 基金積立 (執行残額等)

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	玉城町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
1	森林環境教育・木育事業					
事業費	341,132 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			341,132			

1. 事業の目的	
教育現場において森林環境教育・木育を実施して、森林に対する深い理解のある人づくりを進めていく。	
2. 事業実績概要	
【事業内容】	
玉城町内の保育所及び小学校において森林環境教育・木育を実施する。	
【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】	
玉城町	
【実施個所及び箇所数】	
町内小学校及び保育所	
【事業量】	
①田丸保育所 園児数 5 8 人 ②外城田小学校 児童数 3 5 名	
③有田小学校 児童数 2 8 名 ④田丸小学校 児童数 6 3 名	
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】	
【事業実施により期待される効果】	
森林環境教育・木育事業を通じて森林に対して興味を持ってもらい、森林の大切さを学んでいく。	
【効果を発揮させるための工夫・取組】	
令和 2 年度の活用事例集を参考にして各先生に希望するメニューに取組んでもらえるように調整した。	
【新たな対策・視点及び改善点】	
これまで、小学校で森林環境教育・木育事業を実施して好評であり、令和 3 年度は試験的に 1 つの保育所で実施した。保育所でも好評だったため、令和 4 年度からは他の保育所まで拡大して実施していく。	

令和3年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	玉城町	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
1	森林環境教育・木育事業				
事業費	341,132 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			341,132		

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】				
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】				
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	森林組合	補助事業ではない		小学校
その他	個人	補助事業ではない		保育所
【委託先及び補助対象者等の選定理由】				
<ul style="list-style-type: none"> ・ いせしま森林組合（小学校）…玉城町内の森林特性を把握しているため。 ・ 藤川和彦氏（保育所）…玉城町内の森のせんせいであるため。 				
【主な経費内訳】				
(別紙のとおり)				
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】				
【受益者及び、期待する波及効果】				
受益者	小学生126名、園児58名			
期待する波及効果	保護者への波及効果も期待できる。			
【公的関与の必要性】				
教育現場と連携して実施する内容であるため、公的に取り組む必要がある。				
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】				
施設整備等ではなく、転用や目的外使用は想定されない。				
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】				
【情報発信の内容】				
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）		
のぼり設置	実施中	木育活動中、教室に設置。		
啓発物品配布	実施後	児童に対し、啓発を目的に物品を提供した。		
広報誌掲載	実施後	町の広報誌（広報たまき）への記載を基本に町民に対して積極的に情報提供（PR）している。		
アンケート実施	実施後	町民はもとより、木育活動等を実施した施設の対象者（園児、生徒）、教員・職員からも事業に対する理解の声をいただいている。		
7. 写真及びその他資料				
別紙のとおり				
8. その他特記事項（受益者の反応等）				

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	玉城町
------	-------------	-----	-----

事業名	森林環境教育・木育事業
-----	-------------

4. 効率性：主な経費内訳

森林環境教育・木育事業 (小学校分)

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
報償費	講師料 (森林組合職員)	人	16.00	4,500	72,000	3校 8限
準備費	企画・打合せ、丸太伐採等	式	1.00	108,000	108,000	
資材費	箸、サンドペーパー等	式	1.00	59,000	59,000	
交通費	23円/km	式	1.00	916	916	
諸経費	20%以内	式	1.00	40,084	40,084	
小計					280,000	
消費税及び地方税相当額					28,000	10%
合計					308,000	

森林環境教育・木育事業 (保育所分)

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
報償費	講師料 (森のせんせい)	人	3.00	4,500	13,500	1所 3時間
準備費	企画・打合せ	式	1.00	3,000	3,000	
資材費	木工作教材等	式	1.00	16,632	16,632	
合計					33,132	

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	玉城町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境教育・木育事業
-----	-------------

7の(1). 写真



写真1

丸太切り体験(田丸保育所)



写真2

マイ箸作り(外城田小学校)



写真3

マイ箸作り(有田小学校)



写真4

樹齢当てクイズ(田丸小学校)



写真5



写真6



11/30 12/3 木育活動(出前授業)を行いました



外城田小学校(5年生) マイ箸作り 11月30日



田丸保育所(5歳児) 木のオブジェ作り 12月3日

木の働きを知り、木に触れることで木への関心を持ってもらうきっかけづくりを目的に、みえ森と緑の県民税を活用し、外城田小学校と田丸保育所で木育活動を実施しました。講師である「森のせんせい」の話を子どもたちは興味深く聞き入っていました。「森のせんせい」とは森林環境教育・木育の活動に協力するために三重県で登録されている方々です。

また、外城田小学校ではマイ箸作り、田丸保育所では丸太切り体験や木のオブジェ作りを行い、子どもたちは夢中になって取り組んでいました。

11/12 乳児のいる家庭へ配布する「町内産のお米」を寄贈



「初めての離乳食の際には、ぜひ玉城町産のお米を食べてほしい」という農家の方々の思いから、町内産の新米60kgを町に寄贈いただきました。このお米は、赤ちゃん訪問の際に各家庭に2合ずつ配布されます。これを機に、若い世代の方々にも町内産のお米を知っていただき、地産地消の取組みを進めていきます。



11/15 小林 政太郎 翁ゆかりの鉄瓶を寄贈



世界で初めて柔軟オブラートを発明した小林 政太郎 翁が使用していた鉄瓶を、ご子孫の方から町へ寄贈していただきました。

明治35年、オブラート開発に励んでいた政太郎翁が、誤って寒天をこの鉄瓶にこぼし、それが乾燥して固まる様子を見て、柔軟オブラートを発明しました。

町では発明のヒントになったこの貴重な資料を、村山龍平記念館で展示して、政太郎翁の功績を紹介していきたいと考えています。

5年生のみんなに聞きたい森と緑のアンケート

森と緑について、出前授業をうけた5年生のみんなにお聞きします。
みんなの意見・気持ちを聞いて、来年も今日のような授業をしたいと思っています。

Q1 出前授業は楽しかったですか？

- | | |
|-------------|--------------|
| 1) とても楽しかった | 2) 楽しかった |
| 3) 楽しくなかった | 4) 全然楽しくなかった |

Q2 出前授業は想像していたとおりでしたか？

- | | |
|----------|---------------|
| 1) 想像以上 | 2) 想像どおり |
| 3) 期待はずれ | 4) まったくの期待はずれ |

Q3 出前授業の先生の話はわかりやすかったですか？

- | | |
|------------|----------------|
| 1) よくわかった | 2) わかった |
| 3) わからなかった | 4) まったくわからなかった |

Q4 思ったこと・感じたことでいいので、楽しかったところや楽しくなかったところを書いてください。
片方だけでもOKです。

○楽しかった点

○楽しくなかった点

Q5 今日受けた活動以外でしてみたかったことがあれば、記入してください。
例えば)

- ・ 木材の加工場見学
- ・ シイタケの菌打ち体験
などなど

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	玉城町	新規・継続の別	新規
番号	事業名				
3	公共施設整備事業				
事業費	278,300 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			278,300		

1. 事業の目的					
<p>木材の良さ、木材の必要性を周知、啓発するために、三重県産の木材を使用している施設を提供 (木質化改修) することで、森と人をつなぐ学びの場として活用していく。</p>					
2. 事業実績概要					
【事業内容】					
<p>アスピア玉城の内装等の木質化の実施に向け、令和3年度は設計のみを行った。</p>					
【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】					
<p>玉城町</p>					
【実施個所及び箇所数】					
<p>アスピア玉城 (施設内木質化改修) × 1 施設</p>					
【事業量】					
<p>アスピア玉城 床 535.4㎡ 内装 1.0式</p>					
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】					
【事業実施により期待される効果】					
<p>県産材を使用している施設を提供することで、施設利用者に対して木のぬくもりや香りを感じてもらい、森林の必要性に対する理解を深めることに繋げていく。</p>					
【効果を発揮させるための工夫・取組】					
<p>森林や木材についてふれあう場を提供し、森との関係を深める取組である。</p>					
【新たな対策・視点及び改善点】					
<p>令和3年度はウッドショックにより委託設計のみとなった。改めて令和4年度に施設の内装の木質化を実施していく。</p>					

令和3年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	玉城町	新規・継続の別	新規
番号	事業名				
3	公共施設整備事業				
事業費	278,300 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			278,300		

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	その他	補助事業ではない		実施設計業務委託

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

見積合せによる。

【主な経費内訳】
(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	町民ほか施設利用者 約35,000人
期待する波及効果	町内だけでなく他市町の方への波及効果も期待できる。

【公的関与の必要性】

町が管理する施設であるため、公的に取り組む必要がある。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

継続して町で管理していく。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
		実施設計を行っただけであり、情報発信はまだしていない。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	玉城町
------	-------------------	-----	-----

事業名	公共施設整備事業
-----	----------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
委託費	実施設計	式	1.00	253,000	253,000	
			小計		253,000	
			消費税及び地方税相当額		25,300	10%
			合計		278,300	

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	玉城町	新規・継続の別	新規
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	公共施設整備事業
-----	----------

7 の (1) . 写真

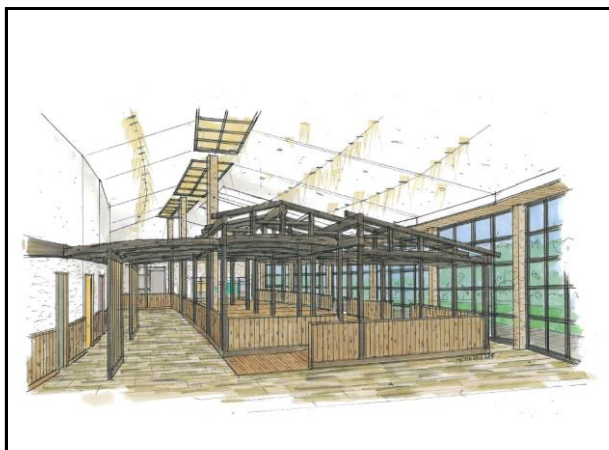


写真1

アスピア玉城の木質化イメージ図



写真2

写真2



写真3



写真4

写真3

写真4

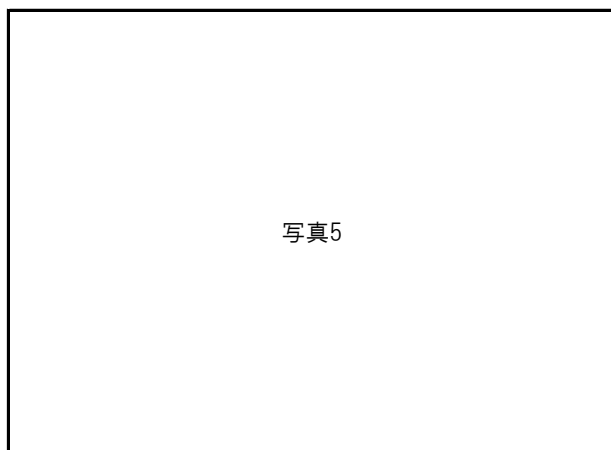


写真5



写真6

写真5

写真6

度会町

令和 3 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報 (平成30年度版三重県市町要覧による)

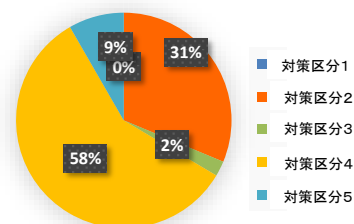
市町名	度会町	三重県
人口 (人)	7,950	1,782,190
年少人口割合 (%) * 1	11.6%	12.4%
森林面積 (ha)	11,410.44	372,352.55
民有林面積 (ha) * 2	11,410.44	348,833.49
森林率 (%)	85.0%	64.0%
都市公園面積 (㎡/人口) * 3	9.6	10.1

* 1 : 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2 : 国有林以外の森林 (個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。)

* 3 : 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和 3 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠・加算枠) 事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額 (円) (当年度交付金額 + 基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	危険木伐採事業	1,760,000	1,760,000		1,760,000				
2	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3,877,961	969,000		969,000				
3	3	森林環境教育推進事業	199,320	199,000			199,000			
4	4	県産材を活用した木製備品整備事業	5,095,200	5,072,000				5,072,000		
5	5	森と人が共存する環境づくり事業	726,000	726,000					726,000	
				0						
計			11,658,481	8,726,000	0	2,729,000	199,000	5,072,000	726,000	0

3. 令和 3 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (連携枠) (防災枠) 事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	31 ha	10,912,000	10,721,000	間伐
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業	0.1 ha	3,877,961	969,000	伐採施工、立木補償

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

<p>事業方針</p> <p>本町は、三重県の南東部に位置する内陸地であり、町の西から東に流れる宮川・南から北へ流れる一之瀬川沿いに集落が広がっている。総面積のうち山林が84.5%占めており、古くから人工林の整備が進められてきたが、近年の木材価格の低迷や林業後継者不足により、林業経営が厳しい状況下となっている。</p> <p>本県民税を財源に本町では、第7次度会町総合計画に定める「みらい わたらい わかち愛 ～想いはぐくみ、幸せつなぐまち～」の将来像を基盤に、地域材で木材製品を整備し、地域材の利用を促進するとともに、森林について「学ぶ場」と「ふれあう場」を提供する。また、近年の災害状況を踏まえ、道路・河川・ライフラインに関連した暮らしの安全を守る強靱なまちづくりをすすめる。</p>
<p>事業実施により期待される効果</p> <p>道路沿い等については住民に危害を与える恐れのある危険木を伐採し、河川沿いについては大雨時に下流へ倒木等が流出しないよう撤去し、防災・減災に努め、安全確保につながる。</p> <p>また小学校においては出前授業を行い、森林について学ぶ場・触れ合う場を提供することで、森や緑の大切さ、森づくりへの理解を深めることができる。</p> <p>備品を県産の木材製品で整備することで、木への親しみが深まり、木材の良さを知ってもらうことで、木材利用の促進・林業の活性化へつなげる。</p>
<p>情報発信への取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 町ホームページ及び町広報紙により取組みを周知。 森林環境教育推進事業については記者提供をおこない、出前授業の取り組みを中日新聞 (令和4年2月18日朝刊) へ掲載。 森と人が共存する環境づくり事業については記者提供をおこない、登山ポスト設置に関する取り組みを伊勢新聞 (令和4年4月10日朝刊) へ掲載。 庁舎内掲示板にて事業事例の紹介 現地に県民税ののぼり旗の設置 整備備品・登山ポストへの県民税ロゴマークの貼付

第 1 1 号様式 (その 1) (参考資料)

令和 3 年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税 (千円)
1	② 意向調査	5,576	5,576
2	⑰ 基金積立 (森林整備等)	20,133	20,133
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
	合計	25,709	25,709

【記載要領】

ア. 事業カテゴリーの欄は下記の項目から該当するものを選択し記載するものとする。

事業カテゴリーの項目
① 意向調査の準備作業
② 意向調査
③ 私有林整備
④ 公有林整備 (財産区有林含む)
⑤ 森林保護対策
⑥ 林道・林専道の整備等
⑦ その他 (森林整備)
⑧ 担い手確保
⑨ 林業就業者の育成
⑩ 専門員の雇用
⑪ 新たな組織の設立
⑫ その他 (人材育成等)
⑬ 木造公共建築物の整備等
⑭ 木質バイオマス利用推進
⑮ 森林・林業・木材普及活動等
⑯ その他 (木材・普及啓発関係)
⑰ 基金積立 (森林整備等)
⑱ 基金積立 (人材育成等)
⑲ 基金積立 (木材利用等)
⑳ 基金積立 (執行残額等)

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり			市町名	度会町	新規・継続の別	継続
番号	事業名						
1	危険木伐採事業						
事業費	1,760,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他		
			1,760,000				

1. 事業の目的							
伐採箇所は、生活道路として多くの住民が利用している道路に隣接した森林であり、暮らしに身近な森林として、防災・減災を図るために、危険木を伐採し、住民の安全を確保する。							
2. 事業実績概要							
【事業内容】							
町道川南線に近接する危険木の伐採を行った。							
【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】							
度会町							
【実施箇所及び箇所数】							
度会町立花地内 1 箇所							
【事業量】							
伐採面積 0.1ha							
伐採本数 106本							
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】							
【事業実施により期待される効果】							
当該道路を利用する住民の安全確保に繋がる。							
【効果を発揮させるための工夫・取組】							
庁舎内にて、事業の実施前・実施後の写真等を掲載し、事業効果を伝えた。							
【新たな対策・視点及び改善点】							
今年度までも道路沿いや公共施設沿いの危険木の伐採を行ってきたが、来年度は利用者が幅広く、より住民と密接に関わる機会のある公共施設周辺の伐採を行う。							

令和3年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	度会町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
1	危険木伐採事業					
事業費	1,760,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			1,760,000			
4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】						
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】						
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考		
委託事業	森林組合	補助事業ではない	-			
【委託先及び補助対象者等の選定理由】						
道路に隣接する危険木を伐採する業務であるが、作業範囲が狭く、電柱および電線が通っており、高度な伐採技術を要する業者から選定する必要がある。委託先は町近隣業者で、かつ入札指名業者の登録において、委託業務の「施設運営・管理－道路維持・管理」の項目に登録されている業者であるため。						
【主な経費内訳】						
(別紙のとおり)						
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】						
【受益者及び、期待する波及効果】						
受益者	町道川南線利用者： 200人/日					
期待する波及効果	現場にあるNTT線の寸断を未然に防ぎ、回線を利用する住民の通信サービス確保につながる。					
【公的関与の必要性】						
生活道路などに近接している危険木伐採を町が実施することにより、生活道路を利用する住民の安全を確保することができる。						
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】						
実施個所については転用される見込みはなく、所有者や自治会で適切に管理を行ってもらう。						
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】						
【情報発信の内容】						
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）				
HP掲載	実施前	年度当初に実施する事業を町HPにて掲載した。				
広報誌掲載	実施後	事業の内容を町広報に掲載した。				
その他	実施後	庁舎内において事業の概要、実施前・実施後の写真掲載した。				
7. 写真及びその他資料						
別紙のとおり						
8. その他特記事項（受益者の反応等）						

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	危険木伐採事業
-----	---------

7の(1). 写真



写真1

町道川南線① 実施前



写真2

町道川南線① 実施後



写真3

町道川南線② 実施後



写真4

町道川南線② 実施後



写真5

町道川南線③ 実施後



写真6

事業紹介

Web表示確認

[1696]：みえ森と緑の県民税を活用した取り組み

読み上げ順を確認する

スマートフォン表示確認

閉じる



ふるさとを生きし
清流と緑と笑顔が輝くまち！

本文へ

お問い合わせ

サイトマップ

文字サイズ 小 中 大

サイト内検索

ホーム

町の概要

町政情報

暮らしのガイド

防災情報

各課の窓口

ホーム 各課の窓口 農林係 林業振興

みえ森と緑の県民税を活用した取り組み

[2019年4月5日] ID:1696

ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます

シェア

ツイート

みえ森と緑の県民税市町交付金事業

「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるため、平成26年4月1日にみえ森と緑の県民税が導入されました。

みえ森と緑の県民税市町交付金事業では、この税を活用し、県内各市町が「2つの基本方針」と「5つの対策」に沿って、さまざまな事業を実施しています。

【基本方針1】 災害に強い森林づくり

- ・対策1 「土砂や流木を出さない森林づくり」
- ・対策2 「暮らしに身近な森林づくり」

【基本方針2】 県民全体で森林を支える社会づくり

- ・対策3 「森を育む人づくり」
- ・対策4 「森と人をつなぐ学びの場づくり」
- ・対策5 「地域の身近な水や緑の環境づくり」

詳しくは三重県ホームページを参照ください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/SHINRIN/HP/mori/74681015390.htm>

令和3年度実施予定事業（令和3年5月20日現在）

- ・危険木伐採事業
- ・災害からライフラインを守る事前伐採事業
- ・森林環境教育推進事業
- ・県産材を活用した木製備品整備事業
- ・森と人が共存する環境づくり事業

※予定事業は変更する場合があります。



ご意見をお聞かせください

このページは役に立ちましたか？

役に立った どちらともいえない 役に立たなかった

このページは見つけやすかったですか？

見つけやすかった まあまあ見つけやすかった どちらともいえない やや見つけにくかった 見つけにくかった

このページに関してのご意見がありましたらご記入ください。

(注意) お答えが必要なお問合せは、直接担当部署へお願いいたします（こちらではお受けできません）。

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	度会町	新規・継 続の別	新規
番号	事業名					
2	災害からライフラインを守る事前伐採事業					
事業費	3,877,961 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			969,000	1,961	2,907,000	

1. 事業の目的	
台風などの倒木被害によりラインラインを寸断する恐れのある、危険木の事前伐採を行い、災害に強い森林づくりに努める。	
2. 事業実績概要	
【事業内容】 台風などの倒木被害によりライフラインを寸断する恐れのある危険木の事前伐採を行った。	
【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】 度会町	
【実施個所及び箇所数】 1箇所 (和井野地区)	
【事業量】 伐採本数 364本	
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】	
【事業実施により期待される効果】 当該地区のライフラインを活用する住民の安全確保に繋がる。	
【効果を発揮させるための工夫・取組】 庁舎内にて、事業の実施前・実施後の写真等を掲載し、事業効果を伝えた。	
【新たな対策・視点及び改善点】 事業実施のノウハウを生かし、事業量の拡大を行う。	

令和3年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	度会町	新規・継続の別	新規
番号	事業名					
2	災害からライフラインを守る事前伐採事業					
事業費	3,877,961 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			969,000	1,961	2,907,000	

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	森林組合	補助事業ではない	-	

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

当業務は、対象となる森林所有者への協力を得るための信頼関係が不可欠であるため、業務への熟知が要求される。委託先は他市町での実績・三重県からの情報提供により、当業務を熟知しているため。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	一之瀬地区および小川郷地区 1,405人(R4.3月末現在)
期待する波及効果	林道利用者の安全確保につながる。

【公的関与の必要性】

当業務は、令和2年度より新規事業として開始された、三重県・中部電力・市町の三者が連携した事業である。危険木の事前伐採を町が実施することにより、災害に強い森林づくりができる。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

実施箇所については転用される見込みはなく、所有者や自治会で適切に管理を行ってもらう。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施前	年度当初に実施する事業を町HPにて掲載した。
広報誌掲載	実施後	事業の内容を町広報に掲載した。
その他	実施後	庁舎内において事業の概要、実施前・実施後の写真を掲載した。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	新規
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	災害からライフラインを守る事前伐採事業
-----	---------------------

7の(1). 写真

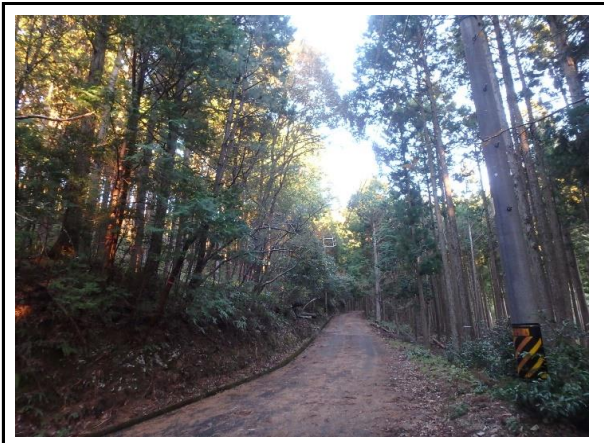


写真1

和井野地区(施工前①)



写真2

和井野地区(施工後①)

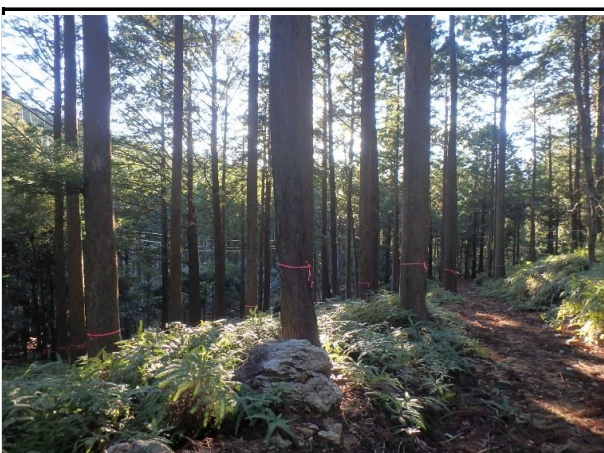


写真3

和井野地区(施工前②)



写真4

和井野地区(施工後②)



写真5

和井野地区(施工後③)



写真6

事業紹介

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	度会町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
3	森林環境教育推進事業					
事業費	199,320 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			199,000	320		

1. 事業の目的

町や山林のみらいを担う子供たちの森林・林業への関心を高め、森林の機能・緑の大切さについての理解を深める。

2. 事業実績概要

【事業内容】

小学3年生を対象に森林・林業に関する出前授業を実施。
2クラス2限ずつ実施し、前半は森の先生による講義、後半は木を使ったキーホルダー作りを実施。

【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】

度会町

【実施個所及び箇所数】

1箇所 (度会小学校)

【事業量】

4回 (2クラス2限ずつ)

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

森林・林業に関する授業を行うことで、森や緑の大切さ、森づくりへの理解を深めることができる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

講師による森の授業および木工体験を行い、森林・林業を伝えた。

【新たな対策・視点及び改善点】

従来は小学3年生のみを対象としていたが、来年度は年長児も対象とし、幼児期から学童期まで断続的に森や緑について、理解を深める。

令和3年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	度会町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
3	森林環境教育推進事業					
事業費	199,320 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			199,000	320		

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】				
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】				
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	森林組合	補助事業ではない	-	
【委託先及び補助対象者等の選定理由】				
森林組合が実施することで、専門的な知見から適切な教育を実施できるため。				
【主な経費内訳】				
(別紙のとおり)				
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】				
【受益者及び、期待する波及効果】				
受益者	受講者 53人(令和3年度 小学3年生)			
期待する波及効果	生徒が自宅で授業内容を家族に伝えることで、家族にも森林の大切さを知ってもらえる。			
【公的関与の必要性】				
公が実施することにより、住民・関係団体・事業者との架け橋になれる。				
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】				
施設整備等ではなく、該当しない。				
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】				
【情報発信の内容】				
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）		
HP掲載	実施前	年度当初に実施する事業を町HPにて掲載した。		
広報誌掲載	実施後	事業の内容を町広報に掲載した。		
のぼり設置	実施中	実施中の教室内に県民税ののぼり旗をたて、県民税で事業を実施していることをアピールした。		
その他	実施後	2月18日の中日新聞で記事として掲載した。		
7. 写真及びその他資料				
別紙のとおり				
8. その他特記事項（受益者の反応等）				

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	度会町
事業名	森林環境教育推進事業		

4. 効率性：主な経費内訳

度会小学校

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
講師料		限	2.00	18,000	36,000	
準備費		式	1.00	48,000	48,000	
資材費		式	1.00	67,000	67,000	
管理費					30,200	
		小計			181,200	
		消費税及び地方税相当額			18,120	10% (報償費を除く)
		合計			199,320	

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境教育推進事業
-----	------------

7の(1). 写真



写真1

実施状況①



写真2

実施状況②



写真3

実施状況③



写真4

実施状況④



写真5

実施状況⑤



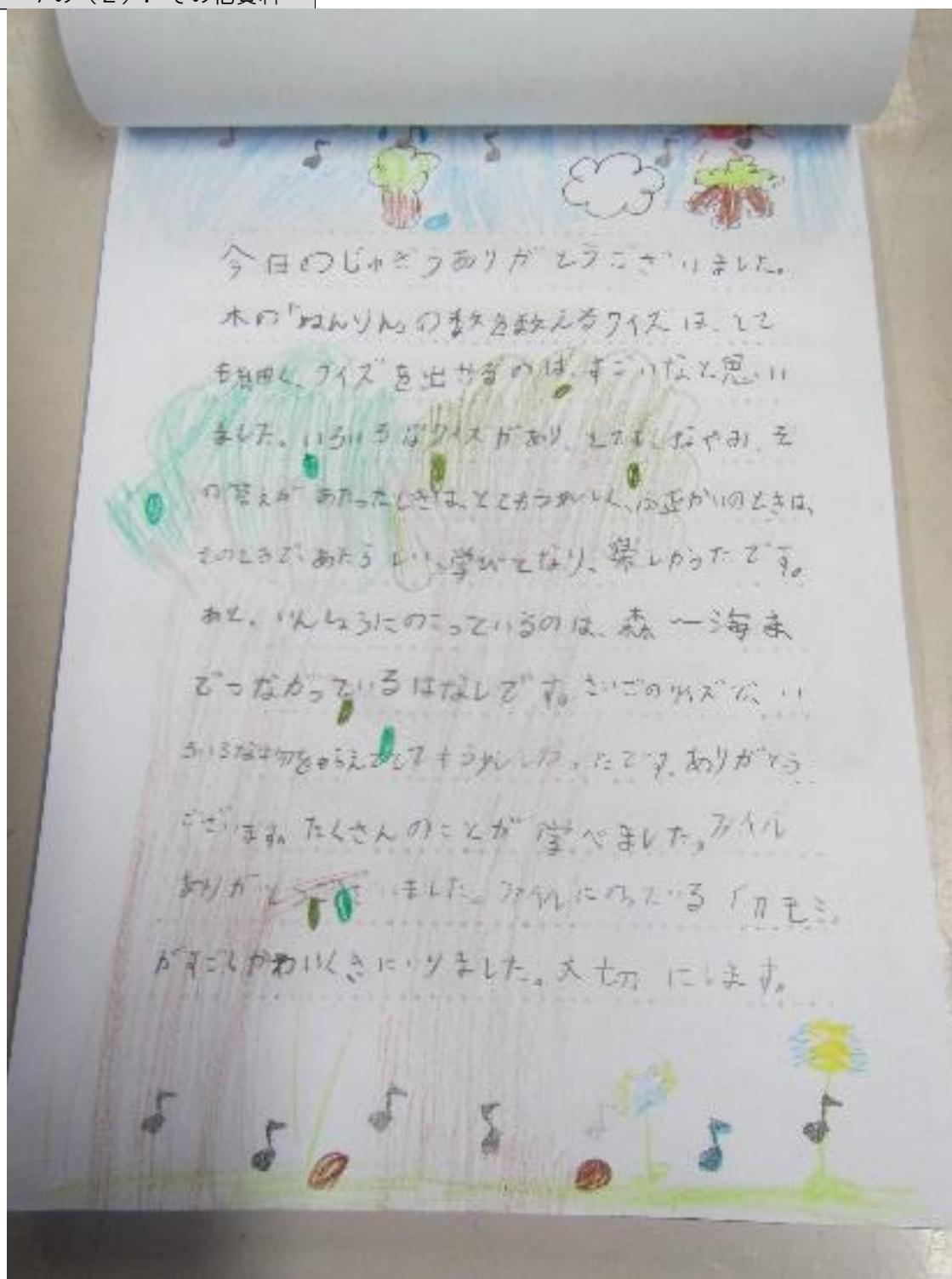
写真6

学校だより(度会小だより第22号)

第11号様式 (その2) (評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
事業名	森林環境教育推進事業				

7の(2). その他資料



○事業効果の内容が分かる書類
 説明 生徒の授業の感想分



皇學館大学
大学生
体験取材
(取材:令和3年12月)

伊勢市 玉城町 度会町

伊勢市消防本部管内 合同特集



いつも心に

火の用心



2/17 木と触れ合い、木に学び、木と生きる 森林環境教育

2月17日、度会小学校3年生を対象に、いせしま森林組合の職員を講師に招き、森林環境教育の出前授業を行いました。

この取り組みは、町の自然や林業に関心を持つづくりを目的に、『みえ森と緑の県民税』を活用した事業です。講義では、森林の光合成が二酸化炭素の削減に貢献していることや、大雨による災害を防止していることなど「自然との共存」について説明を聞くとともに、丸太の年輪を数えたり、木の葉の香りを確かめたりするなど、木の生命に触れる時間が設けられました。

この後、スギ・ヒノキ・サクラの木片を使ったオリジナルのキーホルダー作りを体験。やすりで磨いた表面に、お気に入りの絵や言葉を書き入れ、出来栄を披露しました。

児童たちは、「森の役割を知ることができて良かった」「木の葉から新しい家の匂いがした」「キーホルダー作りが楽しかった」と感想を話してくれました。



年輪を確認



木片に絵を描く子どもたち



クイズの答えは



森林組合からプレゼント



完成したキーホルダー

- 令和3年度
みえ森と緑の県民税市町交付金事業一覧**
- ・森林環境教育
 - ・危険木伐採
 - ・災害からライフラインを守る事前伐採
 - ・県産材を活用した木製備品整備
 - ・森と人が共存する環境づくり



報告会の様子



2/21 専門家の視点からアドバイス 経営支援事業報告会を開催

2月21日、経営診断を行い、課題を把握するとともに改善策を提案する『経営支援事業報告会』が度会町商工会会議室で開催されました。

この報告会は、三重県信用保証協会が経営支援の一環として行う「専門家派遣事業」を活用し、町内事業者の「お菓子のじかん RUCIEN」が、販売力の強化などを図るとともに、関係機関との連携を深めることを目的として実施されました。

専門家と保証協会担当者6名がチームを組み、開店前にミーティングを取り入れることや店内のレイアウト、商品の陳列方法など具体的な改善案を、根拠となるデータを基に提案がなされました。

店主の西川真衣さんは、「自分の考えとスタッフの意見をしっかりと共有し、出来ることから実施していきたい」と今後の運営に対する気持ちを述べられました。

1/15 16 度会イーグルス優勝 門野宮生杯ソフトボール大会

1月15日と16日の両日、『第5回門野宮生杯争奪度会ソフトボール大会』が度会中学校グラウンドなどを会場に開催されました。

度会イーグルスは、トーナメント戦を勝ち上がり、決勝で西が丘スポーツ少年団（津市）と対戦しました。息詰まる投手戦の末、決勝打によるサヨナラ勝ちを収め、優勝を飾りました。



優勝盾を手に記念撮影



本塁のクロスプレー

大会結果

- 優勝 度会イーグルス（度会町）
- 準優勝 西が丘スポーツ少年団（津市）
- 3位 下御糸スポーツ少年団（明和町）
- 4位 豊地ソフトボールスポーツ少年団（松阪市）

おめでとうございます



1/15 オンラインでプロのシェフと料理を作る サニーロード周遊シリーズ度会町編を開催

1月15日、『サニーロード周遊シリーズ オンラインツアー』が役場栄養指導室で開催されました。

この取り組みは、調理場と自宅のキッチンオンラインをつなぎ、サニーロード沿い3町（度会町、南伊勢町、玉城町）のグルメや観光地をPRすることを目的として企画しました。

プロのシェフから教わるスペシャルメニューでは、伊勢茶をはじめとする特産品や調味料を事前に宅配し、ZOOMライブ配信で調理方法を伝授。

さらに、宮リバー度会パークやわたらいセブンマウンテンなどの観光地を中継所から紹介するコーナーを設け、度会町の魅力を存分にお届けしました。



やわらか大根のスープを盛り付け

2/12 郷土の伝統をつなぐ 棚橋でお頭神事

2月12日、棚橋コミュニティセンターで、県の無形民俗文化財に指定されている伝統行事『棚橋お頭神事』が行われました。

今年は、新型コロナウイルス感染症の対策を取りながら、規模を縮小し、関係者のみでの実施となりました。

獅子が舞う「座敷舞」や天狗と向かい合い獅子が力強く勇壮に舞う「夜の舞」などを披露し、悪霊退散や家内安全を祈願しました。



棚橋お頭神事

「薬高の甲子園」優秀賞

同品開発発表

▽全国大会で、伊勢市の明野高校が、初出場ながら優



左鈴木市長（後列右）
従って伊勢市役所で

秀賞を受賞した。十四日、同市の鈴木健一市長に報告した。

同大会は昨年十月下旬、兵庫県内の各地で開かれた。グループで自校の取り組みを紹介する「プロジェクト発表会」と個人で学習の成果を聴衆に伝える「個人発表会」の二部門で、県大会と、愛知、岐阜両県を加えた東海ブロック大会で最優秀賞を獲得した同校は、全国に出場。九プロックの代表の中から、最優秀賞に次ぐ、優秀賞三発表の一つに選ばれた。

プロジェクト発表会では、豚を飼育している生産科学科畜産専攻の九人が、地元企業と協力した食品製造副産物の飼料化の研究について発表。個人発表会では、食品科学科三年の若林美吹さん（心）が、大手コンビニ二つのコラボ商品開発による伊勢茶の知名度向上の取り組みなどについて語った。

畜産専攻の三年木内昭吾さん（心）は「先輩から受け

継いだ研究で全国に行けた。今回は優秀賞だったが、後輩は研究を進め、最優秀賞をとってほしい」と話した。若林さんは「選ばれると思っていなかったのでもうれしかった。農業とは関係のない分野に進むが、発表を通じて人に伝える力を身に付けられた」と振り返った。

（高橋信）

実際に木の枝葉にふれながらクイズの正解を考える子どもたち＝度会町度会小で



身近な山の理解深めて

掛けられていたブルーシートが外され、大きなマンボウが姿を現した。繊維強化プラスチック（FRP）製のモノユメントで高さ、幅ともに三・三メートル。日本でも獲された最大級のマンボウとほぼ同じ大きさで設計されている。新型コロナウィルスの影響で除幕式などはなかったが、尾上寿一町長



芝生広場に設置されたマンボウのモノユメント＝紀北町の道の駅「紀伊長島マンボウ」で

度会小でいせしま森林組合員が授業

度会町の度会小学校で十七日、子どもたちに山を身近に感じてもらう特別授業があった。三年生五十二人がクラスごとにいせしま森林組合員から森林や樹木について話を聞き、木材でキーホルダーを作った。

森林や林業への関心を深めようと、山間部の多い同町が二〇二〇年から実施している。いせしま森林組合の西岡創史さん（心）が、林業の仕事の映像を見せながら「森林はいろんな生きものと関わって生活を守っている」と説明した。

クイズの時間には、数人のグループに分かれ、切り株の年輪を数えて樹齢を推測したり、渡された木片と三種の枝葉から正しい組み合わせを探したりした。子どもたちは真剣に葉の匂いをかいだり、枝の色を観察したりして正解を探した。

岡村菜々美さん（心）は「川や海がきれいなのは、山がきれいにしてきているからだと分かった。クイズは難しかったけど楽しかった」と話した。

（鈴木沙弥）

ふりや本店
光倫会館
心をつなぐ
家族葬
「心の会」会員様 募集中
四日市光倫会館（桜・富田）
☎0120-114248
津光倫会館
☎0120-248317

れた。「三重県紀北町 道の駅 紀伊長島マンボウ」と表記された新たな看板も立てられた。道の駅で接客

2、21Eの放送
御園第 保・御園第二 保・中島 とも園・佐八保
▽放送時間 前7、後の10、30 日曜はその週の再放送
◎「いせトビ」(15分) 祭りや出来事、様々なイベントを放送
▽放送時間 前6、8、2、6、8 ほか毎週月、後6更新。

おめでた

【出生】◇伊勢市、合、榎本一優（いちや）

遠洋漁船

- 17日・静岡 鹿児島県 のホムヘン（よ） 20
- 〈磯浦〉 81海王 23海
- 1回目操業中
- 〈和具〉 27徳吉丸 鹿児島に
- 丸入港中【安市丸】明日港に入る
- 17徳栄丸
- 〈尾鷲〉 良栄丸 帰港中
- 良栄丸
- 〈三木浦〉 1長 9回目
- 長久丸 入港中【2長久丸】長久丸 2288回目操業中
- 操業中【27長久丸】航行中 調査中
- 〈引本〉 調隆丸
- 〈長島〉 18金栄 11勇喜
- 5裕幸丸 13時長島発
- 丸入港中【光栄丸】入港
- 入港中【18清福丸】入港中

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	新規
番号	事業名				
4	県産材を活用した木製備品整備事業				
事業費	5,095,200 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			5,072,000	23,200	

1. 事業の目的					
保育所・小学校・庁舎の備品を、県産材木材製品で整備することで、木の温もりを身をもって感じ、森林・林業について理解を深め、木とふれあい、学ぶ場づくりを進める。					
2. 事業実績概要					
【事業内容】 保育所・小学校・庁舎の備品を、県産材木材製品で整備する。					
【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】 度会町					
【実施個所及び箇所数】 5箇所 (棚橋保育所・長原保育所・中之郷保育所・度会小学校・度会町役場庁舎)					
【事業量】 園児テーブル35台 園児いす70脚 絵本棚3台 (棚橋保育所・長原保育所・中之郷保育所) テーブル8台 本棚2台 (度会小学校) 案内掲示板 2基 (度会町役場庁舎)					
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】					
【事業実施により期待される効果】 木への親しみが深まり、木材の良さを知ってもらうことにより、木材利用の促進・林業の活性化へつなげる。					
【効果を発揮させるための工夫・取組】 事業の内容について写真等を使い、庁舎内に掲示した。また、度会小学校生徒に対して森林環境教育を実施して森林の機能・緑の大切さについて理解を深めてもらった。					
【新たな対策・視点及び改善点】 従来、木製でない椅子や机を県産材を活用した製品で整備することで木材とふれあう場を提供する。					

令和3年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	新規
番号	事業名				
4	県産材を活用した木製備品整備事業				
事業費	5,095,200 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			5,072,000	23,200	
4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】					
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】					
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考	
委託事業	森林組合	補助事業ではない	-		
【委託先及び補助対象者等の選定理由】					
委託先は林業の業務に長年携わっている専門業者であり、三重県産の木材を調達・作成・加工ができる適切な事業者であると考えられるため。					
【主な経費内訳】 (別紙のとおり)					
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】					
【受益者及び、期待する波及効果】					
受益者	保育所合計 園児234人(R2現在) 保育士47人(R2現在) 度会小学校 生徒362人(R3見込数) 教員32人(R2現在) 役場来庁見込人数 約40,000人				
期待する波及効果	保護者にも木材の良さを知ってもらえることができる。				
【公的関与の必要性】					
公が県産材を使用し、木製備品を整備することで、多くの住民に木材の良さを知ってもらい、木材利用の促進へつなげる。					
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】					
各施設で適切に管理を行ってもらう。					
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】					
【情報発信の内容】					
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）			
HP掲載	実施前	年度当初に実施する事業を町HPにて掲載した。			
広報誌掲載	実施後	事業の内容を町広報に掲載した。			
ロゴマーク掲示	実施中・後	木材製品に県民税のロゴシールを張り、県民税で備品整備を行ったことを			
学校だより等掲	実施後	事業の内容を学校だより等で掲載した。			
7. 写真及びその他資料					
別紙のとおり					
8. その他特記事項（受益者の反応等）					

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	度会町
------	-------------------	-----	-----

事業名	県産材を活用した木製備品整備事業
-----	------------------

4. 効率性：主な経費内訳

保育所 (棚橋保育所・長原保育所・中之郷保育所)

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
園児テーブル		台	35.00	55,000	1,925,000	W900×D450×H510
園児いす		脚	70.00	14,500	1,015,000	W369×D376×H485 Sh280
絵本棚		台	3.00	98,000	294,000	W900×D400×H900
					0	
					0	
小計					3,234,000	
消費税及び地方税相当額					323,400	10% (報償費を除く)
合計					3,557,400	

度会小学校

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
会議テーブル (幕板付き)		台	8.00	106,000	848,000	W1800×D450×H700
本棚		台	2.00	178,000	356,000	W1950×D400×H800
					0	
小計					1,204,000	
消費税及び地方税相当額					120,400	10% (報償費を除く)
合計					1,324,400	

度会町役場

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
案内掲示板 (キャスター付き)		基	2.00	97,000	194,000	W635×D400×H1400
小計					194,000	
消費税及び地方税相当額					19,400	10% (報償費を除く)
合計					213,400	

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	新規
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	県産材を活用した木製備品整備事業
-----	------------------

7の(1). 写真



写
・
す

写真1
保育所①(棚橋保育所)



写真2
保育所②(長原保育所)



写真3
保育所③(中之郷保育所)机と椅子の使用風景



写真4
保育所④(棚橋保育所)机と椅子の使用風景



写真5
小学校 書棚購入



写真6
庁舎 案内掲示板

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	新規
番号	事業名				
5	森と人が共存する環境づくり事業				
事業費	726,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			726,000		

1. 事業の目的					
町内には標高200m~700mの山々が存在し、登山初心者から登山愛好家まで多くの方々に親しまれている。登山ポストを設置し、入込客数を把握することで、利用者がより安心して登山道を利用できる環境づくりへとつなげていく。					
2. 事業実績概要					
【事業内容】 町内の山の中でも人気ある獅子ヶ岳の、登山口3箇所に登山ポストを設置する。					
【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】 度会町					
【実施個所及び箇所数】 3箇所 (獅子ヶ岳登山口3箇所)					
【事業量】 登山ポスト設置 3基					
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】					
【事業実施により期待される効果】 入込客数を把握することで、利用者がより安心して登山道を利用できる環境づくりへとつなげていく。					
【効果を発揮させるための工夫・取組】 登山ポスト設置箇所ですべてのアンケート調査等を行い、登山客に対して、事業の内容・趣旨について理解してもらいながら、事業を実施していく。					
【新たな対策・視点及び改善点】 今回、新たに登山者に対してスポットをあて、声を聞く場を整備した。今後は登山者の声をもとに登山道の整備なども考えていきたい。					

令和3年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	新規
番号	事業名				
5	森と人が共存する環境づくり事業				
事業費	726,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			726,000		
4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】					
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】					
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考	
委託事業	森林組合	補助事業ではない	-		
【委託先及び補助対象者等の選定理由】					
委託先は林業の業務に長年携わっている専門業者であり、三重県産の木材を調達・作成・加工ができる適切な事業者であると考えられるため。					
【主な経費内訳】					
(別紙のとおり)					
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】					
【受益者及び、期待する波及効果】					
受益者	獅子ヶ岳登頂者約2,000人/年				
期待する波及効果	新聞などのマスメディアに提供することで、より多くの人に取り組み内容を知ってもらう。				
【公的関与の必要性】					
登山者の声および入込客数を把握することで、公が主となって、今後の登山道の在り方について整備することができる。					
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】					
町職員で定期的に見回り、アンケートの回収を行う。					
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】					
【情報発信の内容】					
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）			
HP掲載	実施前	年度当初に実施する事業を町HPにて掲載する			
広報誌掲載	実施後	事業の内容を町広報に掲載する			
アンケート実施	実施後	県民税についてのアンケートなどを行う			
その他	実施後	4月10日の伊勢新聞へ記事として掲載。			
ロゴマーク掲示	実施中・後	登山ポストに県民税の県民税のロゴシールを張り、県民税で設置を行ったことを情報発信した。			
のぼり設置	実施中・後	実施中と実施後に県民税ののぼり旗をたて、県民税で事業を実施していることを周知した。			
7. 写真及びその他資料					
別紙のとおり					
8. その他特記事項（受益者の反応等）					

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	度会町	新規・継続の別
------	--------------------	-----	-----	---------

事業名	森と人が共存する環境づくり事業
-----	-----------------

7の(1). 写真



写真1

獅子ヶ岳登山口(日の出の森ルート設置前)



写真2

獅子ヶ岳登山口(日の出の森ルート設置後)



写真3

獅子ヶ谷登山口(注連指ルート設置前)



写真4

獅子ヶ谷登山口(注連指ルート作業中のぼり旗)



写真5

獅子ヶ谷登山口(注連指ルート完成のぼり旗)



写真6

獅子ヶ谷登山口(小萩ルート)

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	新規
------	--------------------	-----	-----	---------	----

事業名	森と人が共存する環境づくり事業
-----	-----------------

7の(2). その他資料

獅子ヶ岳に登山ポスト

救助活動や観光に活用

度会町 県産スギとヒノキで作製

【度会町】度会町はこのほど、町内有数の登山スポット「獅子ヶ岳」の登山口三カ所に登山ポストを設置した。ポストには山行ルートや装備品、緊急連絡先などを記入する登山届や入り込み客数を調査する二つのカウンターを備え付け、有事の際の迅速な救助活動や今後の観光事業に活用していく。

同町は豊かな自然を生かしたアクティビティに力を入れていて、登山もその中

【度会町】度会町はこのほど、標高が七百三十三メートルの獅子ヶ岳は、伊勢湾や風車などを望む大パノラマの絶景が魅力で、低山ハイキングを楽しむ人が多い。今回は「みえ森と緑の県民税」を活用し、県産のスギとヒノキを使って高さ約一・五メートル、幅九十センチ、奥行き八十四センチの登山ポストを三個作製。山頂までの三つのコース「目の出の森ルート」「小萩ルート」「注連指ルート」の登山口三カ所に設置した。事業費は七十二万六千円。町産業振興課の玉村憲也さん(三十九)は「皆さんに活用してもらい、安全に登山を楽しんでもらえれば、これからの町の観光振興にも役立てていきたい」と話した。(橋本綾)

入り込み客数を調査するために登山ポストに備え付けた2つのカウンター(度会町提供)

獅子ヶ岳の登山口三カ所に設置された登山ポスト(度会町提供)

の原風景を描く作品展「示」

本展は、原田さんの絵画を布と糸で表現するコンクール「第一回絵画キルト大賞」で優秀賞を受賞した「しし舞」や、移動販売車での買い物を終えた客が夕暮れを歩く様子を描いた「小さなスーパ―」などを紹介。この方を持たないといけない。ひかけた。

勢町田辺の哲学舎という名の美術館で展示されている。

東京都清瀬市のキルト作

の原風景を描く作品展「示」

本展は、原田さんの絵画を布と糸で表現するコンクール「第一回絵画キルト大賞」で優秀賞を受賞した「しし舞」や、移動販売車での買い物を終えた客が夕暮れを歩く様子を描いた「小さなスーパ―」などを紹介。この方を持たないといけない。ひかけた。

○情報発信に関する追加資料

説明：令和4年4月10日の伊勢新聞掲載の記事。

大紀町

令和 3 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報 (平成30年度版三重県市町要覧による)

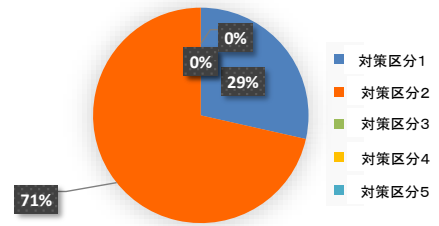
市町名	大紀町	三重県
人口 (人)	8,068	1,782,190
年少人口割合 (%) * 1	7.8%	12.4%
森林面積 (ha)	21,131.83	372,352.55
民有林面積 (ha) * 2	20,406.17	348,833.49
森林率 (%)	91.0%	64.0%
都市公園面積 (㎡/人口) * 3	13.2	10.1

* 1 : 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2 : 国有林以外の森林 (個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。)

* 3 : 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和 3 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠・加算枠) 事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額 (円) (当年度交付金額 + 基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	生活環境林整備事業	3,541,000	3,541,000		3,541,000				
2	1	溪流倒木等処理事業	1,413,000	1,413,000	1,413,000					
3		みえ森と緑の県民税市町交付金積立事業	6,373,000	0						6,373,000
計			11,327,000	4,954,000	1,413,000	3,541,000	0	0	0	6,373,000

3. 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (連携枠) (防災枠) 事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充当額 (円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	10.27	7,200,600	7,200,000	間伐等(災害緩衝林一体型)
森林再生力強化対策事業	356	214,942	214,000	植栽タイプ
災害からライフラインを守る事前伐採事業	0	0	0	

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	大紀町は、大台山系に連なる山岳地帯に属しており急峻な地形で、本町面積 2 3, 3 3 2 haのうち森林面積が 2 1, 1 3 3 haとなっており、9 1 %占めている。そのうち 1 3, 9 0 0 haと人工林率は 6 8 %に達しており、人工林地帯である。本町では、基本方針 1 の「災害に強い森林づくり」を強力に進める為、生活環境林整備事業と溪流倒木等 処理事業を実施し、町民生活の安全安心を向上させていく。また、非常時における森林内の危険木流出による被害拡大を軽減させる為、河川の上流部に位置する大紀町としての役割を果たすことで、県民全体の安全安心に繋げていく。水道水源林において、自主的な間伐を促進し、安心・安全な水道水の確保する為に、水道水源林の町有林化を行っていく。
事業実施により期待される効果	事業実施により、通常時、住民が利用する生活道路や、生活に直結している人家への安全性が向上したことで、非常時における避難や、被害拡大防止の観点からも、住民の安全安心を向上する。
情報発信への取組	事業実施について、森林所有者や地区代表者に税事業での実施を説明している。 事業実施中は、県民税職を事業箇所を立て、県民税での事業実施をPRしている。 事業完了後、当年行った事業においてPRポスターを製作し、庁舎掲示及び大紀町HPにアップし 税事業のPRを行う。

第 11 号様式 (その 1) (参考資料)

令和 3 年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税 (千円)
1	④ 公有林整備 (財産区有林含む)	799	798
2	⑨ 林業就業者の育成	810	810
3	⑧ 担い手確保	190	190
4	⑫ その他 (人材育成等)	2,290	2,290
5	⑦ その他 (森林整備)	1,856	1,844
6	③ 私有林整備	21,316	21,189
7	⑬ 木造公共建築物の整備等	75,836	2,000
8	⑳ 基金積立 (執行残額等)	16,721	16,721
9			
10			
	合計	119,818	45,842

【記載要領】

ア. 事業カテゴリーの欄は下記の項目から該当するものを選択し記載するものとする。

事業カテゴリーの項目
① 意向調査の準備作業
② 意向調査
③ 私有林整備
④ 公有林整備 (財産区有林含む)
⑤ 森林保護対策
⑥ 林道・林専道の整備等
⑦ その他 (森林整備)
⑧ 担い手確保
⑨ 林業就業者の育成
⑩ 専門員の雇用
⑪ 新たな組織の設立
⑫ その他 (人材育成等)
⑬ 木造公共建築物の整備等
⑭ 木質バイオマス利用推進
⑮ 森林・林業・木材普及活動等
⑯ その他 (木材・普及啓発関係)
⑰ 基金積立 (森林整備等)
⑱ 基金積立 (人材育成等)
⑲ 基金積立 (木材利用等)
⑳ 基金積立 (執行残額等)

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	大紀町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
1	生活環境林整備事業					
事業費	3,555,200 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			3,541,000	0	14,200	

1. 事業の目的	
公共施設や生活道路 (通学路等) 沿い及び人家裏等の倒木の恐れのある危険木を除去し、通常の暮らしの安全を図る。	
2. 事業実績概要	
【事業内容】	
公共施設や生活道路 (通学路等) 沿い及び人家裏等の倒木の恐れのある危険木を除去する。	
【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】	
大紀町	
【実施個所及び箇所数】	
9箇所	
【事業量】	
危険木伐採	
野原久保地区: 20本、木屋竹利地区: 10本、永会八ヶ河内地区: 2本、滝原下沖地区: 7本、三瀬川久保海堂地区: 5本、大内山西ノ野唐子口地区: 20本、錦里地区: 10本、錦姫坂越地区: 40本、錦船附地区: 15本 合計N=129本	
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】	
【事業実施により期待される効果】	
倒木等の恐れがある危険木を除去することにより、道路等施設利用者の暮らしの安全の向上が期待できる。また、台風等の非常時における通行止めのリスクを下げ、住民避難の安全性を向上できる。	
【効果を発揮させるための工夫・取組】	
地区住民の要望により実施しているが、特に危険度が高く緊急を要する箇所から、その中でも公共性の高く、波及効果の高い場所を優先しながら計画的に実施している。	
【新たな対策・視点及び改善点】	
当初からの継続事業で、地域住民からの要望も多く、今後も計画的に事業を行っていく。	

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	大紀町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
1	生活環境林整備事業					
事業費	3,555,200 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			3,541,000	0	14,200	

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】				
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】				
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	森林組合	補助事業ではない	—	
【委託先及び補助対象者等の選定理由】				
現場及び事業に精通した大紀森林組合を選定				
【主な経費内訳】 (別紙のとおり)				
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】				
【受益者及び、期待する波及効果】				
受益者	452戸			
期待する波及効果	地区住民だけでなく、不特定多数の受益が見込まれる。			
【公的関与の必要性】				
森林所有者による整備が困難な為、町による緊急性の高い箇所を整備する必要がある。				
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】				
森林所有者に、税事業での実施を説明する際に、その他目的に転用しないよう説明する。				
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】				
【情報発信の内容】				
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）		
のぼり設置	実施中	施工中にノボリを設置し、県民税での実施を周知する。		
ポスター掲示	実施後	当該年度実績を庁舎内に掲示、県民税事業での実施を周知する。		
HP掲載	実施後	当該年度実績を大紀町HPに掲載し、県民税事業での実施を周知する。		
7. 写真及びその他資料				
別紙のとおり				
8. その他特記事項（受益者の反応等）				
地区住民代表者への聞き取りによると、地域の安全性が向上し喜んでいる。				

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	大紀町
事業名	生活環境林整備事業		

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
危険木伐採						
野原・久保地区	高所作業車 グラップル使用	本	20.00	43,100	862,000	道路沿い,平地 交通誘導@配置
木屋・竹利地区	人力	本	10.00	11,200	112,000	道路沿い,斜面
永会・八ヶ河内地区	人力、特殊伐採	本	2.00	42,500	85,000	道路沿い,斜面
滝原・下沖地区	高所作業車 グラップル使用	本	7.00	85,714	600,000	道路沿い,平地
三瀬川、久保街道地区	人力、特殊伐採	本	5.00	12,800	64,000	道路沿い,平地
大内山・西ノ野唐子口地区	高所作業車使用	本	20.00	25,050	501,000	道路沿い,平地
錦・里地区	人力	本	10.00	21,100	211,000	人家裏,斜面
錦・姫坂越地区	高所作業車 グラップル使用	本	40.00	14,875	595,000	人家裏・避難路沿い 斜面
錦・船附地区	高所作業車使用	本	15.00	13,467	202,000	道路沿い,平地
			小計		3,232,000	
			消費税及び地方税相当額		323,200	10%
			合計		3,555,200	

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	大紀町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	生活環境林整備事業
-----	-----------

7 の (1) . 写真



写真1
大紀町野原久保地区
生活道路に隣接する危険木



写真2
大紀町野原久保地区
生活道路に隣接する危険木 (枯れ木)



写真3
大紀町野原久保地区
作業中

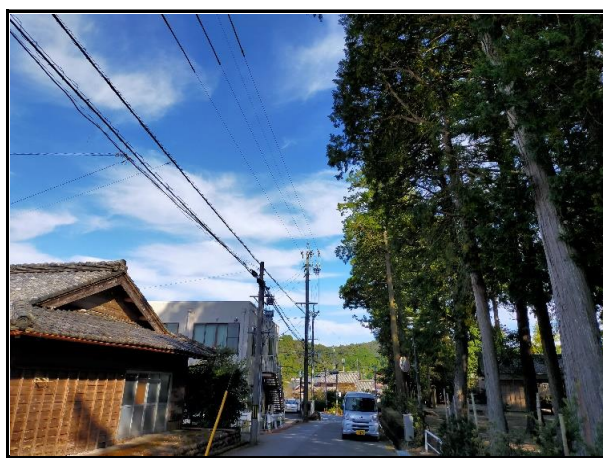


写真4
大紀町野原久保地区
完了後



写真5
大紀町木屋竹利地区
生活道路に隣接する危険木



写真6
大紀町木屋竹利地区
作業中

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	大紀町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	生活環境林整備事業
-----	-----------

7 の (1) . 写真



写真7
大紀町木屋竹利地区
完成



写真8
大紀町永会八ヶ河内地区
生活道路に隣接する危険木 (枯れ木)



写真9
大紀町永会八ヶ河内地区
作業中



写真10
大紀町永会八ヶ河内地区
完成



写真11
大紀町滝原下沖地区
国道沿いの危険木



写真12
大紀町滝原下沖地区
作業中

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	大紀町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	生活環境林整備事業
-----	-----------

7の(1). 写真



写真13
大紀町滝原下沖地区
作業中



写真14
大紀町三瀬川久保海堂地区
生活道路に隣接する危険木



写真15
大紀町野原久保地区
作業中



写真16
大紀町野原久保地区
完了後



写真17
大紀町大内山西ノ野・唐子口地区
生活道路に隣接する危険木



写真18
大紀町大内山西ノ野・唐子口地区
作業中

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	大紀町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	生活環境林整備事業
-----	-----------

7 の (1) . 写真



写真19

大紀町大内山西ノ野・唐子口地区
完成



写真20

大紀町錦里地区
人家裏危険木



写真21

大紀町錦里地区
作業中



写真22

大紀町錦里地区
完成



写真23

大紀町錦姫坂越地区
人家裏危険木



写真24

大紀町錦姫坂越地区
作業中

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり	市町名	大紀町	新規・継続の別	継続
------	----------------	-----	-----	---------	----

事業名	生活環境林整備事業
-----	-----------

7の(1).写真



写真25
大紀町錦姫坂越地区
作業中



写真26
大紀町錦船附地区
生活道路に隣接する危険木



写真27
大紀町錦船附地区
作業中



写真28
大紀町錦船附地区
完成



写真29
庁舎内事業実績ポスター掲示



写真30
庁舎内事業実績ポスター掲示

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	大紀町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	生活環境林整備事業
-----	-----------

7の(2). その他資料

大紀町ホームページ更新状況

みえ森と緑の県民税 | 大紀町役場

Page 1 of 2



山と海のまち
大紀町
TAIKI TOWN

背景色   文字サイズ  

・大紀町について ・サイトマップ

ホーム
くらしの情報
子育て・教育
健康・福祉
観光・文化
事業者の方へ
町政情報

ホーム > くらしの情報 > 農林業 > 林業 > みえ森と緑の県民税

みえ森と緑の県民税

みえ森と緑の県民税

森林は土砂災害の防止、水源のかん養など私たちの生活に欠かすことのできない大切な働きを持っています。

しかし、山村地域では過疎化などにより手入れが不足した荒廃森林が増えており、ゲリラ豪雨など異常気象が増加していることも考え合わせると、自然災害の発生リスクが高まっていると考えられます。

皆さんの生命・財産を守る「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるため、皆様のご理解・ご協力をお願いします。

「みえ森と緑の県民税」のしくみ等については、三重県のホームページをご覧ください。

※「みえ森と緑の県民税」(県税のページ)へ

「みえ森と緑の県民税」の使いみちについて

- 土砂や流木による被害を出さない森林づくり
土砂や流木によって人家や公共施設、沿岸及び漁業等に被害が及ばないように、洪水緩和や土砂災害防止機能等の森林の働きを発揮させるために必要な対策を進めます。
- 暮らしに身近な森林づくり
生活環境の保全や向上のため、県民の暮らしにかかわりの深い森林について必要な対策を進めます。
- 森を育む人づくり
「災害に強い森林づくり」を将来に引き継ぎ、また森林やみどりを大切に思い・育む人づくりの為、森林環境教育・木育に携わる人材の育成や、教育活動を進めます。
- 森と人をつなぐ学びの場づくり
未就学児や児童生徒をはじめ、様々な県民の森林や木材について学ぶ・ふれあう場を提供し、森と県民との関係を深める対策を進めます。
- 地域の身近な水や緑の環境づくり
地域の身近な水や緑の環境づくりを進めるため、森・川・海のつながりを意識した森林や緑、水辺環境を守り、生物多様性を保全する活動支援や、森林や緑と親しむための環境整備等、身近な緑や水辺環境と県民との関係を深める対策を進めます。

大紀町で実施した「みえ森と緑の県民税市町交付金事業」の紹介

- ⇒令和3年度実施事業【PDF: 2MB】
- ⇒令和2年度実施事業【PDF: 2MB】
- ⇒平成26年度実施事業【PDF: 485KB】

お問い合わせ

林業

- 特産品紹介
- 山林伐採について
- みえ森と緑の県民税
- 緑化について
- 森林環境譲与税の用途公表について

ライフシーンから選ぶ


妊娠・出産


子育て


入園・入学


結婚・離婚


引越・住まい


就職・退職


高齢・介護


おくやみ

いざという時に(防災等情報)


急病


消防


防災


防犯



防災マップを確認する

便利ガイド

- 各課電話番号
- 各課様式ダウンロード
- お知らせ広場
- 広報たいき
- 各種計画書の公開
- リンク集
- サイトポリシー

<http://www.town.taiki.mie.jp/life/nouringyou/ringyou/miemi...> 2022/04/21

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	大紀町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	生活環境林整備事業
-----	-----------

7 の (2) . その他資料

公表データ



令和 3 年度

みえ森と緑の県民税市町交付金 事業実施状況

(生活環境林整備事業)

(溪流倒木等処理事業)

(流域防災機能強化対策事業)

(森林再生力強化対策事業)



○生活環境林整備事業○

事業の目的：公共施設や通学路等の、生活に支障を及ぼす恐れのある危険木を除去し、暮らしの安全を図る

大紀町野原地内の生活道路にかかる危険木



危険木の除去により、地域住民の安心安全が向上しました。



大紀町錦地内の生活道路にかかる危険木



危険木の除去により、地域住民の安心安全が向上しました。



この事業により、上記箇所と外 7 箇所合計約 120 本の危険木を除去し住民の皆様の安心安全が向上しました。



第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	大紀町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	生活環境林整備事業
-----	-----------

7 の (2) . その他資料

公表データ

○溪流倒木等処理事業○

事業の目的：過去の台風、豪雨によって発生した溪流沿いの倒木や流木を除去することにより、時期豪雨の際に下流への流出を未然に防ぐことにより、自然災害拡大の抑制を図る。

大紀町永会地内の溪流内に堆積した、下流に流出の恐れがある危険木

危険木の除去により安全安心が向上しました。



大紀町崎地内の溪流内に堆積した、下流に流出の可能性がある危険木

危険木の除去により安全安心が向上しました。



この事業により、上記 2 箇所と外 3 カ所で合計約 60 本の危険木を除去し住民の皆様が安心安全が向上しました。



○流域防災機能強化対策事業○

事業目的：三重県と連携し、土壌侵食の恐れのある溪流沿いの森林において、根系や下層植物の発達を促す森林整備を行い、流域における防災機能の強化を図る。

着手前

完成



この事業により、大紀町崎地内 (5.9ha) 大内山地内 (4.37ha) の森林整備を行いました。

○森林再生力強化対策事業○

事業目的：森林の有する土砂流出機能等を強化することを目的として、新植地等の森林の再生を妨げる野生鳥獣による被害の軽減を図る。

この事業により、2 箇所 L=356m への獣害防護柵への支援を行いました。



第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり	市町名	大紀町	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
1	渓流倒木等処理事業				
事業費	1,419,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,413,000	0	6,000

1. 事業の目的

過去の台風や豪雨により発生した山間部渓流沿いの倒木や流木は、今後豪雨が発生した際には、下流へ流出する可能性があり、自然災害を増幅させることが予想される。そのため、継続して倒木、流木の伐採・除去及び、小規模な、渓流内への異常堆積土砂の撤去を行うことにより、自然災害の拡大化を抑制させる。

2. 事業実績概要

【事業内容】

山間部渓流沿いや人家に近い河川沿いの危険倒木・流木等を伐採・除去（渓流外に搬出）する。（県事業以外の小規模対象）

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

大紀町

【実施個所及び箇所数】

5箇所

【事業量】

危険木等の除去

金輪・東芦谷地区:20本、古里・滝ノ上地区:15本、藤・安場地区:4本、滝原・坂東地区:1本、崎・船久保地区:20本 計60本

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

渓流内倒木等の危険木等を除去することにより、危険木が下流域へ流出し、橋梁等へ衝突及び堆積の危険性を減少させ、渓流外への越水等の影響を防ぐことで、災害の発生や増幅の可能性を低下させることにより、下流域住民の安心・安全が向上する。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

倒木や流木だけでなく、成立しているが、根が洗われて渓流内に堆積することが予想される立木についても、所有者の了解を得ながら、危険木の除去を実施していく。

【新たな対策・視点及び改善点】

県営事業で実施できない小規模なところで、周辺に影響を及ぼす危険がある場合、流木と合わせて緊急的な土砂の撤去も検討していく。

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり	市町名	大紀町	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
1	溪流倒木等処理事業				
事業費	1,419,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,413,000	0	6,000

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】				
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】				
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	森林組合	補助事業ではない	-	
【委託先及び補助対象者等の選定理由】				
現場及び当該事業に精通した大紀森林組合を選定				
【主な経費内訳】 (別紙のとおり)				
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】				
【受益者及び、期待する波及効果】				
受益者	403戸			
期待する波及効果	事業実施する箇所直下の集落だけでなく下流域全体の受益が見込まれる。			
【公的関与の必要性】				
森林所有者による整備が困難な為、町による緊急性の高い箇所を整備する必要がある。				
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】				
森林所有者に、税事業での実施を説明する際に、その他目的に転用しないよう説明する。				
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】				
【情報発信の内容】				
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）		
のぼり設置	実施中	施工中にノボリを設置し、県民税での実施を周知する。		
ポスター掲示	実施後	当該年度実績を庁舎内に掲示、県民税事業での実施を周知する。		
HP掲載	実施後	当該年度実績を大紀町HPに掲載し、県民税事業での実施を周知する。		
7. 写真及びその他資料				
別紙のとおり				
8. その他特記事項（受益者の反応等）				
地区住民代表者への聞き取りによると、地域の安全性が向上し喜んでいる。				

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり	市町名	大紀町
------	-------------------------	-----	-----

事業名	生活環境林整備事業
-----	-----------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
危険木伐採・除去						
金輪・東芦谷地区	グラップル使用	本	20.00	6,450	129,000	経緯斜面
古里・滝ノ上地区	人力	本	15.00	14,667	220,000	溪流内水無
藤・安場地区	グラップル使用	本	4.00	76,250	305,000	平地
滝原・坂東地区	グラップル使用	本	1.00	102,000	102,000	溪流内常水有
崎・船久保地区	グラップル使用	本	20.00	26,700	534,000	溪流内斜面
			小計		1,290,000	
			消費税及び地方税相当額		129,000	
			合計		1,419,000	

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり	市町名	大紀町	新規・継続の別	継続
------	-------------------------	-----	-----	---------	----

事業名	溪流倒木等処理事業
-----	-----------

7 の (1) . 写真



写真1
大紀町金輪東芦対地区
溪流部の流出の恐れのある危険木



写真2
大紀町金輪東芦対地区
危険木除去後



写真3
大紀町永会古里滝ノ上地区
溪流部の流出の恐れのある危険木



写真4
大紀町永会古里滝ノ上地区
作業中



写真5
大紀町永会古里滝ノ上地区
危険木除去後



写真6
大紀町永会藤安場地内
藤川沿いの倒木の恐れのある危険木

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり	市町名	大紀町	新規・継続の別	継続
------	-------------------------	-----	-----	---------	----

事業名	溪流倒木等処理事業
-----	-----------

7 の (1) . 写真



写真7
大紀町永会藤安場内
作業中



写真8
大紀町永会藤安場内
危険木除去後



写真9
大紀町滝原坂東地内
溪流部の流出の恐れのある危険木



写真10
大紀町滝原坂東地内
危険木除去後



写真11
大紀町崎船久保地区
溪流部の流出の恐れのある危険木



写真12
大紀町崎船久保地区
作業中

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり	市町名	大紀町	新規・継続の別	継続
------	-------------------------	-----	-----	---------	----

事業名	渓流倒木等処理事業
-----	-----------

7 の (1) . 写真



写真13

大紀町崎船久保地区
危険木除去後



写真15



写真17



写真14

庁舎内事業実績ポスター掲示



写真16



写真18

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり	市町名	大紀町	新規・継続の別	継続
------	-------------------------	-----	-----	---------	----

事業名	渓流倒木等処理事業
-----	-----------

7の(2). その他資料

前記の生活環境林整備事業と同様

南伊勢町

令和 3 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報 (平成30年度版三重県市町要覧による)

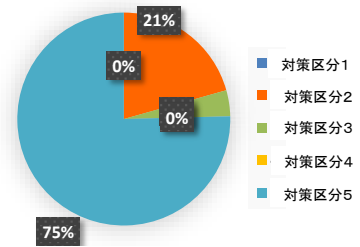
市町名	南伊勢町	三重県
人口 (人)	11,461	1,782,190
年少人口割合 (%) * 1	6.1%	12.4%
森林面積 (ha)	20,629.37	372,352.55
民有林面積 (ha) * 2	20,429.98	348,833.49
森林率 (%)	85.0%	64.0%
都市公園面積 (㎡/人口) * 3	0.2	10.1

* 1 : 全人口に占める15歳未満の人の割合

* 2 : 国有林以外の森林 (個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。)

* 3 : 都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和 3 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠・加算枠) 事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額 (円) (当年度交付金額 + 基金活用額)						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	危険木除去事業	2,377,100	2,377,000		2,377,000				
2	3	森林環境教育事業	454,080	454,000			454,000			
3	5	阿曾浦公園ウッドチップ舗装整備事業	8,685,050	8,685,000					8,685,000	
				0						
計			11,516,230	11,516,000	0	2,377,000	454,000	0	8,685,000	0

3. 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金 (連携枠) (防災枠) 事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

<p>事業方針</p> <p>当町の森林・林業を取り巻く情勢として、総土地面積の約85% (20,630ha) が森林で覆われているにもかかわらず、林業就業者は27人しかおらず、林業者が極めて少ない状況となっている。森林の整備についても、過去10年間に行われた間伐面積は約250haで、整備が行われていない森林が大半であり、森林所有者の関心が低くなっていることが窺える。そのような状況の中、森林について興味関心が持てるように、公共施設周辺や通学路・避難道等にかかる危険木の除去や、森林環境教育事業による森や海を大切に思う子どもの育成、子どもや町民が森林や木材についてふれあひながら学ぶことができる場づくりなど、町民が将来にわたって安全安心に過ごしながら森や緑と関わる機会を創出することを目的に県民税を活用する。</p>
<p>事業実施により期待される効果</p> <p>危険木の除去については、自然災害等による倒木を未然に防ぐことで、安全安心して暮らすことに寄与している。</p> <p>森林環境教育事業については、樹木について知識を得ることや木製品が身近にあることで森と緑の大切さを理解し、森林について考えるきっかけづくりへの寄与を期待している。</p> <p>阿曾浦公園ウッドチップ舗装整備事業については、町民が日常的に使用する公園をウッドチップ舗装することにより、木材に親しみ身近に感じてもらえることができている。また、今後区民が一堂に会する夏祭り等のイベントで使用されることにより、木や県民税を身近に感じてもらう機会となっている。</p>
<p>情報発信への取組</p> <p>町の広報誌やHPへの掲載することにより、情報発信を行いました。</p> <p>阿曾浦公園については県民税で整備したことが記載されている看板を設置し、情報発信を行っている。</p>

第 1 1 号様式 (その 1) (参考資料)

年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税 (千円)
1	③ 私有林整備	3,115	3,115
2	⑩ 専門員の雇用	1,485	1,485
3	⑰ 基金積立 (森林整備等)	20,509	20,509
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
	合計	25,109	25,109

【記載要領】

ア. 事業カテゴリーの欄は下記の項目から該当するものを選択し記載するものとする。

事業カテゴリーの項目
① 意向調査の準備作業
② 意向調査
③ 私有林整備
④ 公有林整備(財産区有林含む)
⑤ 森林保護対策
⑥ 林道・林専道の整備等
⑦ その他(森林整備)
⑧ 担い手確保
⑨ 林業就業者の育成
⑩ 専門員の雇用
⑪ 新たな組織の設立
⑫ その他(人材育成等)
⑬ 木造公共建築物の整備等
⑭ 木質バイオマス利用推進
⑮ 森林・林業・木材普及活動等
⑯ その他(木材・普及啓発関係)
⑰ 基金積立(森林整備等)
⑱ 基金積立(人材育成等)
⑲ 基金積立(木材利用等)
⑳ 基金積立(執行残額等)

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	南伊勢町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
1	危険木除去事業					
事業費	2,377,100 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			2,377,000		100	

1. 事業の目的

公共施設の周辺や通学路、避難道等の危険木を除去することで、災害に強い森林づくりを進めるとともに安心安全な街づくりを目指し、地域住民の生活環境の向上を図る。

2. 事業実績概要

【事業内容】

地域住民の要望を確認し、公共施設の周辺や通学路、避難道等の危険木の除去を行う。

【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】

南伊勢町 (委託契約先: いせしま森林組合)

【実施箇所及び箇所数】

2 箇所 (斎田・泉地区) すべて私有林

【事業量】

斎田: 通学路沿い 22 本 (90㎡)、泉: 通学路沿い 32 本 (50㎡)

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

通学路、避難道など、町民が日常に多く利用する道路や、緊急時に必要となる道路周辺の危険な状態の木が除去されたことにより、安全安心な街づくりに寄与した。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

伐採中の道路通行止め等について、地元を協力をいただき円滑に実施できた。

伐採後の土砂対策について地元の区と協議した。

【新たな対策・視点及び改善点】

危険な箇所を事前に対策するため、地元と情報交換を行う。

令和3年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	南伊勢町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
1	危険木除去事業					
事業費	2,377,100 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			2,377,000		100	

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	森林組合	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

町の規定に基づき、度会町・大紀町・大台町の認定林業事業体から、指名競争入札で選定した。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	齋田171人 泉150人
期待する波及効果	町民の安全安心な生活に寄与している。

【公的関与の必要性】

通学路や避難道の安全は確保する必要があるが、高齢化も進んでおり、また技術が必要であることや、緊急に実施する必要性があるため、所有者による整備は困難であると考えられる。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

通学路や避難道の安全のための緊急の危険木除去であり、箇所の転用の制限等は設けずに柔軟に対応していきたいと考えている。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施中	みえ森と緑の県民税の説明とともに、令和3年度事業実績として効果が分かりやすいように実施前と実施後の写真と併せて公開する。
広報誌掲載	今後	みえ森と緑の県民税の説明とともに、効果が分かりやすいように実施前と実施後の写真と併せて公開する。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

地元の区長から感謝の言葉をいただいた。

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	南伊勢町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	------	---------	----

事業名	危険木除去事業
-----	---------

7 の (1) . 写真



写真1

齋田 実施前



写真2

齋田 実施後



写真3

齋田 実施前



写真4

齋田 実施後



写真5

泉 実施前



写真6

泉 実施後

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	南伊勢町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
2	森林環境教育事業					
事業費	454,080 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			454,000		80	

1. 事業の目的						
<p>森林や緑を大切に思い育む人づくりや、森林への理解を深めるため、小学生を対象に、森林の働きや木材について学びふれあう機会となる森林環境教育を実施する。</p>						
2. 事業実績概要						
【事業内容】						
町内の小学生を対象に、樹木や木製品について学びふれあうことを目的とした物品調達を実施する。						
【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】						
南伊勢町 (委託契約先: いせしま森林組合)						
【実施個所及び箇所数】						
3 箇所 (南島西小学校・南島東小学校・南勢小学校)						
【事業量】						
南勢小学校: 5年生31名 南島西小学校: 1~2年生16名 南島東小学校: 1~2年生20名 計67名 及び学校関係者						
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】						
【事業実施により期待される効果】						
<p>森林や木材にふれあう機会が少ない現代の子どもたちにおいて、木や緑とふれあう貴重な機会であり、森林に興味を持ってもらえることを期待している。 樹木について興味を持ってもらえることや、木製品を身近に使用することで森や緑について考えてもらうきっかけづくりとなっている。</p>						
【効果を発揮させるための工夫・取組】						
<p>当初、教室を開き森のせんせいに授業をしてもらうことを計画していたが、新型コロナウイルスの流行により教室開催が不可能となってしまった。その中でも子どもたちに木育として何が良いかを森林組合やみえ森づくりサポートセンターと検討した。</p>						
【新たな対策・視点及び改善点】						
<p>事業実施の時期について、学校の意向に沿いながらも新型コロナウイルスの流行が低下している時期で実施していきたい。</p>						

令和3年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	南伊勢町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
2	森林環境教育事業					
事業費	454,080 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			454,000		80	

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	森林組合	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

物品調達については、実績のあるいせしま森林組合と町の規定に基づき、随意契約を行なった。森林教育の講師は県民税を活用して設立されたみえ森づくりサポートセンターに森のせんせいとして登録がある方を選定した。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	南勢小31名、南島西小16名、南島東小19名及び学校関係者に対して実施。
期待する波及効果	森や緑を大切に考える子どもの育成

【公的関与の必要性】

通常の授業のほか、総合的な学習として森林環境教育を実施することは、これからの地域を支える子どもたちにとって非常に重要である。また森林環境教育を校外の先生が行うことは、子どもたちの関心が格段に高まるなどの効果が期待できる。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

森林環境教育事業であるため、転用等が想定されず、該当しない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施中	みえ森と緑の県民税の説明とともに、令和3年度事業実績として効果が分かりやすいように公開する。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

小学校では、樹木カードを持って校内の木を見て回ったとのことだった。

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	南伊勢町
------	-------------	-----	------

事業名	森林環境教育事業
-----	----------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
資材費	樹木カード、木製湯玉 (1人5個)、スマホスタンド、木工用材料	人	75.00	4,700	352,500	児童67人分+先生分
準備費	事前打合せ 等	式	3.00	20,100	60,300	各学校 (2名分)
			小計		412,800	
			消費税及び地方税相当額		41,280	10%
			合計		454,080	

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	南伊勢町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	------	---------	----

事業名	森林環境教育事業
-----	----------

7 の (1) . 写真



写真1

南島東小学校



写真2

南島東小学校



写真3

南島東小学校 校内散策



写真4

南島西小学校



写真5

南島西小学校



写真6

南勢小学校

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	南伊勢町	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
3	阿曾浦公園チップ舗装整備事業				
事業費	8,685,050 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			8,685,000		50

1. 事業の目的					
<p>町民が利用する公園をウッドチップで木質化することにより、木材に対する理解や関心を深め、木材とふれあう機会を増やすことで、誰もが木材や森林を身近に感じながら公園を利用できるように 4 か年計画で整備する。</p>					
2. 事業実績概要					
【事業内容】					
公園をウッドチップでの木質化による整備を行う。木材は県産材を調達し、三重の木を積極的に使うこととする。					
【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】					
南伊勢町 (契約先: 株式会社大江建設)					
【実施個所及び箇所数】					
1 箇所 (阿曾浦公園)					
【事業量】					
333.5㎡のウッドチップ舗装 (1,290㎡の公園を 4 か年計画で舗装)					
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】					
【事業実施により期待される効果】					
公園として区民の憩いの場として日常利用される場であり、区民に喜ばれることが期待される。また木材の新しい使い方として知られることが期待される。ウッドチップ舗装は滑りにくい上にクッション性も高く、また水はけが良いのでコケも生えにくいことから、子どものケガの防止や高齢者の膝への負担が少なく、景観も損なわないことより住民の心身の健康面での効果が期待される。					
【効果を発揮させるための工夫・取組】					
区民の交流の場や、祭りの会場として日常的に活用されている。今は新型コロナウイルスの流行により地区のイベントがすべて中止されているが、開催されるようになれば木育の場として活用したい。					
【新たな対策・視点及び改善点】					
今後は木製チップ舗装を遊歩道の整備などにも利用していきたい。					

令和 3 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	南伊勢町	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
3	阿曾浦公園チップ舗装整備事業				
事業費	8,685,050 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			8,685,000		50

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】				
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】				
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
工事請負	建設業者	補助事業ではない		
【委託先及び補助対象者等の選定理由】				
町の規定に基づき、町内に本店を有する舗装（Aランク・Bランク）業者から、指名競争入札で選定した。				
【主な経費内訳】 (別紙のとおり)				
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】				
【受益者及び、期待する波及効果】				
受益者	阿曾浦 639名			
期待する波及効果	誰もが木材や森林を身近に感じながら公園を利用できる			
【公的関与の必要性】				
町が管理する施設であるため。子どもから高齢者まで広く木材に触れながら活用していただくことや、砂の飛散で区民が困っていたこともあり、優先的に公的な整備が必要であった。				
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】				
公共施設の整備であるため、転用等が想定されず、該当しない。				
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】				
【情報発信の内容】				
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）		
HP掲載	実施中	みえ森と緑の県民税の説明とともに、令和3年度事業実績として効果が分かりやすいように公開する。		
標識・標柱等設置	実施中	みえ森と緑の県民税を活用したことがわかる看板を設置した。		
7. 写真及びその他資料				
別紙のとおり				
8. その他特記事項（受益者の反応等）				
区長や区民より、砂の飛散が少なくなったことや、クッション性があって利用しやすいと感謝の声が上がってきている。				

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	南伊勢町
------	--------------------	-----	------

事業名	阿曾浦公園チップ舗装整備事業
-----	----------------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
純工事費	舗装工	m ²	333.50	12,311	4,105,719	
	共通仮設費	式	1.00	436,000	436,000	
現場管理費		式	1.00	1,886,000	1,886,000	
一般管理費		式	1.00	1,372,000	1,372,000	
看板設置費		基	1.00	95,781	95,781	
小計					7,895,500	
消費税及び地方税相当額					789,550	10%
合計					8,685,050	

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	南伊勢町	新規・継続の別	継続
------	--------------------	-----	------	---------	----

事業名	阿曾浦公園チップ舗装整備事業
-----	----------------

7 の (1) . 写真



写真1

チップ舗装 実施前



写真2

チップ舗装 実施後



写真3

チップ舗装 実施前



写真4

チップ舗装 実施後



写真5

看板



写真6

チップ舗装表面